

戸田市市民意識調査報告書

平成 30 年度実施（第 12 回）

平成 31 年 3 月

戸 田 市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の背景.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 調査の内容.....	1
5. 地区区分.....	2
6. 集計・分析に当たって.....	2
7. 標本誤差.....	3
8. 回答者の属性.....	4
II. 調査結果の分析.....	23
1. 定住意向について.....	23
2. まちのイメージについて.....	29
3. 健康づくりについて.....	30
4. 子育てについて.....	36
5. 高齢化について.....	40
6. 生活環境について.....	46
7. 地域コミュニティについて.....	70
8. 市政への参加について.....	85
9. 保養事業について.....	89
10. 戸田市の取り組みについて.....	93
III. 自由意見.....	107
参考資料（調査票）.....	119

I. 調査の概要

1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より 4 年ごとに実施しています。今回の調査で第 12 回目となり、調査開始から 40 年以上が経過しました。これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉え、その時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するため、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなっていきます。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：戸田市全域
- (2) 調査対象：平成 30 年 4 月 1 日現在、市内に在住する満 16 歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による配布・回収
- (6) 調査期間：平成 30 年 8 月 1 日～8 月 31 日（返送期日）

3. 回収状況

- (1) 有効標本数：3,000 人
- (2) 有効回答数：1,172 人
- (3) 回収率：39.1%

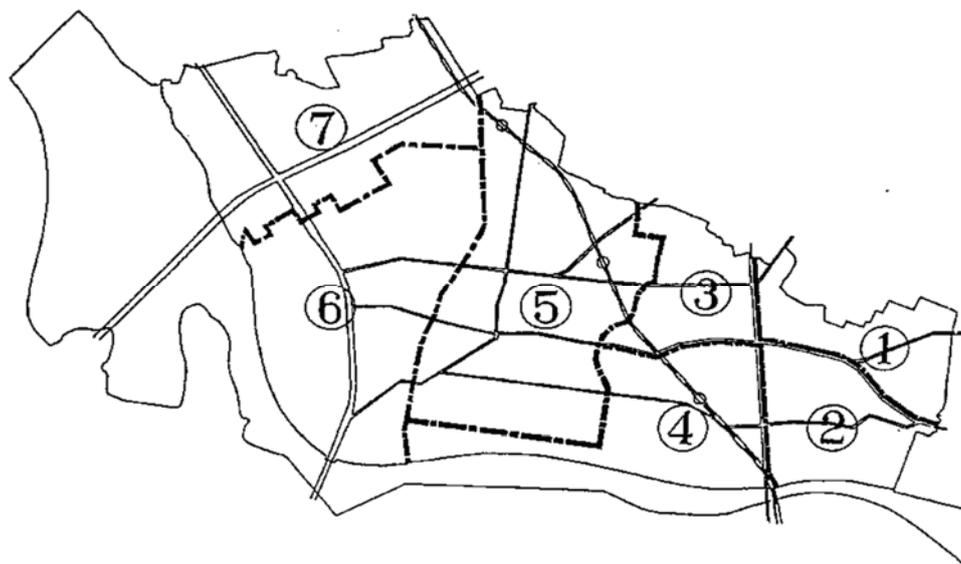
4. 調査の内容

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| ①フェースシート（標本属性） | ②定住意向 | ③まちのイメージ |
| ④健康づくり | ⑤子育て | ⑥高齢化 |
| ⑦生活環境 | ⑧地域コミュニティ | ⑨市政への参加 |
| ⑩保養事業 | ⑪戸田市の取り組み | |

5. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区（喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目）
2. 下戸田2地区（喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目）
3. 上戸田1地区（上戸田1～5丁目、大字上戸田）
4. 上戸田2地区（川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目）
7. 美女木地区（美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木）



6. 集計・分析に当たって

- ・ 図表中の (n=* (*は自然数)) と年度や属性の後の () 内は、集計母数を表しています。
- ・ 原則として、図表の単位は%としています。
- ・ 回答割合 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 回答割合 (%) は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると 100.0%を超えることがあります。
- ・ 過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N = 母集団の数 (戸田市の 16 歳以上人口 138,960 人、平成 30 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口)

n = 各設問の回答数 P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
1,172	±1.71	±2.28	±2.61	±2.79	±2.85
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
900	±1.95	±2.60	±2.98	±3.19	±3.26
800	±2.07	±2.76	±3.17	±3.39	±3.45
700	±2.22	±2.96	±3.39	±3.62	±3.69
600	±2.40	±3.19	±3.66	±3.91	±3.99
500	±2.62	±3.50	±4.01	±4.29	±4.37
400	±2.94	±3.91	±4.48	±4.79	±4.89
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
200	±4.15	±5.54	±6.35	±6.78	±6.92
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

〈この表の見方〉

- 例えば、問 17 で戸田市に住んでいる理由について、「ここで育ったから」と回答したのが 31.4% (n=1,172) の場合、上表で値の近い「30 (または 70)」の欄の「1,172」の行をみると、標本誤差は±2.61%となります。したがって、本市の 16 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、31.4%±2.61% (28.79%~34.01%) の人が「ここで育ったから」と回答する確率 (信頼水準) が 95%である、と見ることができます。

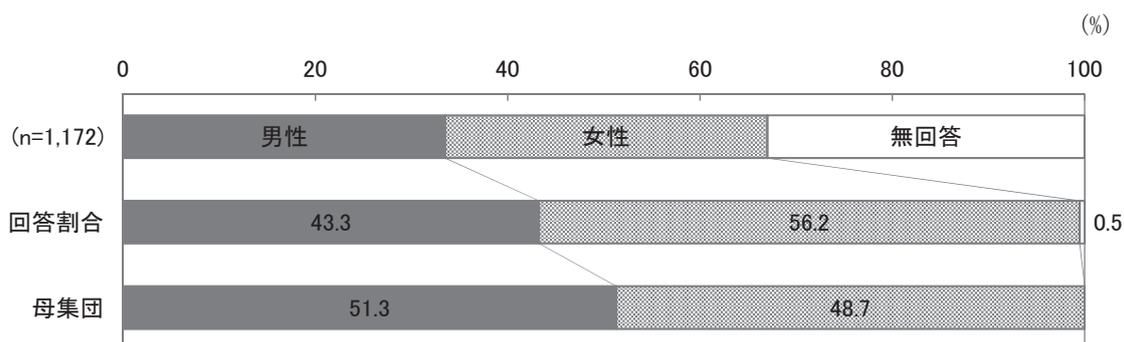
8. 回答者の属性

問1 性別

回答者 1,172 人のうち、男性は 43.3%、女性は 56.2%でした。

調査対象母集団(平成 30 年 4 月 1 日現在の 16 歳以上人口)の性別構成比は、男性 51.3%、女性 48.7%であったため、女性の回答割合が高くなっています。

図表 1 性別(全体)

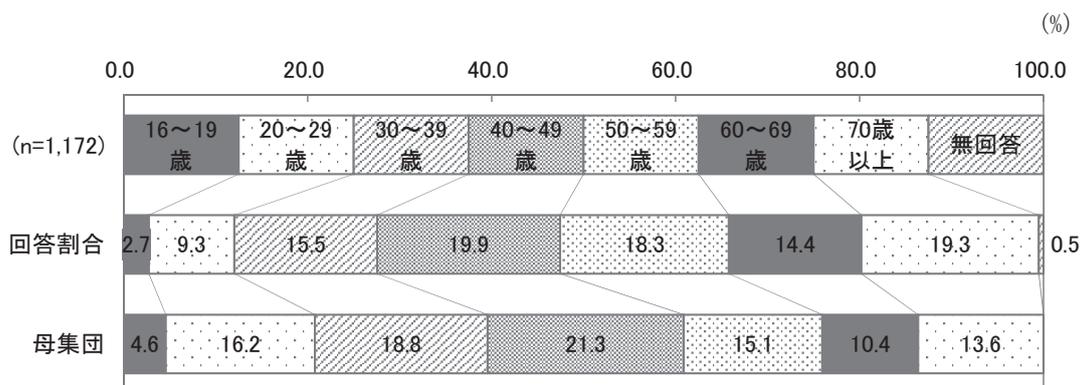


問2 年齢

回答者の年齢構成は、40 歳代の割合が 19.9%で最も高く、次いで 70 歳以上が 19.3%、50 歳代 18.3%、30 歳代 15.5%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、16~19 歳 4.6%、20 歳代 16.2%、30 歳代 18.8%、40 歳代 21.3%、50 歳代 15.1%、60 歳代 10.4%、70 歳以上 13.6%となっています。よって、40 歳未満の回答割合が少なく、50 歳以上の回答割合が多くなっています。

図表 2 年齢(全体)



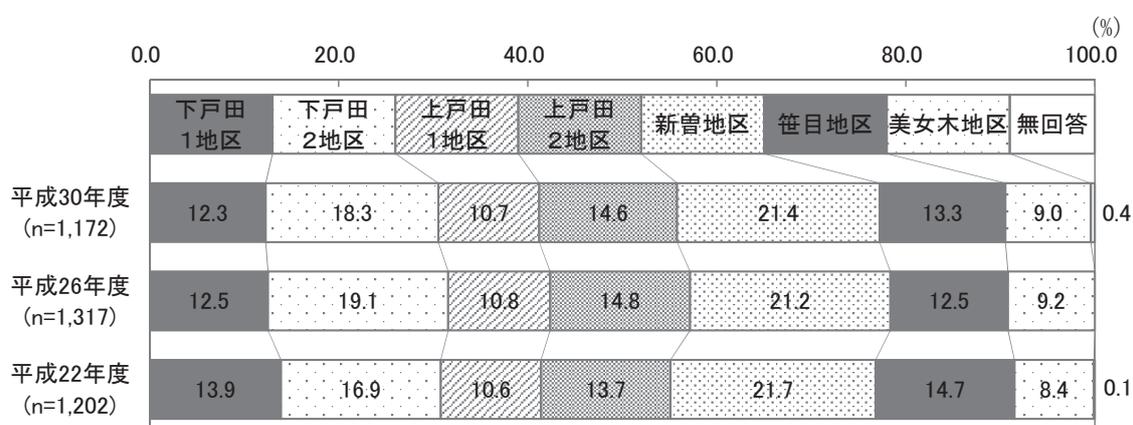
問3 居住地区

居住地区別にみると、新曽地区の割合が21.4%と最も多く、次いで下戸田2地区が18.3%、上戸田2地区が14.6%となっています。最も少ないのは美女木地区の9.0%で、前回調査と比較して、大きな相違はありません。

調査基準となった平成30年4月1日現在の町丁目別人口構成比は、下戸田1地区12.1%、下戸田2地区17.1%、上戸田1地区9.8%、上戸田2地区13.5%、新曽地区23.1%、笹目地区14.5%、美女木地区9.9%となっています。

また、居住地区別でみると、美女木地区、下戸田1地区、笹目地区の順に60歳以上の割合が高くなっています。

図表3 居住地区(全体)



図表4 居住地区別年齢構成表

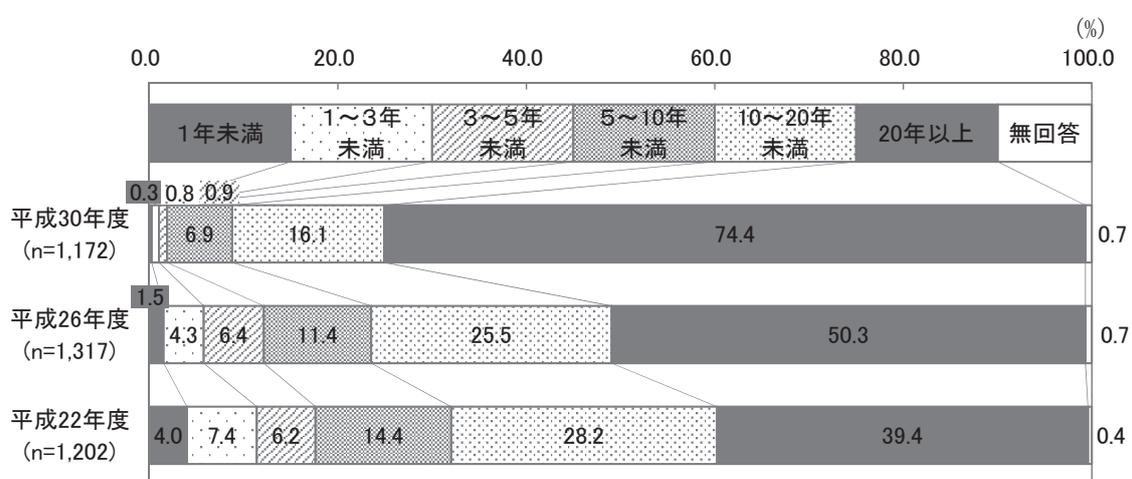
		16	20	30	40	50	60	70	無回答
		5	5	5	5	5	5	歳以上	
		19	29	39	49	59	69		
		歳	歳	歳	歳	歳	歳		
	全体 (1,172)	2.7	9.3	15.5	19.9	18.3	14.4	19.3	0.5
居住地区別	下戸田1地区 (144)	1.4	11.1	12.5	18.1	15.3	18.8	22.9	0.0
	下戸田2地区 (214)	2.3	7.9	20.1	22.0	15.9	15.0	16.4	0.5
	上戸田1地区 (125)	4.0	5.6	18.4	15.2	22.4	15.2	18.4	0.8
	上戸田2地区 (171)	3.5	9.4	14.0	18.7	22.8	10.5	19.9	1.2
	新曽地区 (251)	2.8	12.7	14.3	24.7	20.7	9.2	15.5	0.0
	笹目地区 (156)	2.6	7.7	10.9	17.9	17.3	18.6	24.4	0.6
	美女木地区 (106)	2.8	7.5	18.9	17.9	12.3	17.9	21.7	0.9

問4 居住期間

居住期間は、「20年以上」が74.4%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が16.1%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」は平成22年度調査から大幅に増加している傾向にあり、平成26年度調査から24.1ポイント上回っています。一方、「10年以上20年未満」は9.4ポイント下回っています。

図表5 居住期間(全体)



図表6 居住期間(居住地区別)

		1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20年以上	無回答
全体(1,172)		0.3	0.8	0.9	6.9	16.1	74.4	0.7
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.0	0.0	2.1	2.8	10.4	84.0	0.7
	下戸田2地区(214)	0.5	0.5	0.5	9.3	16.4	72.0	0.9
	上戸田1地区(125)	0.0	0.8	0.8	10.4	15.2	72.0	0.8
	上戸田2地区(171)	0.0	0.6	1.2	7.6	17.5	72.5	0.6
	新曽地区(251)	0.4	1.6	1.2	6.8	23.9	66.1	0.0
	笹目地区(156)	0.0	0.0	0.0	1.3	10.3	87.8	0.6
	美女木地区(106)	0.9	0.9	0.0	11.3	13.2	71.7	1.9

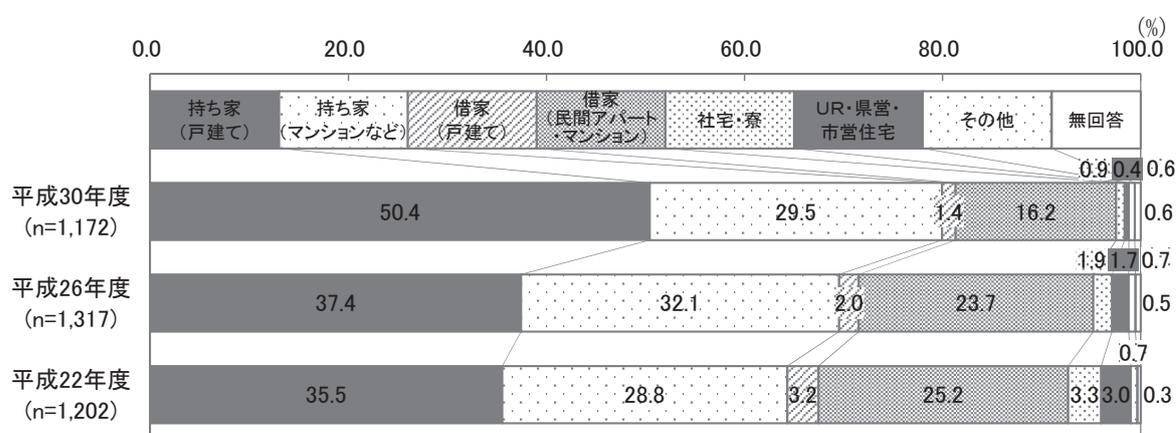
問5 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が 50.4%、「持ち家（マンションなど）」が 29.5%となっており、これらを合わせた持ち家比率が 79.9%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率は増加傾向にあり、平成 26 年度調査から 10.4 ポイント高くなっています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田 1 地区、上戸田 1 地区、新曽地区、笹目地区及び美女木地区は「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」よりも多く、下戸田 2 地区及び上戸田 2 地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表 7 住宅の種類(全体)



図表 8 住宅の種類(居住地区別)

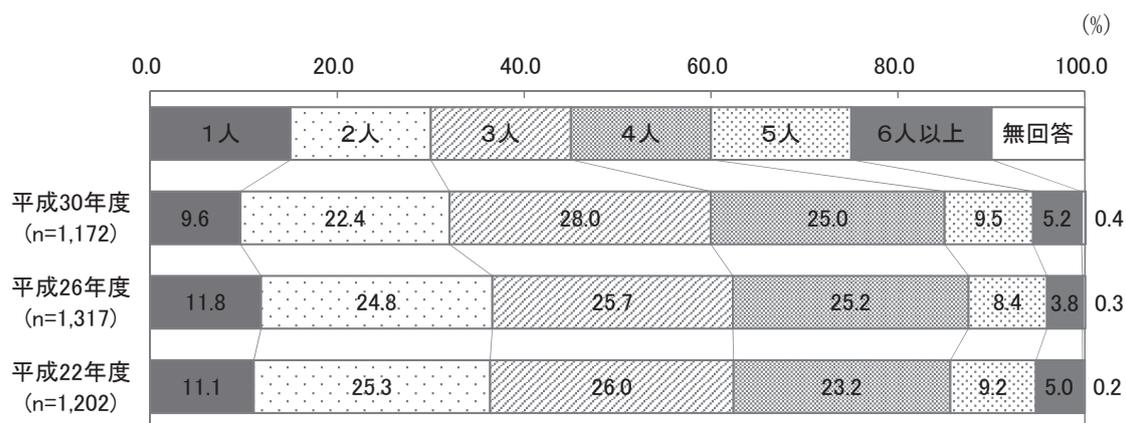
居住地区別	持ち家(戸建て)	持ち家(マンションなど)	借家(戸建て)	借家(民間アパート・マンション)	社宅・寮	UR・県営・市営住宅	その他	無回答
全体(1,172)	50.4	29.5	1.4	16.2	0.9	0.4	0.6	0.6
下戸田 1 地区(144)	63.9	18.1	2.1	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下戸田 2 地区(214)	35.5	48.6	1.4	9.3	0.9	2.3	1.4	0.5
上戸田 1 地区(125)	51.2	28.0	1.6	16.8	0.8	0.0	0.8	0.8
上戸田 2 地区(171)	36.8	39.8	1.2	21.6	0.6	0.0	0.0	0.0
新曽地区(251)	42.6	33.9	1.2	19.5	0.8	0.0	0.4	1.6
笹目地区(156)	75.6	7.7	1.3	14.1	0.6	0.0	0.6	0.0
美女木地区(106)	66.0	13.2	0.9	15.1	2.8	0.0	0.9	0.9

問6 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「3人」が28.0%で最も多く、次いで「4人」、「2人」となっています。

これまでの推移をみると、平成26年度調査と比較して「3人」の家族が2.3ポイント高くなっています。

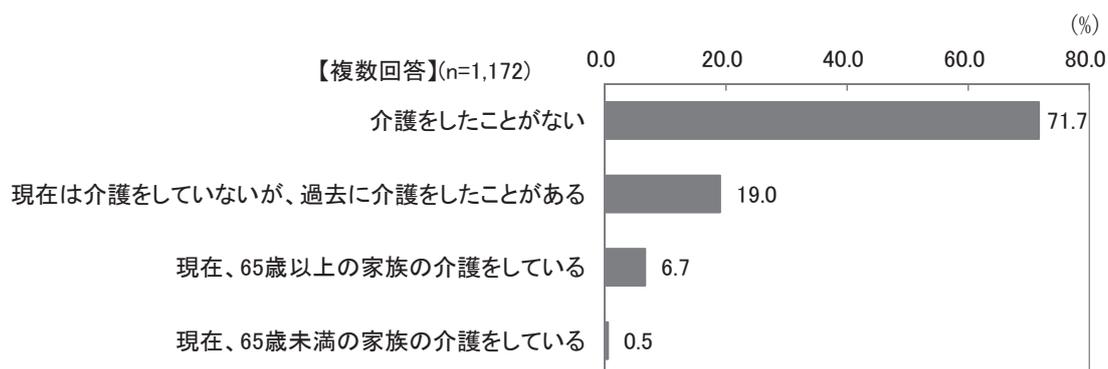
図表9 家族の人数(全体)



問7 家族の介護経験

家族の介護経験については、「介護をしたことがない」が71.7%と最も高く、次いで「現在は介護をしていないが、過去に介護をしたことがある」が19.0%、「現在、65歳以上の家族の介護をしている」は6.7%でした。

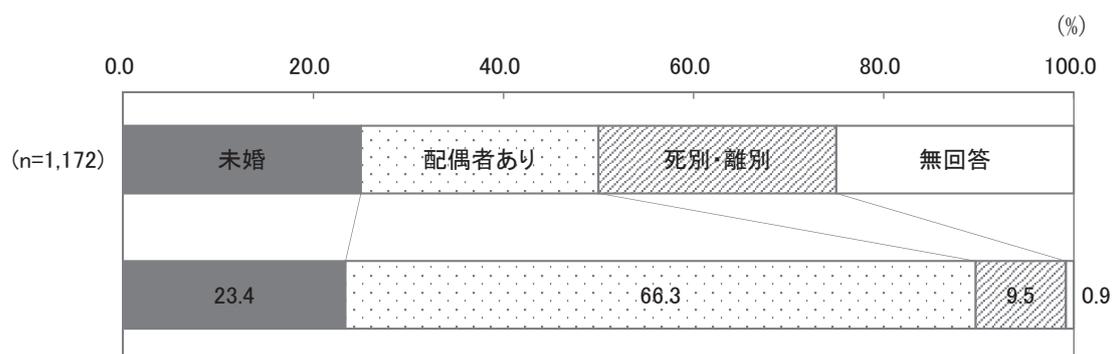
図表 10 家族の介護経験(全体)



問8 結婚

結婚の状況については、「未婚」が23.4%、「配偶者あり」が66.3%、「死別・離別」が9.5%でした。

図表 11 結婚(全体)

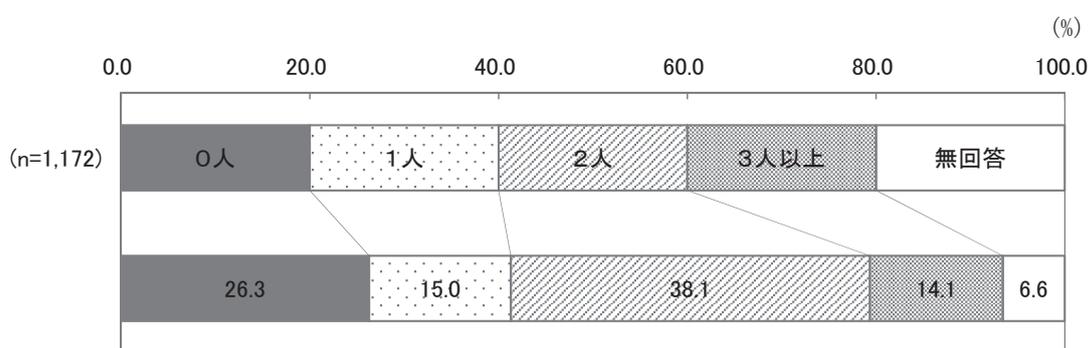


問9 子どもの人数と子どもの年齢

子どもの人数は、「2人」が38.1%と最も多く、次いで「0人」が26.3%でした。

また、子どもの人数別の上の子の年齢及び下の子の年齢については、子どもが1人の場合を除き、上の子、下の子ともに、「30歳以上」が最も高い割合でした。さらに、子どもの数が1人の場合は、「0～5歳」が23.9%と最も高い割合でした。

図表 12 子どもの人数と子どもの年齢(全体)



図表 13 子どもの人数と子どもの年齢

		上の子の年齢									下の子の年齢								
		0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～21歳	22～29歳	30歳以上	非該当	無回答	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～21歳	22～29歳	30歳以上	非該当	無回答
	全体 (787)	8.9	12.7	5.2	5.3	7.4	15.0	44.2		1.3	10.9	7.9	3.6	4.4	5.3	10.9	33.4		23.5
子どもの人数	0人	/	/	/	/	/	/	/	100.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	100.0
	1人 (176)	23.9	14.8	6.8	7.4	8.5	13.6	23.3		1.7	/	/	/	/	/	/	/		100.0
	2人 (446)	5.8	11.4	5.8	5.4	7.2	16.1	46.6		1.6	13.7	11.2	4.3	5.8	6.5	14.6	42.2		1.8
	3人 (144)	1.4	14.6	2.1	2.8	5.6	13.9	59.7		0.0	16.0	6.9	4.9	5.6	7.6	11.1	47.9		0.0
	4人以上 (21)	0.0	9.5	0.0	4.8	14.3	9.5	61.9		0.0	9.5	9.5	9.5	4.8	9.5	23.8	28.6		4.8

問10 仕事（雇用形態）

仕事については、「フルタイム正社員」が32.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が18.6%、「年金生活」が13.4%、「無就業」が6.6%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計である就労中の割合は72.1%でした。

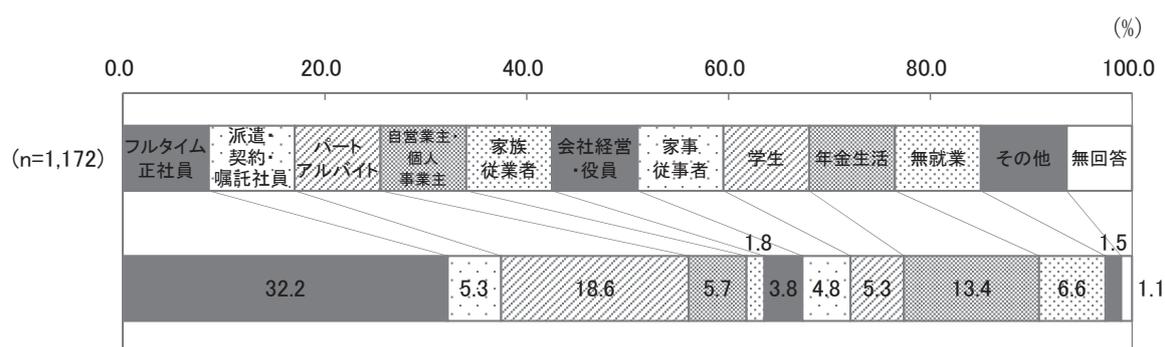
性別にみると、男性は「フルタイム正社員」が48.5%と半数近くを占めるのに対し、女性は「パート・アルバイト」が26.7%と最も高いのが特徴です。

年齢別でみると、30歳代、40歳代の「フルタイム正社員」が約50%と他の年代より高くなっており、次いで20歳代が45.9%、50歳代が42.8%となっています。

60歳代では、「フルタイム正社員」は9.5%と少ないものの、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が68.6%と、約3人に2人が就業しており、70歳以上では31.0%と約3人に1人が就業しています。

地区別にみると、新曽地区の「フルタイム正社員」が37.5%と他地区と比べて高いことが特徴です。

図表 14 仕事(全体)



図表 15 仕事(全体・性別・年齢別・居住地区別)

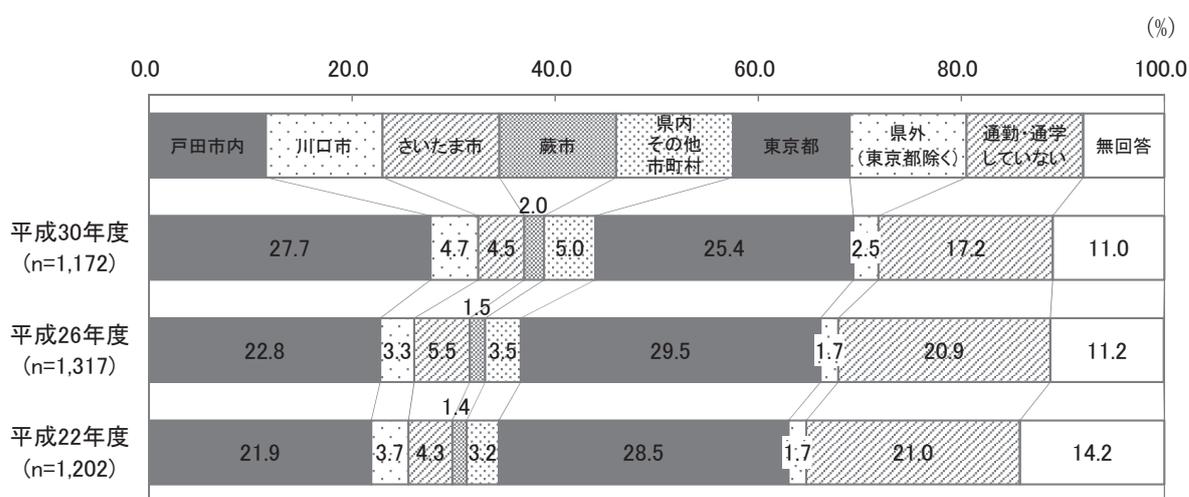
		被雇用者 フルタイム(常勤)の正社員	派遣・契約・嘱託社員	パートまたはアルバイト	自営業主・個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
	全体(1,172)	32.2	5.3	18.6	5.7	1.8	3.8	4.8	5.3	13.4	6.6	1.5	1.1
性別	男性(507)	48.5	3.7	8.3	8.3	0.0	7.5	0.0	4.3	13.4	4.9	1.0	0.0
	女性(659)	19.9	6.5	26.7	3.8	3.2	0.9	8.5	6.1	12.7	7.9	2.0	1.8
年齢別	16～19歳(32)	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	96.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(109)	45.9	0.9	12.8	2.8	0.9	0.0	0.0	26.6	0.0	5.5	4.6	0.0
	30～39歳(182)	51.1	5.5	22.5	3.3	0.5	2.2	6.0	0.5	0.0	6.6	1.6	0.0
	40～49歳(233)	51.1	7.7	22.3	3.0	0.9	3.0	6.9	0.0	0.0	4.3	0.9	0.0
	50～59歳(215)	42.8	7.4	22.8	9.3	1.9	5.6	3.7	0.0	0.0	4.2	1.9	0.5
	60～69歳(169)	9.5	6.5	26.6	9.5	3.6	5.9	7.1	0.6	20.7	6.5	1.8	1.8
	70歳以上(226)	3.1	2.7	6.6	6.6	3.1	4.9	4.0	0.0	52.7	12.4	0.4	3.5
居住地区別	下戸田1地区(144)	32.6	3.5	19.4	6.9	2.1	4.2	2.8	4.2	15.3	6.3	0.7	2.1
	下戸田2地区(214)	35.5	5.6	19.2	4.2	1.4	2.3	5.6	4.7	14.0	4.2	1.9	1.4
	上戸田1地区(125)	33.6	6.4	16.8	4.0	2.4	1.6	3.2	5.6	14.4	11.2	0.8	0.0
	上戸田2地区(171)	28.1	7.6	19.9	4.1	1.2	4.7	4.1	5.8	14.6	8.2	1.8	0.0
	新曽地区(251)	37.5	2.8	20.3	6.4	1.2	1.6	6.0	7.6	8.8	5.6	1.2	1.2
	笹目地区(156)	23.7	7.1	16.0	9.0	3.2	7.1	7.1	3.8	13.5	5.8	1.9	1.9
	美女木地区(106)	29.2	5.7	16.0	5.7	1.9	7.5	2.8	3.8	16.0	7.5	2.8	0.9

問 11 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学先としては、「戸田市内」が27.7%と最も多く、次いで「東京都」が25.4%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は11.2%にとどまっています。

これまでの推移をみると、平成26年度調査までは「東京都」、「戸田市内」の順でしたが、今回調査で順位が逆転しています。

図表 16 通勤・通学地(全体)



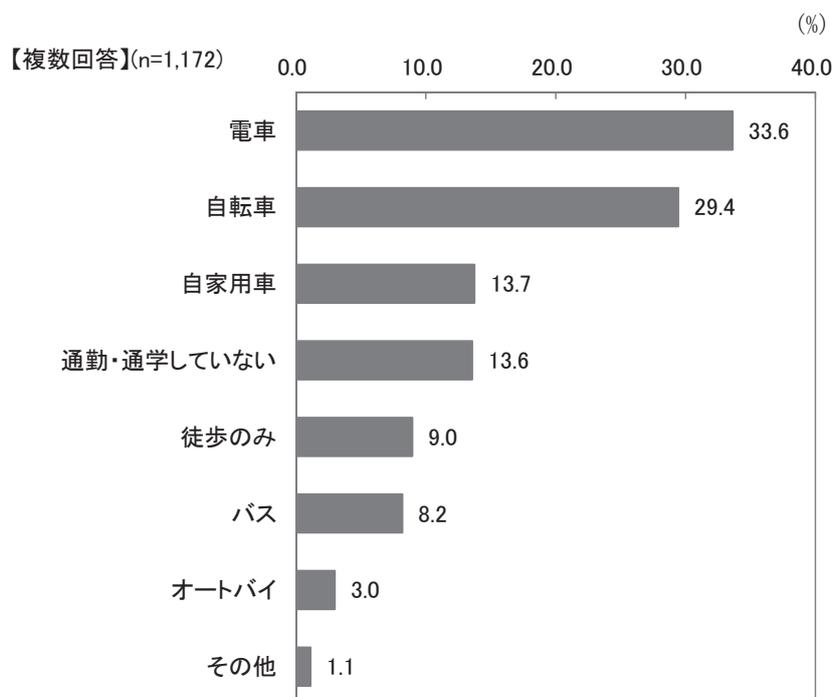
問 12 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が 33.6%と最も高く、次いで「自転車」が 29.4%でした。

居住地区別にみると、鉄道 3 駅がある上戸田 1 地区、上戸田 2 地区及び新曽地区の 3 地区に加えて下戸田 2 地区は、「電車」の割合が他地区より高くなっています。一方、下戸田 1 地区、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(54.8%)に次いで「徒歩のみ」(24.6%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。また、他の通勤・通学地と比べて、「川口市」は「自家用車」(45.5%)が高く、「蕨市」は「自転車」(60.9%)が高いことが特徴です。

図表 17 通勤・通学の交通手段(全体)



図表 18 通勤・通学の交通手段(全体・居住地区別・通勤通学地別)

		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
全体(1,172)		9.0	33.6	13.7	8.2	29.4	3.0	13.6	1.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	9.0	29.9	19.4	11.8	33.3	2.8	12.5	0.7
	下戸田2地区(214)	9.8	40.2	9.8	11.2	33.6	1.9	9.3	0.5
	上戸田1地区(125)	6.4	36.0	9.6	5.6	31.2	0.8	15.2	0.8
	上戸田2地区(171)	9.9	35.7	8.2	4.1	18.7	2.9	14.6	0.6
	新曽地区(251)	9.2	39.8	12.0	6.8	30.3	2.4	13.1	1.2
	笹目地区(156)	8.3	23.7	19.2	7.1	27.6	5.8	17.3	3.2
	美女木地区(106)	9.4	19.8	24.5	11.3	29.2	5.7	16.0	0.9
通勤・通学地別	戸田市内(325)	24.6	1.8	19.1	4.3	54.8	5.5	4.0	2.5
	川口市(55)	3.6	16.4	45.5	20.0	40.0	9.1	0.0	0.0
	さいたま市(53)	7.5	66.0	18.9	18.9	43.4	1.9	0.0	0.0
	蕨市(23)	4.3	4.3	21.7	4.3	60.9	13.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村(59)	1.7	67.8	30.5	28.8	25.4	6.8	1.7	1.7
	東京都(298)	3.0	91.6	10.4	11.4	26.5	1.0	0.0	0.7
	県外(東京都を除く)(29)	13.8	82.8	17.2	20.7	17.2	0.0	0.0	3.4
	通勤・通学していない(201)	0.5	2.0	1.0	1.0	3.0	0.5	71.1	0.5

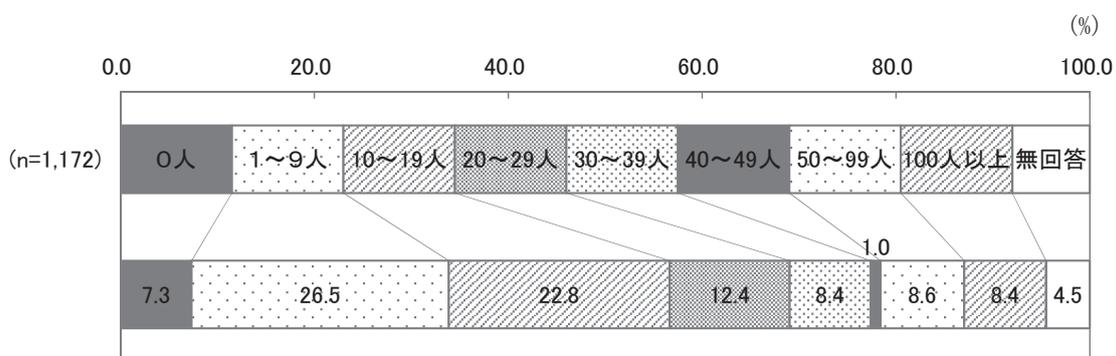
問 13 友人・知人

戸田市に住んでいる友人・知人の数は、「1～9人」が26.5%と最も多く、次いで「10～19人」が22.8%でした。

性別で見ると、男性の「0人」、「1～9人」及び「100人以上」の割合が女性に比べ高くなっています。

年齢別で見ると、16～19歳では「50～99人」及び「100人以上」の割合が高くなっています。一方で、その他年代は、「1～9人」及び「10～19人」の割合が高くなっています。

図表 19 友人・知人(全体)



図表 20 友人・知人(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		0 人	1 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 39 人	40 ～ 49 人	50 ～ 99 人	1 0 0 人 以上	無 回 答
全体(1,172)		7.3	26.5	22.8	12.4	8.4	1.0	8.6	8.4	4.5
性別	男性(507)	9.7	29.4	22.5	10.7	7.5	0.4	6.7	8.7	4.5
	女性(659)	5.6	24.6	22.6	13.8	9.1	1.4	10.2	8.3	4.4
年齢別	16～19歳(32)	0.0	9.4	15.6	15.6	12.5	3.1	18.8	25.0	0.0
	20～29歳(109)	9.2	24.8	16.5	13.8	9.2	0.9	10.1	11.0	4.6
	30～39歳(182)	12.1	24.2	22.5	14.3	8.8	0.5	7.1	7.1	3.3
	40～49歳(233)	12.0	24.9	20.6	9.9	6.9	2.6	10.7	9.4	3.0
	50～59歳(215)	6.0	28.4	22.8	12.6	11.6	0.5	7.4	8.4	2.3
	60～69歳(169)	5.3	29.6	21.3	14.2	8.3	0.0	7.1	9.5	4.7
	70歳以上(226)	1.8	30.1	29.2	11.1	5.8	0.4	7.5	4.4	9.7
居住地区別	下戸田1地区(144)	6.3	27.8	24.3	13.9	4.9	0.0	8.3	9.0	5.6
	下戸田2地区(214)	8.4	34.6	18.2	10.7	10.3	0.5	7.0	7.0	3.3
	上戸田1地区(125)	8.0	21.6	19.2	15.2	11.2	0.8	13.6	5.6	4.8
	上戸田2地区(171)	8.8	28.1	26.3	7.6	7.0	1.2	9.4	7.6	4.1
	新曽地区(251)	7.2	23.9	26.3	15.1	5.2	1.2	8.4	8.4	4.4
	笹目地区(156)	5.1	19.9	23.7	12.2	14.1	1.3	9.6	9.6	4.5
	美女木地区(106)	7.5	27.4	19.8	9.4	7.5	2.8	4.7	14.2	6.6

問 14 友人・知人との関係

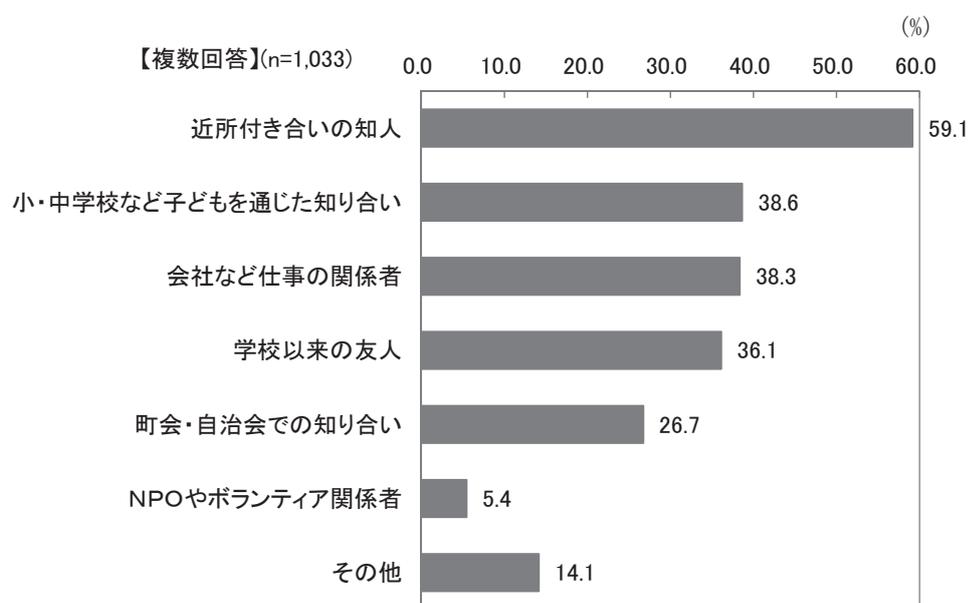
全標本 1,172 のうち、友人・知人の数が 1 人以上の標本は、1,033 でした。これを友人・知人との関係を考える際の集計母数 n とします。

友人・知人との関係は、「近所付き合い」が 59.1%で最も多く、次いで「小・中学校など子どもを通じた知り合い」が 38.6%、「会社など仕事の関係者」が 38.3%でした。一方、低い値となったのは、「NPO・ボランティア関係者」の 5.4%でした。

性別にみると、特に女性の「小・中学校など子どもを通じた知り合い」が 50.4%と男性の 23.0%の 2 倍以上であることが特徴です。

年齢別にみると、「町会・自治会での知り合い」において、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。また、30 歳代から 50 歳代までの「小・中学校など子どもを通じた知り合い」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

図表 21 友人・知人との関係(全体)



図表 22 友人・知人との関係(全体・性別・年齢別・居住地区別・友人・知人の数別)

		学校以来の友人	近所付き合いの知人	会社など仕事の関係者	町会・自治会での知り合い	NPOやボランティア関係者	小・中学校など子どもを通じた知り合い	その他
全体(1,033)		36.1	59.1	38.3	26.7	5.4	38.6	14.1
性別	男性(435)	42.3	51.5	40.7	23.4	5.1	23.0	13.3
	女性(593)	31.9	64.8	36.8	28.7	5.7	50.4	14.7
年齢別	16～19歳(32)	96.9	59.4	3.1	9.4	0.0	15.6	9.4
	20～29歳(94)	86.2	47.9	21.3	4.3	1.1	17.0	9.6
	30～39歳(154)	41.6	48.1	48.7	11.7	3.2	45.5	11.7
	40～49歳(198)	37.4	62.1	44.4	22.7	3.5	56.6	11.6
	50～59歳(197)	28.4	56.9	45.7	27.9	8.1	48.7	14.7
	60～69歳(152)	23.0	65.1	39.5	35.5	6.6	37.5	17.1
	70歳以上(200)	16.0	67.5	30.0	46.0	8.0	20.5	18.5
居住地区別	下戸田1地区(127)	37.8	59.8	38.6	30.7	5.5	41.7	11.8
	下戸田2地区(189)	33.3	58.2	34.4	16.9	4.2	32.8	11.1
	上戸田1地区(109)	30.3	57.8	34.9	28.4	0.9	45.9	18.3
	上戸田2地区(149)	30.9	63.8	36.9	21.5	8.1	38.3	16.8
	新曽地区(222)	36.0	54.1	37.4	21.2	5.4	39.6	14.0
	笹目地区(141)	44.7	65.2	46.1	41.1	5.7	40.4	15.6
	美女木地区(91)	41.8	59.3	42.9	40.7	8.8	33.0	12.1
友人・知人の数別	1～5人(269)	25.3	37.5	31.6	8.9	0.7	17.8	14.5
	6～10人(264)	26.5	53.0	33.0	18.6	3.8	31.4	12.5
	11～50人(387)	43.4	70.5	41.6	36.2	5.9	52.5	13.7
	51～100人(81)	48.1	82.7	49.4	51.9	14.8	54.3	23.5
	101人以上(32)	87.5	93.8	71.9	65.6	28.1	65.6	6.3

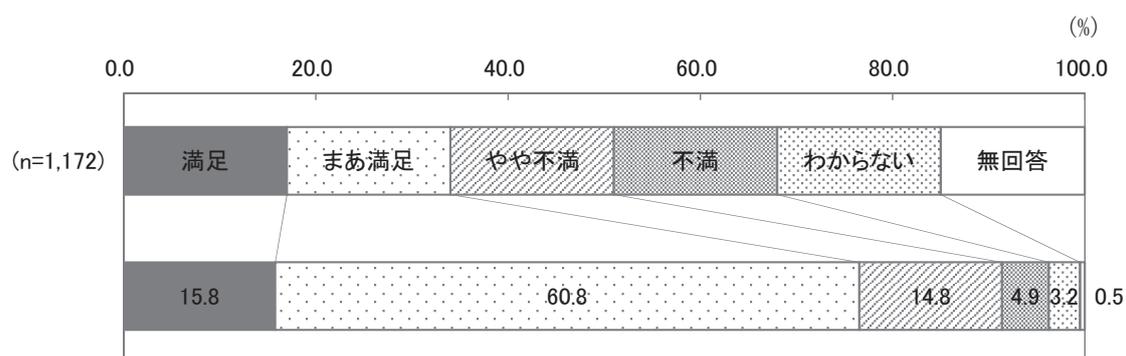
問 15 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」(15.8%)及び「まあ満足」(60.8%)を合わせると76.6%であり、約4人に3人は満足しているという結果でした。また、「やや不満」は14.8%、「不満」は4.9%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるほど満足度は低くなる傾向が見られますが、70歳以上では、「満足」が15.9%と高くなっています。また、どの年代においても、「満足」及び「まあ満足」を合わせると70%を超えています。

居住地区別では、上戸田1地区と上戸田2地区では「満足」及び「まあ満足」を合せると80%を超えています。一方、「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは下戸田1地区の27.1%であり、次いで新曽地区の22.3%となっています。

図表 23 生活満足度(全体)



図表 24 生活満足度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	全体(1,172)	15.8	60.8	14.8	4.9	3.2	0.5
性別	男性(507)	14.2	60.4	15.2	5.7	3.9	0.6
	女性(659)	17.0	61.2	14.7	3.9	2.7	0.5
年齢別	16～19歳(32)	31.3	59.4	3.1	3.1	3.1	0.0
	20～29歳(109)	21.1	56.0	10.1	6.4	6.4	0.0
	30～39歳(182)	16.5	57.1	14.8	8.2	3.3	0.0
	40～49歳(233)	15.9	64.8	13.3	2.1	3.0	0.9
	50～59歳(215)	13.5	60.9	16.7	4.2	3.7	0.9
	60～69歳(169)	11.2	65.1	17.2	4.7	1.8	0.0
	70歳以上(226)	15.9	58.4	17.3	4.9	2.7	0.9
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.8	56.9	19.4	7.6	3.5	0.7
	下戸田2地区(214)	15.0	61.2	15.0	5.1	3.7	0.0
	上戸田1地区(125)	16.8	63.2	12.8	3.2	4.0	0.0
	上戸田2地区(171)	18.7	63.7	10.5	1.8	3.5	1.8
	新曽地区(251)	15.1	60.6	15.9	6.4	2.0	0.0
	笹目地区(156)	14.7	64.1	14.1	4.5	2.6	0.0
	美女木地区(106)	20.8	53.8	16.0	2.8	4.7	1.9

Ⅱ. 調査結果の分析

1. 定住意向について

(1) 戸田市に移転したきっかけ

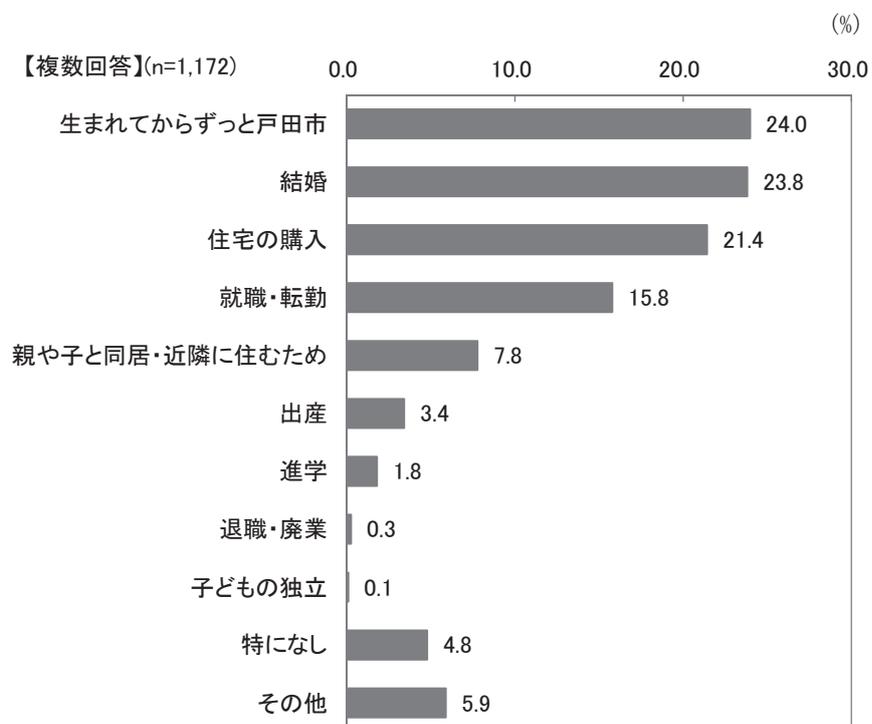
問 16 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・戸田市に移転したきっかけについては、「結婚」が 23.8%と最も高く、次いで「住宅の購入」(21.4%)、「就職・転勤」(15.8%)となっています。

・また、「生まれてからずっと戸田市」は 24.0%となっています。

図表 25 戸田市に移転したきっかけ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「就職・転勤」が女性より 6.1 ポイント高くなっており、一方、女性は「結婚」が男性と比べて 15.8 ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「生まれてからずっと戸田市」が高く、30 歳代と 40 歳代は「結婚」が高くなっています。また、「住宅の購入」は 50 歳代以上で高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「結婚」が多いのは上戸田 1 地区及び美女木地区でした。また、「住宅の購入」は下戸田 2 地区が 29.0%と最も高く、次いで下戸田 1 地区の 25.0%となっています。

図表 26 戸田市に移転したきっかけ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ず 生 ま れ て か ら 戸 田 市	進 学	就 職 ・ 転 勤	結 婚	出 産	子 ど も の 独 立	退 職 ・ 廃 業	近 隣 に 住 む た め ・ 親 や 子 と 同 居	住 宅 の 購 入	特 に な し	そ の 他
	全体(1,172)	24.0	1.8	15.8	23.8	3.4	0.1	0.3	7.8	21.4	4.8	5.9
性別	男性(507)	28.8	1.6	19.3	15.0	3.0	0.2	0.2	7.3	22.1	6.1	5.3
	女性(659)	20.3	2.0	13.2	30.8	3.8	0.0	0.3	8.2	21.1	3.6	6.4
年齢別	16～19 歳(32)	87.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1
	20～29 歳(109)	48.6	2.8	8.3	5.5	0.9	0.0	0.0	8.3	14.7	6.4	8.3
	30～39 歳(182)	19.8	4.4	17.6	23.6	6.6	0.0	0.0	8.2	19.2	4.9	5.5
	40～49 歳(233)	22.3	2.6	18.5	31.3	2.1	0.0	0.4	9.4	18.5	2.1	5.6
	50～59 歳(215)	19.1	0.0	14.4	27.9	4.2	0.0	0.0	8.4	23.7	6.5	7.9
	60～69 歳(169)	16.6	1.2	18.3	21.9	3.6	0.6	0.6	10.1	25.4	5.3	5.9
	70 歳以上(226)	18.6	0.9	15.9	26.1	3.1	0.0	0.4	4.4	27.4	4.9	3.5
居住地区別	下戸田 1 地区(144)	24.3	1.4	12.5	22.9	2.8	0.0	0.0	8.3	25.0	2.1	2.8
	下戸田 2 地区(214)	21.5	1.4	12.1	21.5	4.7	0.0	0.5	7.0	29.0	4.7	7.9
	上戸田 1 地区(125)	25.6	0.8	16.8	29.6	2.4	0.0	0.8	10.4	15.2	4.8	6.4
	上戸田 2 地区(171)	20.5	3.5	20.5	22.8	2.3	0.0	0.0	6.4	23.4	7.0	2.9
	新曽地区(251)	21.9	3.2	18.7	24.7	3.6	0.0	0.0	8.4	18.3	4.0	7.6
	笹目地区(156)	28.8	0.0	12.2	21.8	3.8	0.0	0.6	6.4	17.3	4.5	9.0
	美女木地区(106)	30.2	0.9	17.0	26.4	2.8	0.9	0.0	8.5	18.9	5.7	1.9

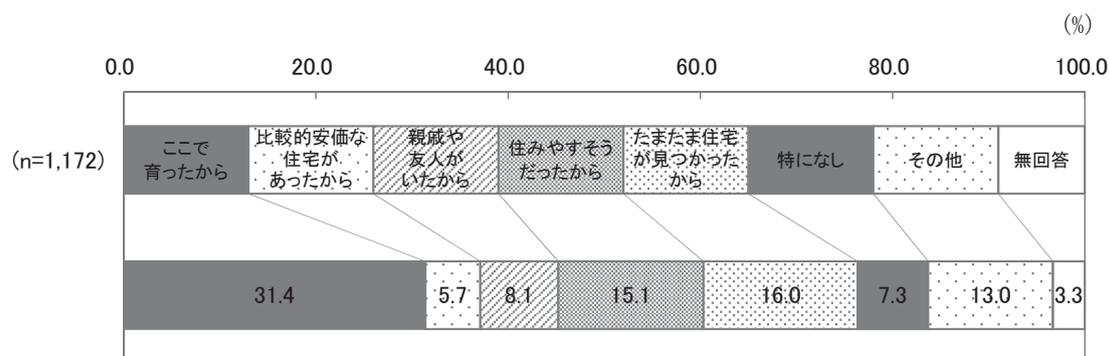
(2) 戸田市に住んでいる理由

問 17 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市に住んでいる理由については、「ここで育ったから」が31.4%と最も高く、次いで「たまたま住宅が見つかったから」(16.0%)、「住みやすそうだったから」(15.1%)となっています。

図表 27 戸田市に住んでいる理由(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、10歳代と20歳代で「ここで育ったから」が高くなっています。
- ・30歳代と40歳代は「住みやすそうだったから」が他の年代より高くなっています。
- ・60歳代と70歳以上では、「親戚や友人がいたから」と「たまたま住宅が見つかったから」の割合が他の年代より高くなっています。
- ・「特になし」については、70歳代で高くなっています。
- ・居住地区別でみると、新曽地区及び美女木地区では「たまたま住宅が見つかったから」が高くなっています。上戸田2地区では「比較的安価な住宅があったから」が全体の約2倍と高くなっています。また、笹目地区及び美女木地区では「ここで育ったから」が高くなっています。

図表 28 戸田市に住んでいる理由(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ここで育ったから	比較 的安 価な 住宅 があ った から	親 戚 や 友 人 が いた から	住 み や す そ う だ つ た か ら	た ま た ま 住 宅 が 見 つ か つ た か ら	特 に な し	そ の 他	無 回 答
	全体(1,172)	31.4	5.7	8.1	15.1	16.0	7.3	13.0	3.3
性別	男性(507)	39.4	6.1	7.1	15.8	13.0	7.7	8.9	2.0
	女性(659)	25.3	5.5	8.8	14.4	18.5	6.8	16.2	4.4
年齢別	16～19歳(32)	90.6	0.0	6.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(109)	69.7	0.9	4.6	4.6	5.5	6.4	6.4	1.8
	30～39歳(182)	25.3	7.7	8.2	20.9	15.9	6.0	12.1	3.8
	40～49歳(233)	29.2	7.7	6.0	22.3	12.9	3.4	15.5	3.0
	50～59歳(215)	25.6	8.4	8.8	15.8	16.7	7.4	14.4	2.8
	60～69歳(169)	27.2	3.6	9.5	15.4	18.9	7.1	16.0	2.4
	70歳以上(226)	20.8	4.4	10.2	9.7	23.5	13.3	12.4	5.8
居住地区別	下戸田1地区(144)	31.9	4.9	7.6	14.6	16.0	9.0	14.6	1.4
	下戸田2地区(214)	29.0	6.5	7.9	19.2	14.0	4.2	14.5	4.7
	上戸田1地区(125)	28.8	5.6	11.2	21.6	11.2	6.4	13.6	1.6
	上戸田2地区(171)	27.5	11.1	4.7	11.1	17.0	10.5	14.6	3.5
	新曽地区(251)	28.7	4.4	6.8	16.7	19.9	8.8	12.0	2.8
	笹目地区(156)	41.0	3.8	13.5	9.6	13.5	4.5	10.9	3.2
	美女木地区(106)	35.8	2.8	6.6	11.3	19.8	7.5	10.4	5.7

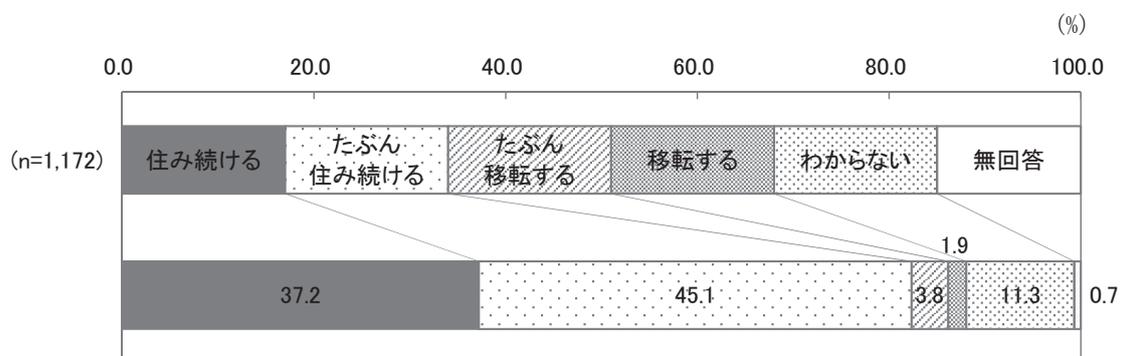
(3) 戸田市に住み続けたいか

問 18 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市にこれからも住み続けたいかについては、「住み続ける」(37.2%)、「たぶん住み続ける」(45.1%)を合わせて82.3%となっています。一方、「たぶん移転する」(3.8%)と「移転する」(1.9%)を合わせると5.7%となっています。

図表 29 戸田市に住み続けたいか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「住み続ける」については、50歳代では若干低くなるものの、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られます。一方、「たぶん移転する」では20歳代で、「移転する」では10歳代で他の年代と比べ高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区で「住み続ける」が高くなっています。

図表 30 戸田市に住み続けたいか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	無回答
全体 (1, 172)		37.2	45.1	3.8	1.9	11.3	0.7
性別	男性 (507)	39.8	43.8	3.9	2.0	10.1	0.4
	女性 (659)	35.1	46.4	3.8	1.8	12.1	0.8
年齢別	16～19歳 (32)	15.6	50.0	6.3	9.4	18.8	0.0
	20～29歳 (109)	18.3	42.2	12.8	4.6	22.0	0.0
	30～39歳 (182)	28.6	48.9	7.1	2.2	13.2	0.0
	40～49歳 (233)	34.8	51.1	1.3	2.1	10.3	0.4
	50～59歳 (215)	31.6	52.6	3.7	0.9	11.2	0.0
	60～69歳 (169)	42.6	42.0	3.0	1.8	10.1	0.6
	70歳以上 (226)	60.2	32.3	0.0	0.0	5.8	1.8
居住地区別	下戸田1地区 (144)	38.9	42.4	4.2	0.7	13.9	0.0
	下戸田2地区 (214)	30.8	48.1	4.7	2.3	13.1	0.9
	上戸田1地区 (125)	43.2	44.0	2.4	0.8	8.8	0.8
	上戸田2地区 (171)	29.8	53.8	2.9	2.3	9.4	1.8
	新曽地区 (251)	31.5	47.8	5.2	2.8	12.7	0.0
	笹目地区 (156)	50.0	37.8	2.6	0.6	7.7	1.3
	美女木地区 (106)	47.2	34.9	2.8	2.8	12.3	0.0

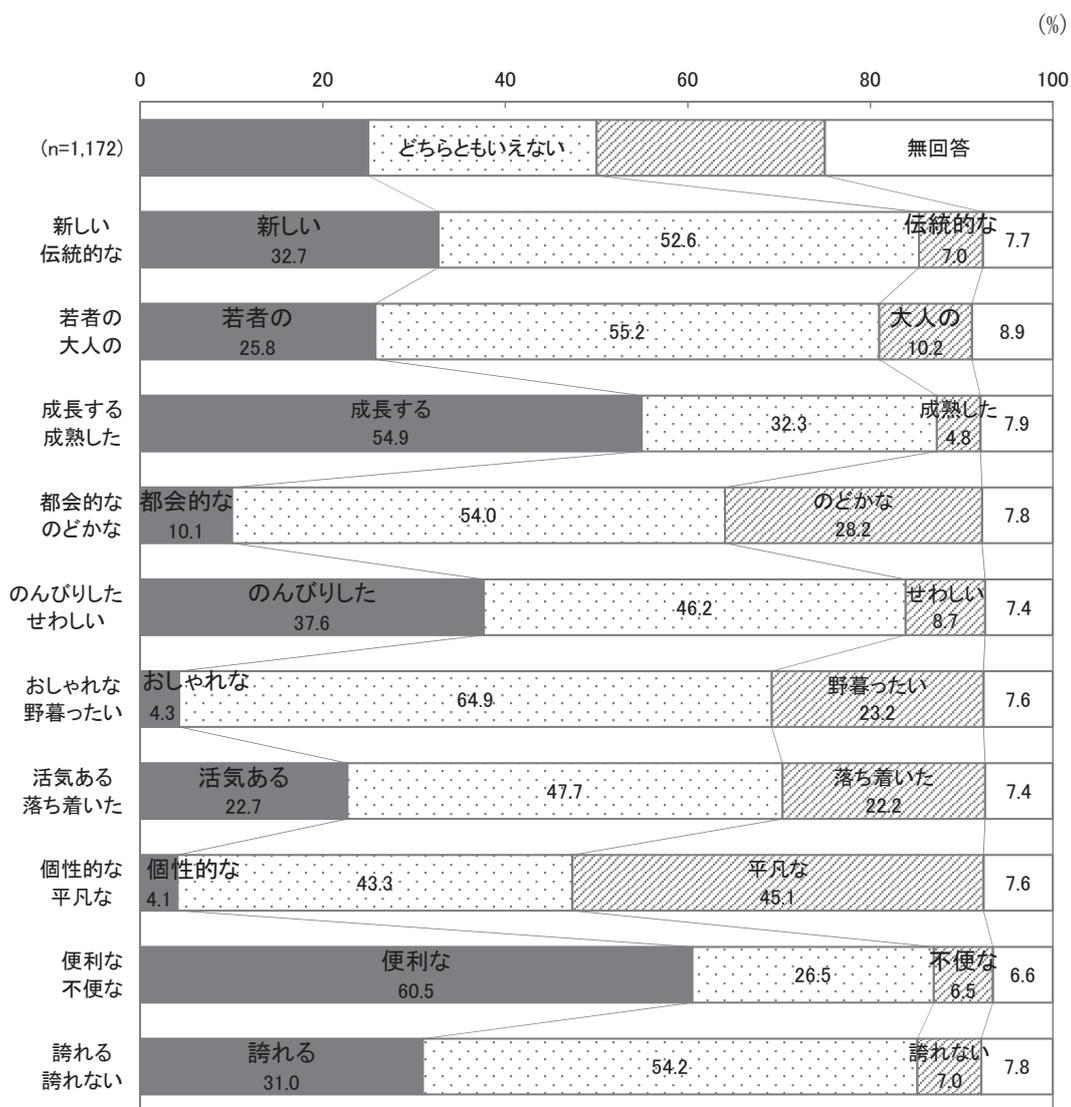
2. まちのイメージについて

(1) まちのイメージ

問 19 それぞれの項目に、まちのイメージをあらわす言葉が記されています。あなたは、戸田市にはどの言葉があてはまると思われますか。(項目ごとに○は1つ)

・まちのイメージをあらわす言葉については、「便利な」、「成長する」、「新しい」などの言葉の割合が高くなっています。一方、「平凡な」、「のんびりした」、「のどかな」、「誇れる」などのイメージも多く選ばれています。

図表 31 まちのイメージ(全体)



3. 健康づくりについて

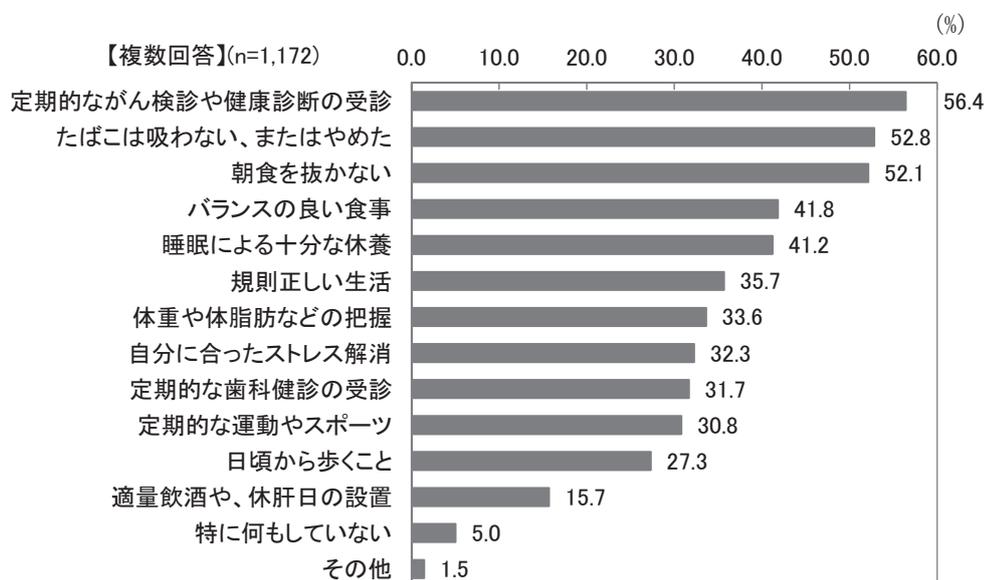
(1) 健康のために留意していること

問 20 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・健康のために留意していることについて、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が 56.4%と最も高く、次いで「たばこは吸わない、またはやめた」(52.8%)、「朝食を抜かない」(52.1%)となっています。一方、「特に何もしていない」は、「その他」を除けば 5.0%と最も低くなっています。

図表 32 健康のために留意していること(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「定期的な運動やスポーツ」、「適量飲酒や、休肝日の設置」が高く、女性は男性に比べ、「バランスの良い食事」、「規則正しい生活」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「特に何もしていない」を除き、年齢が上がるにつれてすべての項目で高くなる傾向があります。「特に何もしていない」については、20歳代が最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向があります。また、16～19歳は「特に何もしていない」を除き「定期的ながん検診や健康診断の受診」は 6.3%と低くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田2地区で「定期的ながん検診や健康診断の受診」が高くなっています。上戸田1地区及び笹目地区では「定期的な歯科健診の受診」が高くなっています。また、下戸田1地区及び美女木地区では「特に何もしていない」が高くなっています。

図表 33 健康のために留意していること(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日の設置	たばこは吸わない、またはやめた	特に何もしていない	その他
	全体(1,172)	56.4	31.7	41.8	52.1	30.8	27.3	33.6	41.2	32.3	35.7	15.7	52.8	5.0	1.5
性別	男性(507)	56.6	27.0	34.9	46.2	35.1	29.2	35.1	38.7	30.2	28.4	20.1	55.8	4.7	1.6
	女性(659)	56.3	35.4	47.2	56.8	27.6	25.8	32.6	43.4	34.0	41.6	12.3	50.4	5.3	1.4
年齢別	16～19歳(32)	6.3	18.8	53.1	43.8	40.6	21.9	21.9	43.8	46.9	34.4	6.3	28.1	6.3	0.0
	20～29歳(109)	17.4	18.3	30.3	45.0	27.5	14.7	30.3	40.4	34.9	28.4	18.3	55.0	13.8	0.9
	30～39歳(182)	49.5	23.1	35.2	48.4	28.6	18.7	29.7	42.9	33.5	31.3	17.6	52.7	7.1	0.5
	40～49歳(233)	61.8	30.9	37.3	45.9	30.5	21.0	34.3	38.2	32.2	33.5	13.7	51.5	4.3	1.7
	50～59歳(215)	64.7	31.2	40.9	47.0	34.0	29.8	36.7	35.3	36.7	31.2	21.4	52.1	3.7	1.9
	60～69歳(169)	71.0	42.0	48.5	52.1	33.7	32.0	36.1	40.8	27.8	42.6	10.1	50.3	4.7	0.0
	70歳以上(226)	63.7	40.7	51.8	71.2	28.3	41.2	35.0	49.1	26.5	45.1	14.6	58.8	1.3	3.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	54.2	28.5	41.7	52.1	25.7	28.5	28.5	37.5	32.6	38.9	16.7	50.7	6.9	1.4
	下戸田2地区(214)	55.6	29.9	40.2	54.2	31.8	24.3	30.4	39.7	31.3	33.2	16.4	51.4	5.1	2.3
	上戸田1地区(125)	58.4	37.6	45.6	53.6	32.8	32.8	34.4	41.6	28.0	33.6	16.0	51.2	5.6	0.8
	上戸田2地区(171)	60.8	31.0	41.5	47.4	33.9	31.6	32.2	44.4	36.8	32.7	15.2	50.9	3.5	1.8
	新曽地区(251)	53.4	31.5	43.0	53.0	29.5	24.3	36.3	41.8	33.1	38.2	15.9	54.6	4.4	1.2
	笹目地区(156)	58.3	37.8	41.0	51.9	28.8	26.3	36.5	43.6	30.1	32.7	12.8	50.6	3.8	1.3
	美女木地区(106)	56.6	26.4	41.5	53.8	34.0	27.4	38.7	40.6	33.0	43.4	17.9	61.3	7.5	0.9

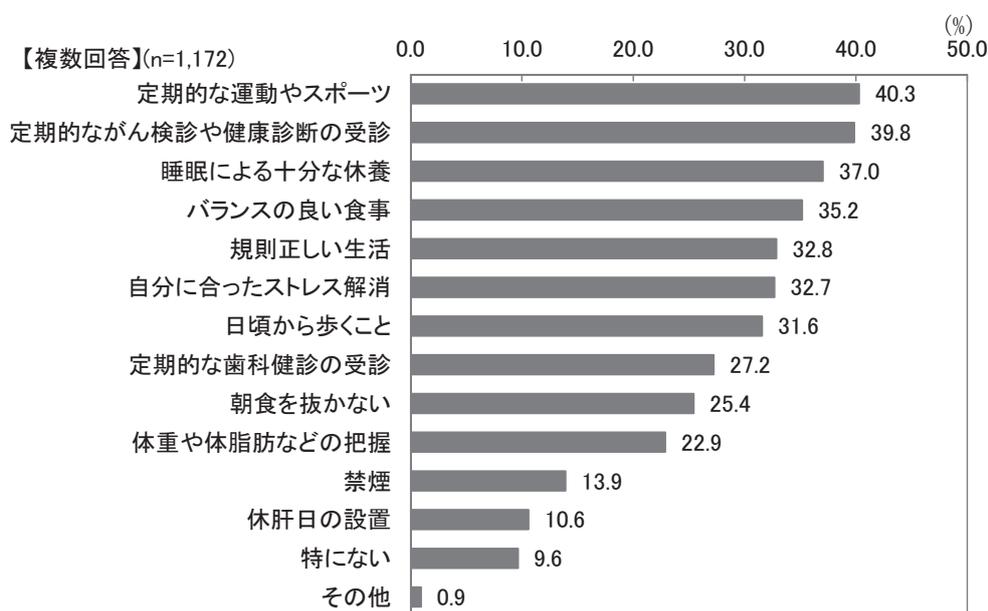
(2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 21 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あ
てはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・健康のために今後取り組みたいことについて、「定期的な運動やスポーツ」が40.3%と最も高く、次いで「定期的ながん検診や健康診断の受診」(39.8%)、「睡眠による十分な休養」(37.0%)となっています。

図表 34 健康のために今後取り組みたいこと(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「休肝日の設置」、「禁煙」及び「特にない」が高くなっています。女性は男性に比べ、それ以外の全ての項目で高くなっており、特に、「規則正しい生活」は9.1ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「定期的ながん検診や健康診断の受診」や「日頃から歩くこと」で年齢が上がるにつれ、各項目の割合が高くなる傾向が見られます。また、他の年齢と比べて10歳代から40歳代は、「定期的な運動やスポーツ」が高く、70歳以上は、「バランスの良い食事」、「朝食を抜かない」及び「禁煙」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、他の地区に比べ、上戸田1地区は、「体重や体脂肪などの把握」が低く、「定期的な歯科健診の受診」及び「禁煙」が高くなっています。また、笹目地区では、「定期的ながん検診や健康診断の受診」、「日頃から歩くこと」及び「規則正しい生活」が高く、「定期的な運動やスポーツ」及び「自分に合ったストレス解消」が低くなっています。

図表 35 健康のために今後取り組みたいこと(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置	禁煙	特にない	その他
	全体(1,172)	39.8	27.2	35.2	25.4	40.3	31.6	22.9	37.0	32.7	32.8	10.6	13.9	9.6	0.9
性別	男性(507)	35.3	23.1	31.0	24.5	37.3	27.0	21.1	33.9	28.8	27.8	15.8	18.5	13.0	1.8
	女性(659)	43.2	30.5	38.5	26.1	42.6	35.1	24.3	39.5	35.8	36.9	6.7	10.5	7.0	0.3
年齢別	16～19歳(32)	12.5	15.6	28.1	21.9	53.1	28.1	15.6	40.6	40.6	46.9	0.0	0.0	6.3	0.0
	20～29歳(109)	31.2	18.3	35.8	22.9	49.5	22.0	21.1	41.3	31.2	40.4	11.9	10.1	9.2	1.8
	30～39歳(182)	43.4	30.2	35.2	19.8	48.9	27.5	19.2	38.5	31.3	33.0	11.5	12.1	13.2	0.0
	40～49歳(233)	40.3	25.3	32.6	14.2	49.4	27.9	23.2	32.2	31.3	24.5	11.6	8.2	9.4	0.0
	50～59歳(215)	28.4	25.6	34.0	15.8	38.1	24.7	21.9	34.4	35.3	26.0	15.3	14.4	12.1	2.3
	60～69歳(169)	47.3	27.2	33.1	30.2	34.9	41.4	29.0	34.3	33.1	37.9	8.9	16.6	7.1	0.6
	70歳以上(226)	49.1	34.1	41.6	48.7	23.9	42.5	23.5	42.5	31.9	38.5	6.6	23.0	7.1	1.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	37.5	29.2	33.3	32.6	39.6	34.7	23.6	38.9	28.5	30.6	10.4	14.6	11.1	1.4
	下戸田2地区(214)	41.1	26.6	32.2	21.0	41.6	30.4	23.8	38.3	34.6	29.9	8.9	9.8	8.9	0.9
	上戸田1地区(125)	36.0	34.4	32.8	27.2	42.4	28.0	16.8	34.4	34.4	26.4	10.4	20.8	8.0	0.0
	上戸田2地区(171)	40.4	24.6	35.7	26.3	41.5	33.3	22.8	40.4	33.9	33.9	9.9	12.3	9.9	1.8
	新曽地区(251)	34.3	23.5	38.2	23.1	41.0	27.1	21.1	35.5	35.1	34.7	9.6	12.7	10.4	0.4
	笹目地区(156)	48.1	30.1	37.8	28.2	32.1	39.1	26.3	36.5	26.3	37.8	12.8	14.7	10.3	0.6
	美女木地区(106)	46.2	27.4	35.8	23.6	45.3	31.1	26.4	34.0	34.9	35.8	15.1	17.0	8.5	0.9

【定期的ながん検診や健康診断の受診について】

「健康のために留意していること」（問 20）及び「健康のために今後取り組みたいこと」（問 21）のいずれにおいても高い値を示した「定期的ながん検診や健康診断の受診」について、問 20 及び問 21 に対する回答（選択していれば○、選択していなければ×）に基づき、回答者を 4 つに分類し、集計しました（図表 36）。

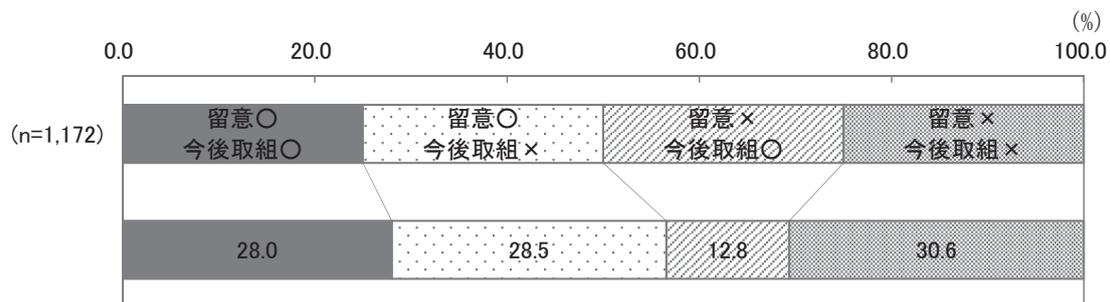
今後、がん検診や健康診断の受診者の増加を目指す場合、「現在留意していないが、今後取り組みたいと思っている（留意×今後取組○）」層に対する対策が効果的であると考えられます。

「留意×今後取組○」は、全体では 12.8%でした。さらに内訳を見ると、性別では、女性が 67.1%と男性の 2 倍以上という結果でした。年齢別では、30 歳代（24.7%）と 40 歳代（24.0%）の子育て世代の合計が 48.7%と約半数であり、全体の年齢構成（35.4%、図表 2 参照）よりも多くなっています。また、雇用形態別でみると、「フルタイム正社員」（29.5%）と「パート・アルバイト」（25.3%）が多くなっています。

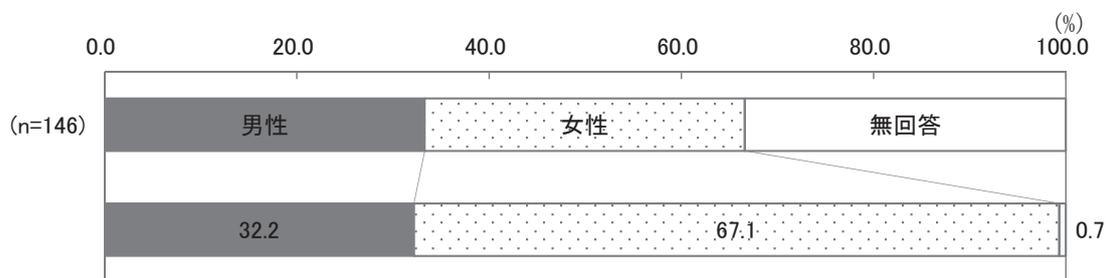
まとめると、定期的ながん検診や健康診断の受診について、「留意×今後取組○」の集団は、女性の割合が高く、年齢では 30 歳代・40 歳代の子育て世代、雇用形態では、パート・アルバイトなどが多い、という結果でした。

なお、この「留意×今後取組○」は、全体（n=1,172）の 12.8%であり、n=146 と集計母数が十分とは言えないため、そこから得た結果については、あくまで傾向を見る程度である点に留意してください。

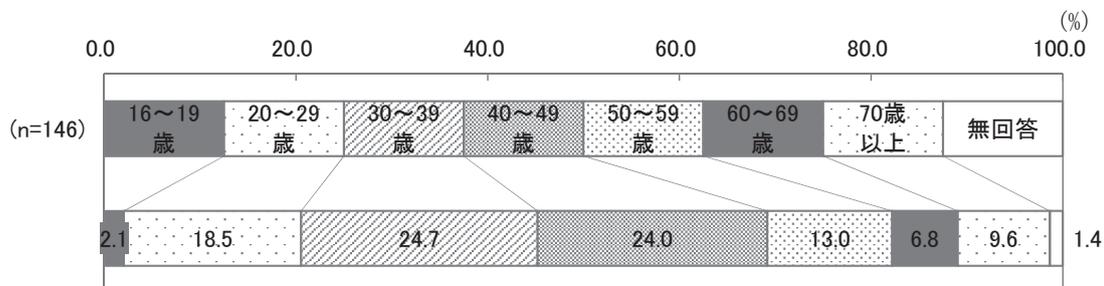
図表 36 定期的ながん検診や健康診断の受診(全体)



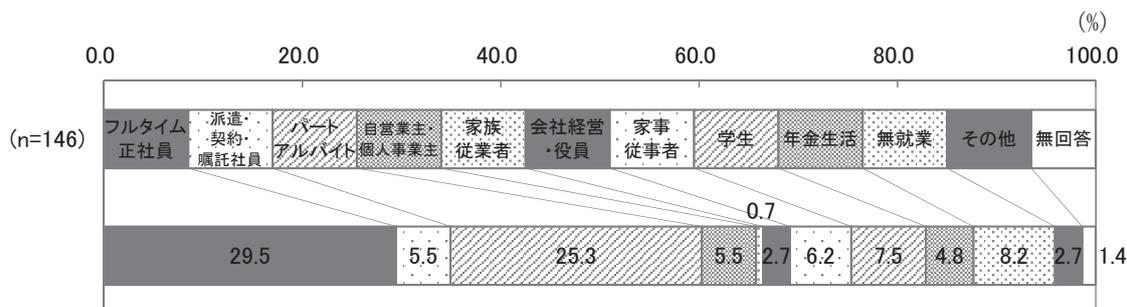
図表 37 留意×今後取組○(性別)



図表 38 留意×今後取組○(年齢別)



図表 39 留意×今後取組○(雇用形態別)



4. 子育てについて

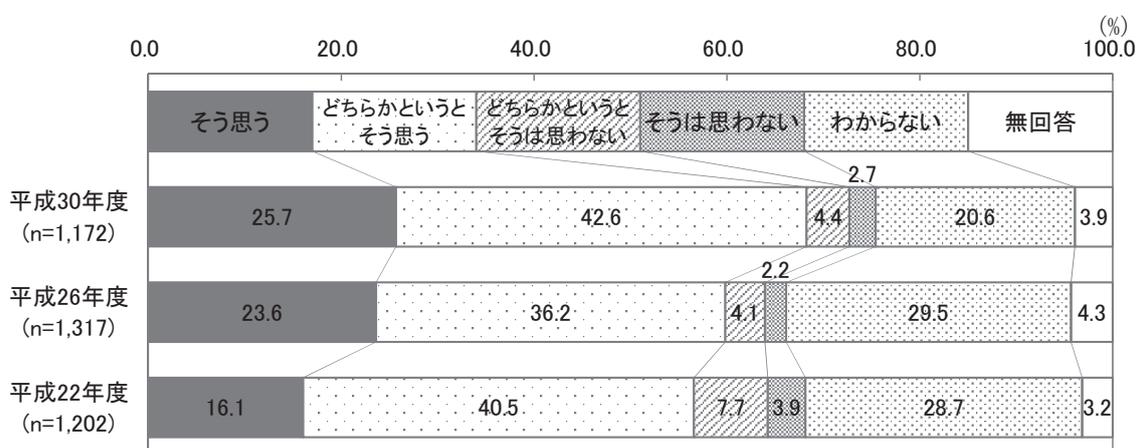
(1) 子育てのしやすさ

問 22 あなたは、戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市の子育てのしやすさについては、「そう思う」(25.7%)と「どちらかというと思う」(42.6%)を合わせた肯定的な意見が68.3%となっています。
- ・これまでの推移を見ると、肯定的な意見は増加傾向にあり、平成22年度以降、肯定的な意見が最も高くなっています。また、平成26年調査から8.5ポイント上昇しています。

図表 40 子育てのしやすさ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見について、男性が63.5%であるのに対し、女性は72.4%と女性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代～40歳代の子育て世代の「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が70%前後となっています。また、50歳代の「そう思う」が18.6%となっており、最も低くなっています。
- ・居住地区別にみると、すべての地区で、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が60%を超えています。また、肯定的な意見が最も多いのが新曽地区の74.5%、最も低いのが美女木地区の62.3%となっています。

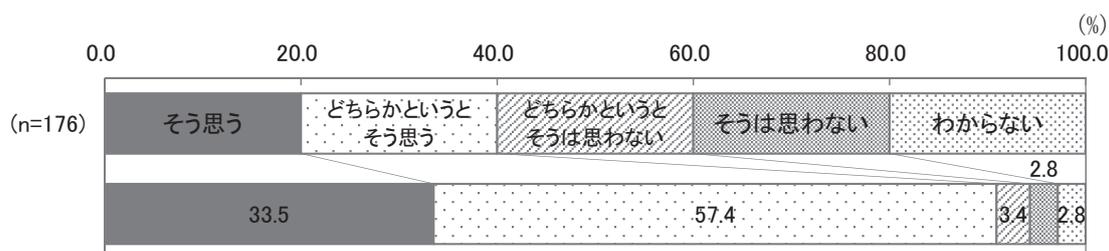
図表 41 子育てのしやすさ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体 (1,172)		25.7	42.6	4.4	2.7	20.6	3.9
性別	男性 (507)	22.9	40.6	4.3	4.1	24.5	3.6
	女性 (659)	27.9	44.5	4.6	1.5	17.8	3.8
年齢別	16～19 歳 (32)	25.0	43.8	3.1	0.0	28.1	0.0
	20～29 歳 (109)	22.9	46.8	0.0	3.7	25.7	0.9
	30～39 歳 (182)	25.3	51.1	6.0	1.1	15.9	0.5
	40～49 歳 (233)	27.0	49.4	4.7	2.1	15.9	0.9
	50～59 歳 (215)	18.6	50.7	4.7	4.7	20.9	0.5
	60～69 歳 (169)	29.0	38.5	5.3	3.6	18.9	4.7
	70 歳以上 (226)	30.5	23.0	4.4	1.8	26.5	13.7
居住地区別	下戸田 1 地区 (144)	22.2	40.3	4.9	2.8	25.7	4.2
	下戸田 2 地区 (214)	21.5	44.4	4.7	2.3	21.0	6.1
	上戸田 1 地区 (125)	32.8	41.6	2.4	1.6	16.8	4.8
	上戸田 2 地区 (171)	28.1	35.7	4.1	4.1	24.0	4.1
	新曽地区 (251)	23.9	50.6	2.8	4.4	16.3	2.0
	笹目地区 (156)	26.3	46.2	7.1	1.9	16.7	1.9
	美女木地区 (106)	30.2	32.1	5.7	0.0	26.4	5.7

【現役の子育て世代の回答傾向】

末子年齢が中学生以下である現役子育て世代の「子育てしやすさ」に対する意識は、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた 90.9%が子育てしやすいと回答しました。

図表 42 子育てのしやすさ(末子年齢が中学生以下の層)



(2) 子育てに関する満足度

問 23 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

※お子さんがいない方は、問 24 へお進みください。

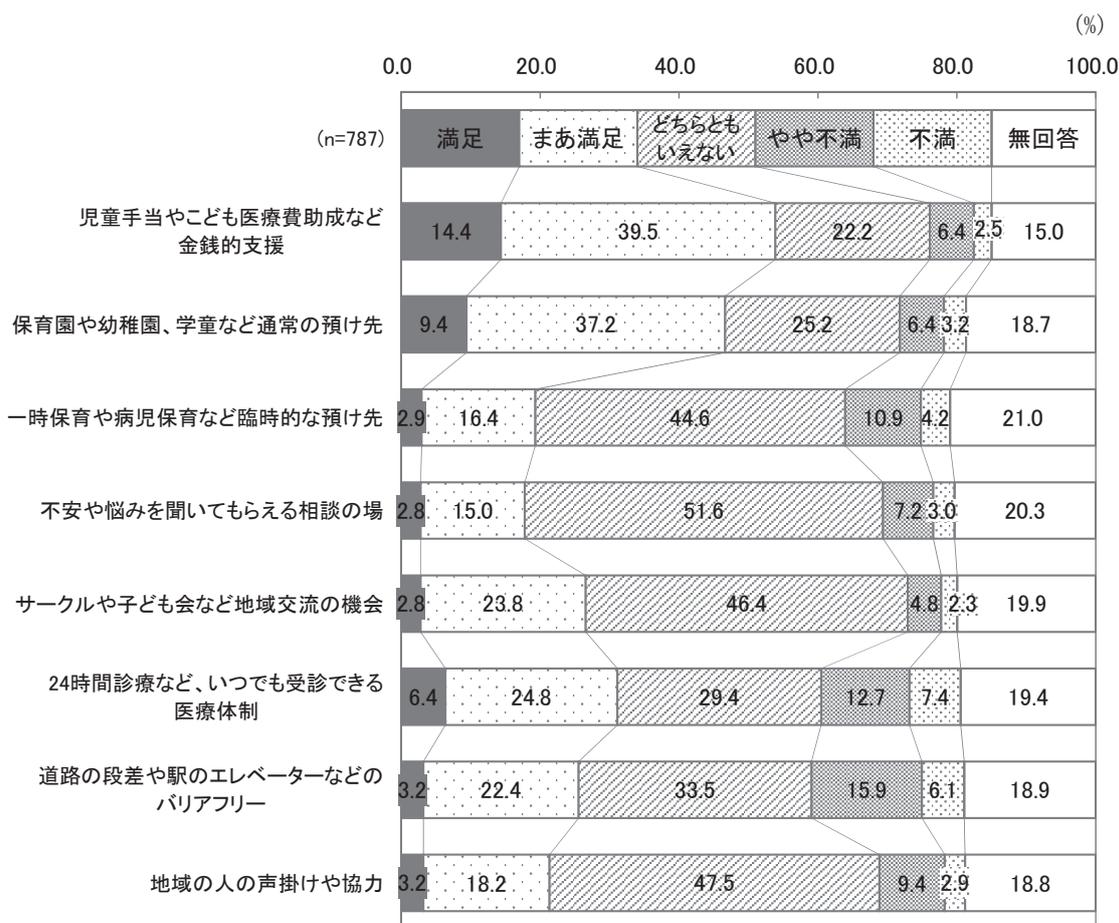
※お子さんが大きい方は、過去の経験からお答えください。

【回答傾向】

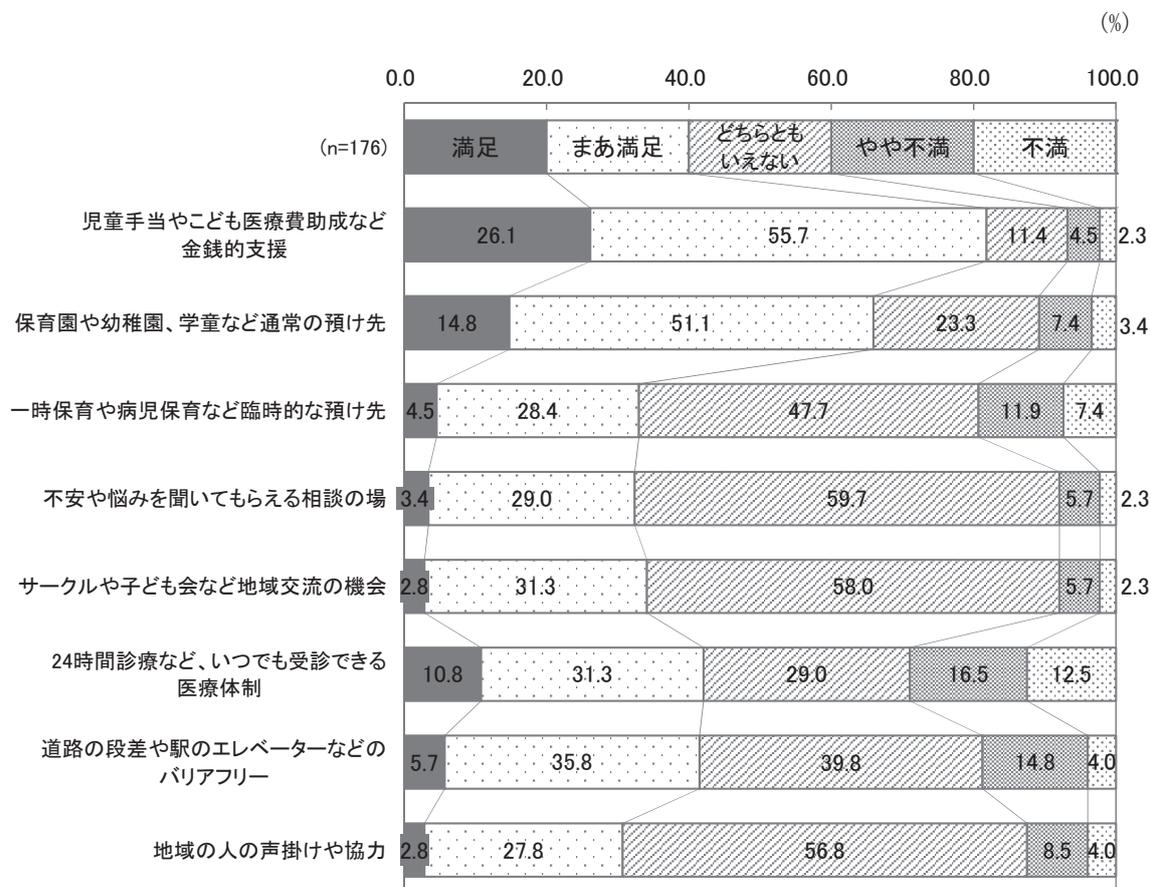
・この設問は、子どもがいる方のみ回答する設問であり、全体 (n=1,172) から、子どもがいない方 (n=385) を除いた n=787 が集計母数となります。

・「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」については、「満足」(14.4%)と「まあ満足」(39.5%)を合わせた肯定的な意見が 50%を超え、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」についても、肯定的な意見が 40%を超えています。一方で、「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」や「道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー」については、「不満」と「やや不満」を合わせた否定的な意見が 20%を超えています。

図表 43 子育てに関する満足度(全体)



図表 44 子育てに関する満足度(末子年齢が中学生以下の層)



- ・ 現役の子育て世代である、末子年齢が中学生以下の層については、全体（図表 43）と比べて、無回答者がなく、その分、各項目に分散しています。このことから、全ての項目で全体の割合に比べて、「満足」と「まあ満足」の割合が大きくなり、「不満」と「やや不満」の割合も大きくなる傾向にあります。
- ・ 「満足」と「まあ満足」の合計が、全体（図表 43）と比べて差が最も大きいのは、「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」（+27.9%）で、次いで「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」（+19.3%）でした。一方、「不満」と「やや不満」の合計が全体（図表 43）と比べて差が最も大きいのは、「24 時間診療など、いつでも受診できる医療体制」（+8.9%）、次いで「一時保育や病児保育など臨時的な預け先」（+4.2%）でした。

5. 高齢化について

(1) 高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うか

問 24 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

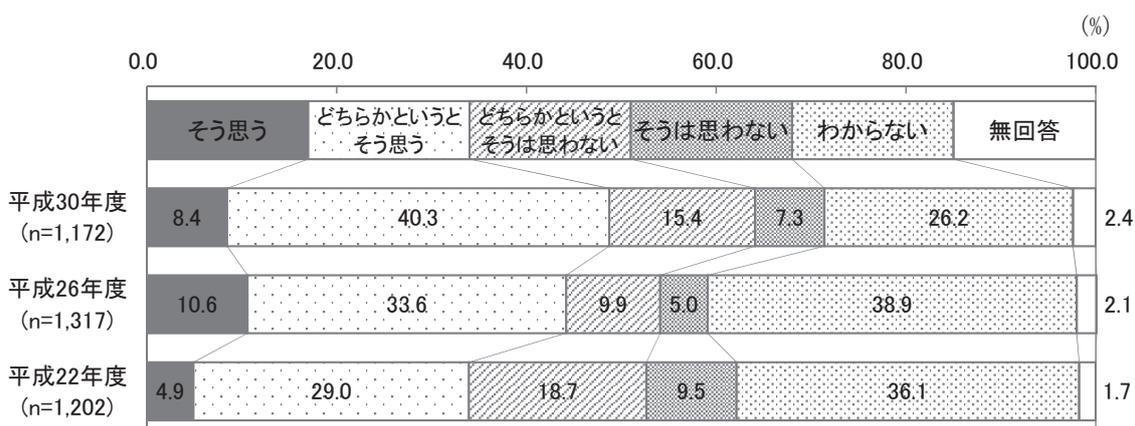
【全体の回答傾向】

・「そう思う」(8.4%)と「どちらかというと思う」(40.3%)を合わせた肯定的な意見が48.7%となっており、平成26年度調査から4.5ポイント増えています。一方、「どちらかというと思わない」(15.4%)と「そうは思わない」(7.3%)を合わせた否定的な意見は22.7%となっており、7.8ポイント増えています。

(参考) 平成22年度調査においては、次の設問としておりました。

「あなたは、市内に住む高齢者または高齢者のいる世帯が、安心して快適な生活を送ることができていると思いますか。1つだけ選んでください。」

図表 45 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳及び70歳以上で肯定的な意見が多く、「そう思う」は16～19歳で15.6%、70歳以上では16.4%と高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田1地区、上戸田1地区、美女木地区で「そう思う」が他の地区と比べ高い割合となっています。
- ・介護経験の有無については、回答数は少ないものの、65歳未満介護中の集計を見ると、「そう思う」が16.7%と全体に比べて高い値を示すとともに、「そうは思わない」も同じく16.7%と全体よりも高くなっています。

図表 46 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか

(全体・性別・年齢別・居住地区別・介護経験)

		そう思う	そう思う どちらかという	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体 (1, 172)	8.4	40.3	15.4	7.3	26.2	2.4
性別	男性 (507)	8.3	39.8	17.6	9.1	22.9	2.4
	女性 (659)	8.5	40.8	13.8	6.1	28.8	2.0
年齢別	16～19 歳 (32)	15.6	43.8	9.4	6.3	25.0	0.0
	20～29 歳 (109)	6.4	48.6	6.4	3.7	34.9	0.0
	30～39 歳 (182)	4.4	40.7	17.6	6.6	30.2	0.5
	40～49 歳 (233)	5.6	41.6	15.9	6.4	29.6	0.9
	50～59 歳 (215)	5.6	36.3	20.0	8.8	27.9	1.4
	60～69 歳 (169)	10.1	36.7	17.8	10.7	21.9	3.0
	70 歳以上 (226)	16.4	40.7	12.4	7.1	16.8	6.6
居住地区別	下戸田 1 地区 (144)	11.1	38.9	13.9	6.3	27.1	2.8
	下戸田 2 地区 (214)	5.6	44.9	14.5	6.5	27.1	1.4
	上戸田 1 地区 (125)	11.2	40.8	20.0	4.0	20.8	3.2
	上戸田 2 地区 (171)	8.8	37.4	11.1	9.9	29.8	2.9
	新曽地区 (251)	6.8	35.5	17.9	9.2	29.5	1.2
	笹目地区 (156)	8.3	47.4	13.5	7.7	20.5	2.6
	美女木地区 (106)	10.4	39.6	16.0	5.7	24.5	3.8
介護経験	65 歳以上介護中 (78)	9.0	46.2	20.5	9.0	15.4	0.0
	65 歳未満介護中 (6)	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0
	過去介護経験あり (223)	9.4	40.8	16.6	10.8	21.1	1.3
	介護をしたことがない (840)	8.1	40.1	14.3	6.2	28.8	2.5

(2) 高齢者に関することにどの程度満足しているか

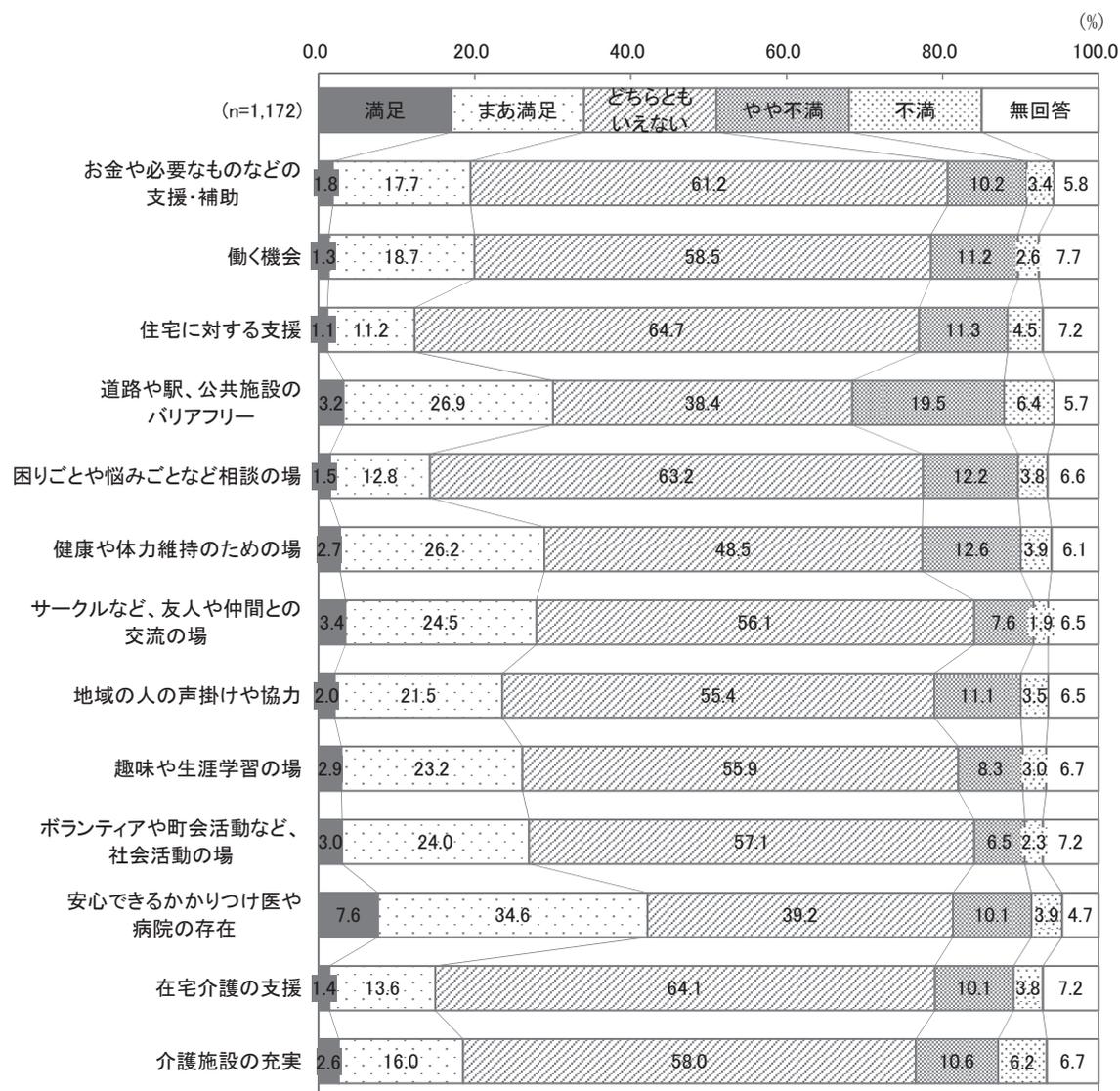
問 25 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・どの項目も、「どちらともいえない」が最も多い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」を見ると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が合計で42.2%と他の項目に比べて高い割合でした。また、「道路や駅、公共施設のバリアフリー」については、「満足」及び「まあ満足」が合計で30.1%と2番目に高い満足度を示す一方で、「やや不満」及び「不満」の合計も25.9%と突出して高いことが特徴でした。

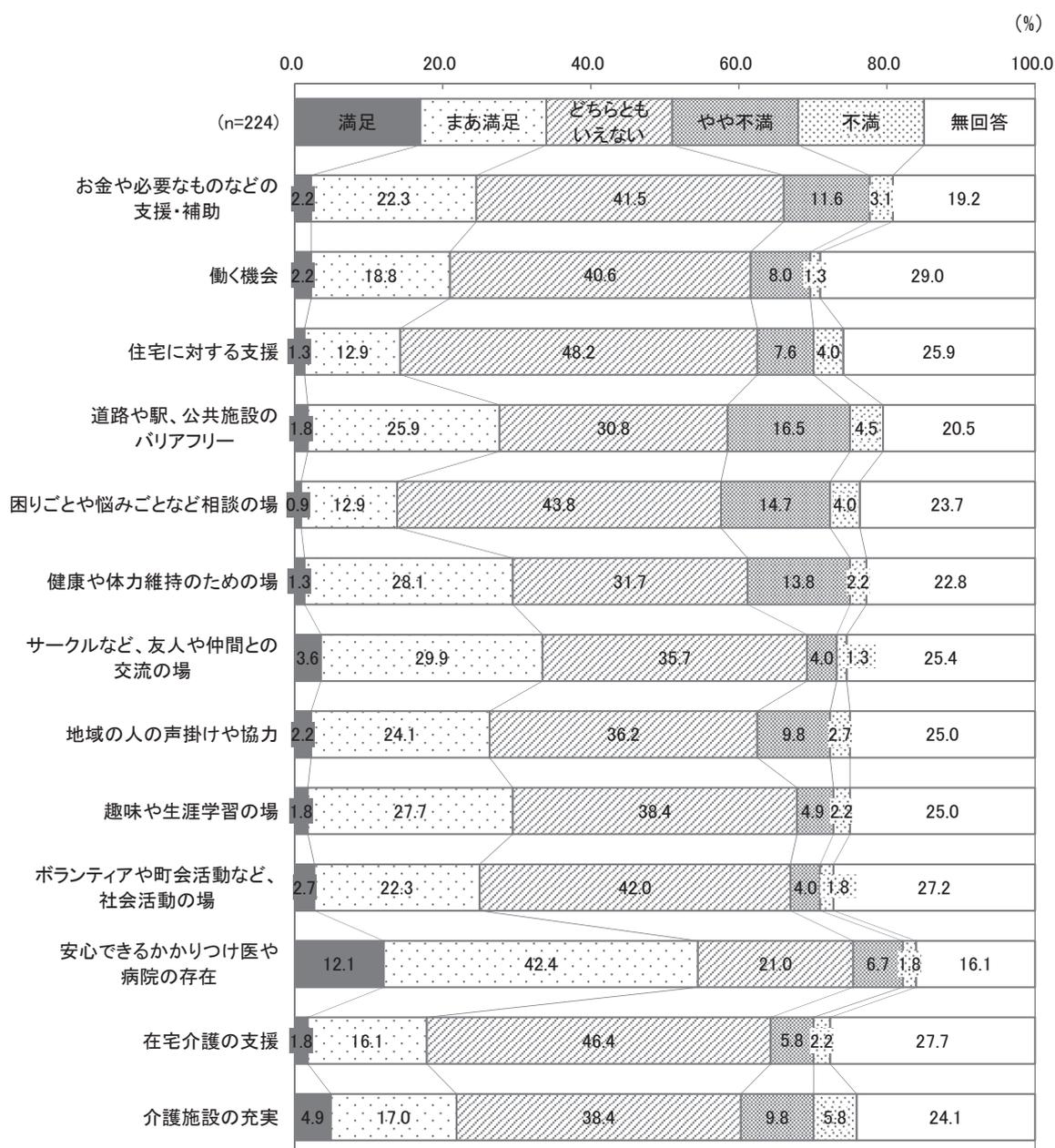
図表 47 高齢者に関することの満足度(全体)



【70 歳以上の満足度】

- ・70 歳以上では総じて満足度が高い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」でみると、最も顕著なのは、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」であり、合計が 54.5%と突出して高くなっています。また、「お金や必要なものなどの支援・補助」や「サークルなど、友人や仲間との交流の場」が全体（図表 47）と比べて高くなっています。一方で、「道路や駅、公共施設のバリアフリー」は、全体よりも低い値となっていました。

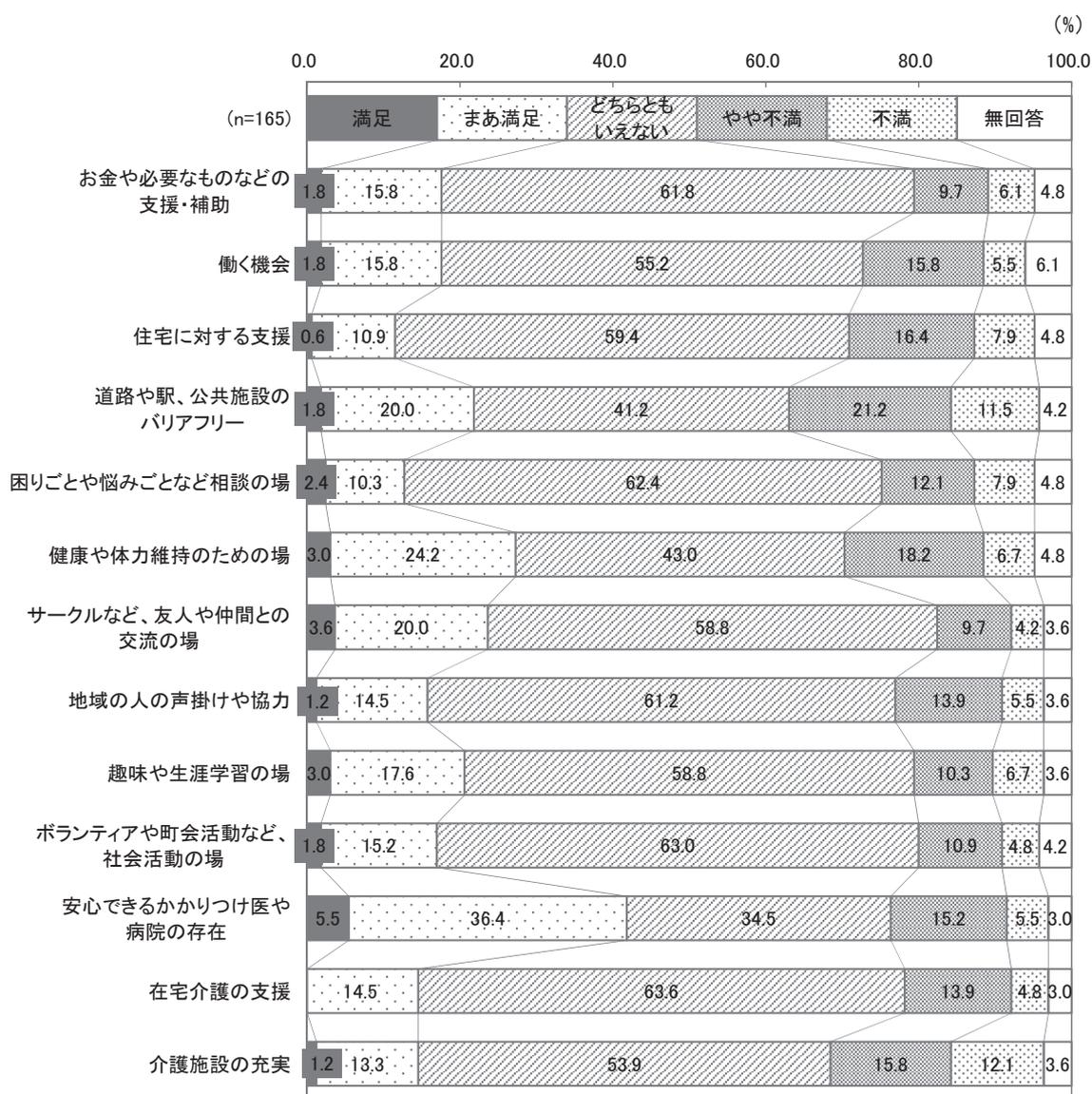
図表 48 高齢者に関することの満足度(70 歳以上の満足度)



【60～69歳の満足度】

・60歳代（図表49）を見ると、全体（図表47）や70歳代（図表48）と比べて、「やや不満」及び「不満」の割合が高く、無回答が少なくなっています。一方で、「満足」及び「まあ満足」の合計については、すべての項目で全体（図表47）と比べて低くなっています。

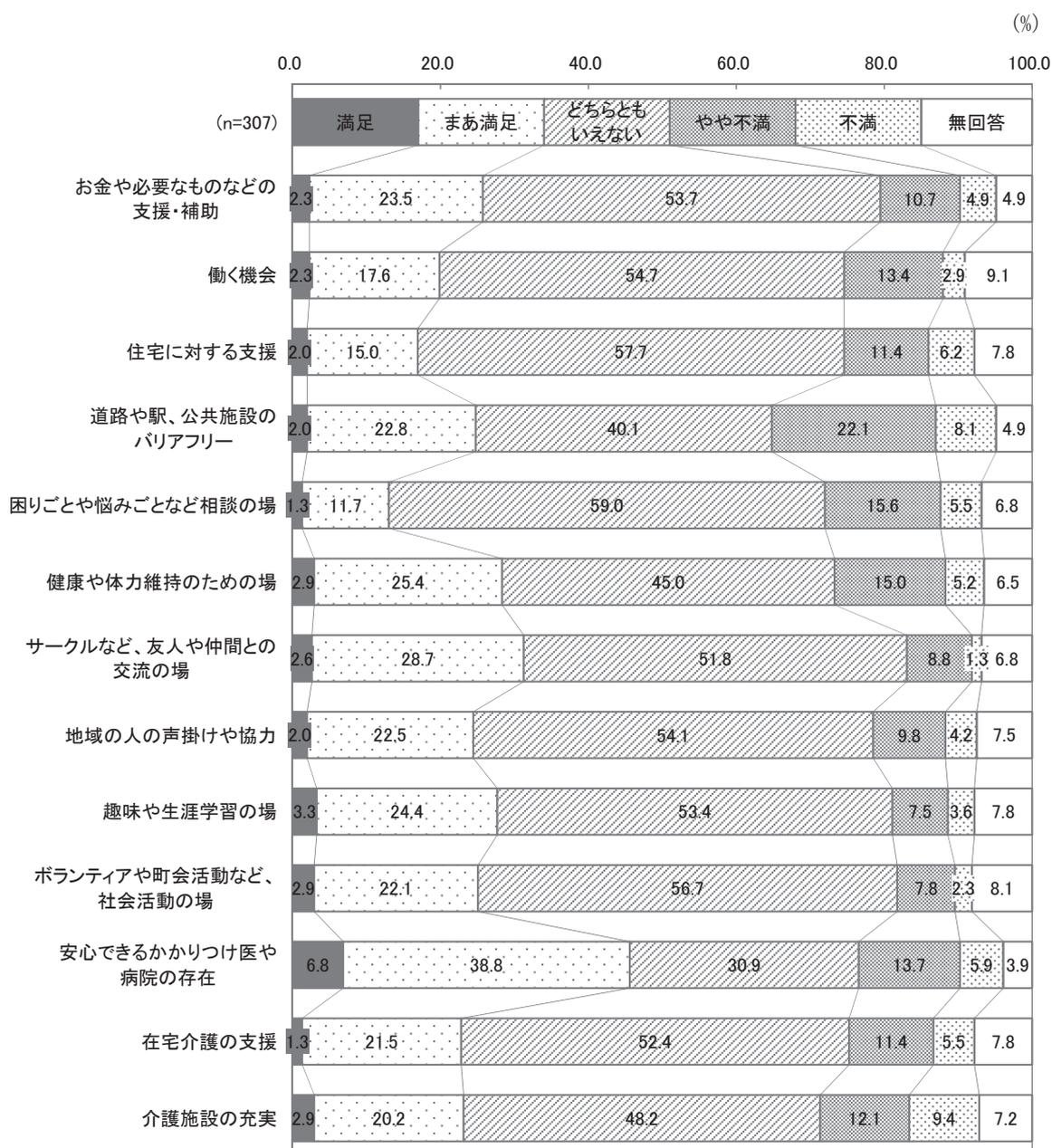
図表 49 高齢者に関することの満足度(60～69歳)



【介護経験者の満足度】

・介護経験者（図表 50）については、「お金や必要なものなどの支援・補助」及び「在宅介護の支援」の「満足」及び「まあ満足」が全体（図表 47）と比べて高くなっています。一方で、全体的に「不満」及び「やや不満」が高く、「困りごとや悩みごとなど相談の場」及び「安心できるかかりつけ医や病院の存在」については、全体（図表 47）と比べて、「不満」及び「やや不満」が高い結果でした。

図表 50 高齢者に関することの満足度(介護経験者)



6. 生活環境について

(1) 地域の生活環境

問 26 あなたは、住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

《本設問の集計方法とグラフの見方》

- ・地域の生活環境について、保健・衛生、安全、利便、快適の4分野23項目とそれらの総合評価からなる計24項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- ・評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
- ・したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

【全体の回答傾向】

- ・23項目のうちプラスの評価点となったものは13項目あり、評価点の高い順に「ごみの回収」「日用品・食料品等の買い物の便利さ」「通勤・通学の便利さ」「日当たりや風通しの良さ」となっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは10項目で、評価点の低い順に「川の水のきれいさ」「騒音・振動(工場・車等)」「周りの道路の安全性」「夜道の明るさ」となっています。

① 保健・衛生

- ・保健・衛生に関する7項目は、プラス評価・マイナス評価が混在しています。「ごみの回収」は評価点が+0.74と23項目の中で最も高くなっており、一方、「ハチ、蚊(か)等の害虫対策」、「ばい煙・排気ガス」や「騒音・振動(工場・車等)」など、害虫対策や環境衛生に関する項目の評価が低くなっています。

② 安全

- ・安全に関しては、7項目中6項目がマイナス評価となっています。特に、「周りの道路の安全性」が-0.22、「夜道の明るさ」が-0.18と、低い評価でした。

③ 利便

- ・利便に関する5項目は、すべてプラス評価になっています。特に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.69、「通勤・通学の便利さ」が+0.54と高い評価点となっています。

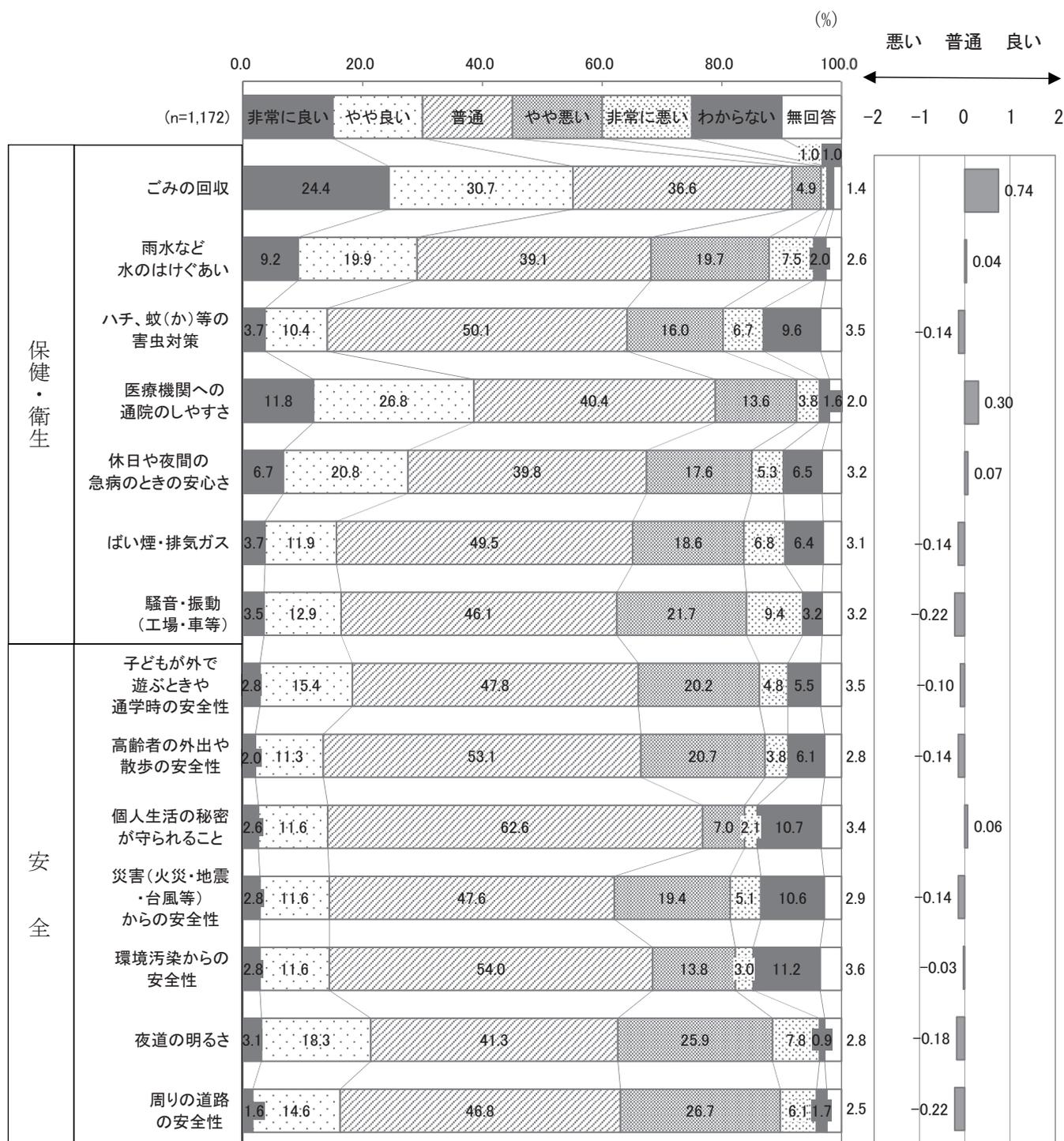
④ 快適

- ・快適に関する4項目は、「川の水のきれいさ」の-0.53を除き、プラス評価となっています。「日当たりや風通しの良さ」は、+0.52と全体でも4番目に高い評価となっています。

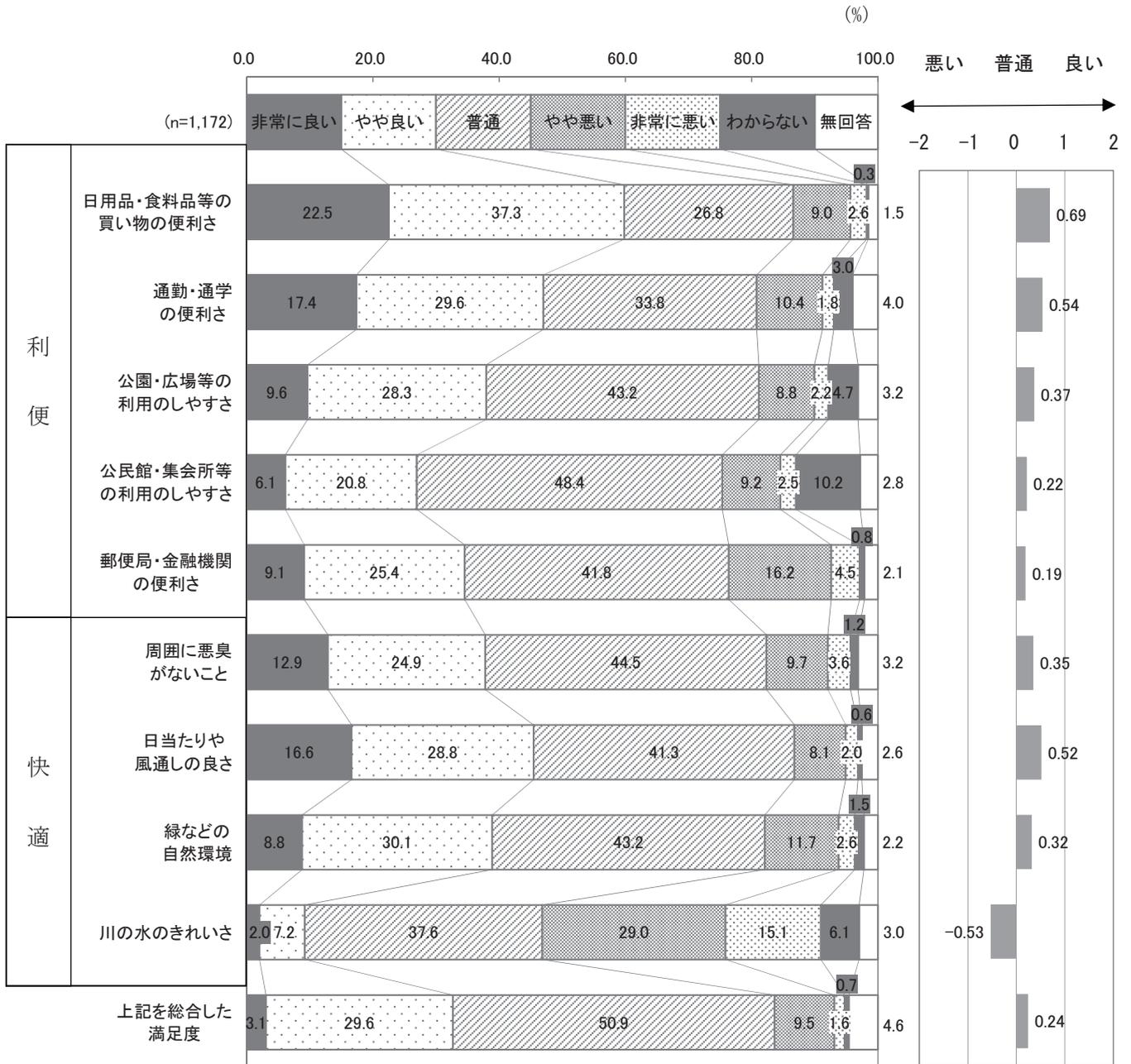
⑤ 総合

- ・①～④を総合した場合の評価点は+0.24で、地域の生活環境については総じてプラス評価となっています。

図表 51-1 地域の生活環境(全体・評価点)



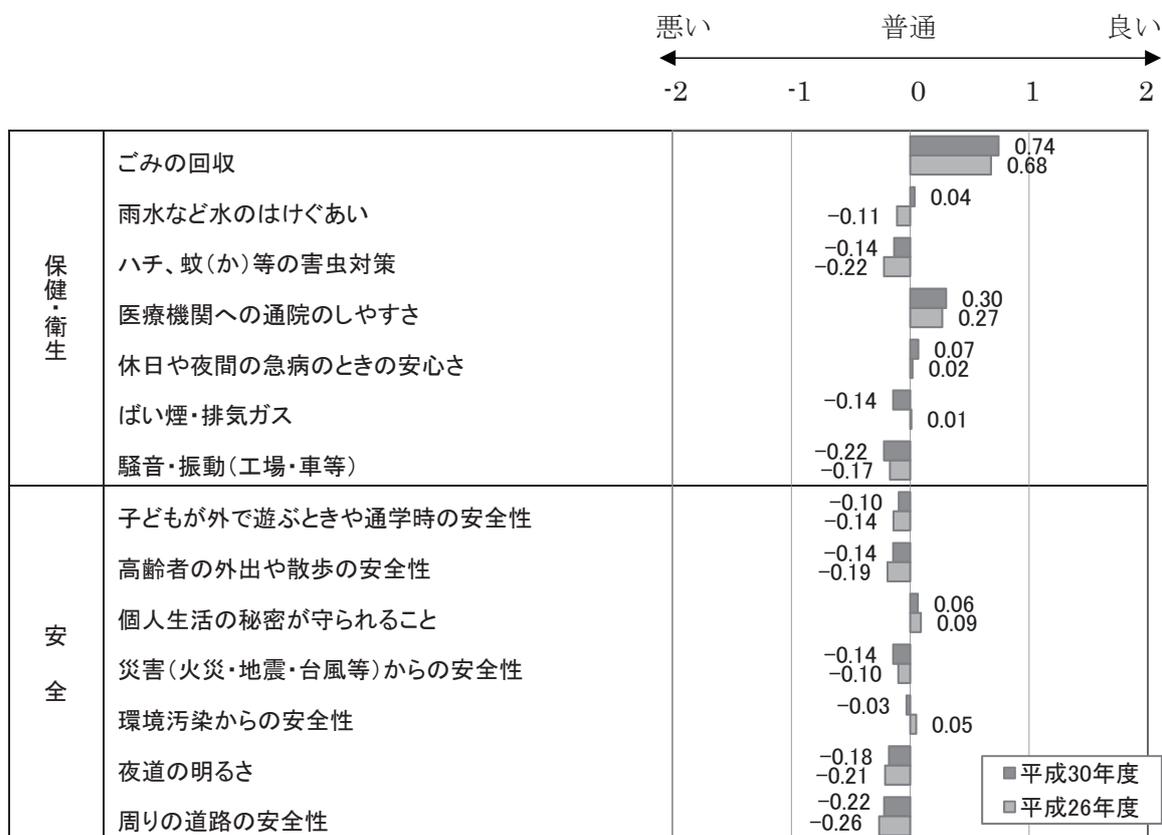
図表 51-2 地域の生活環境(全体・評価点)(つづき)



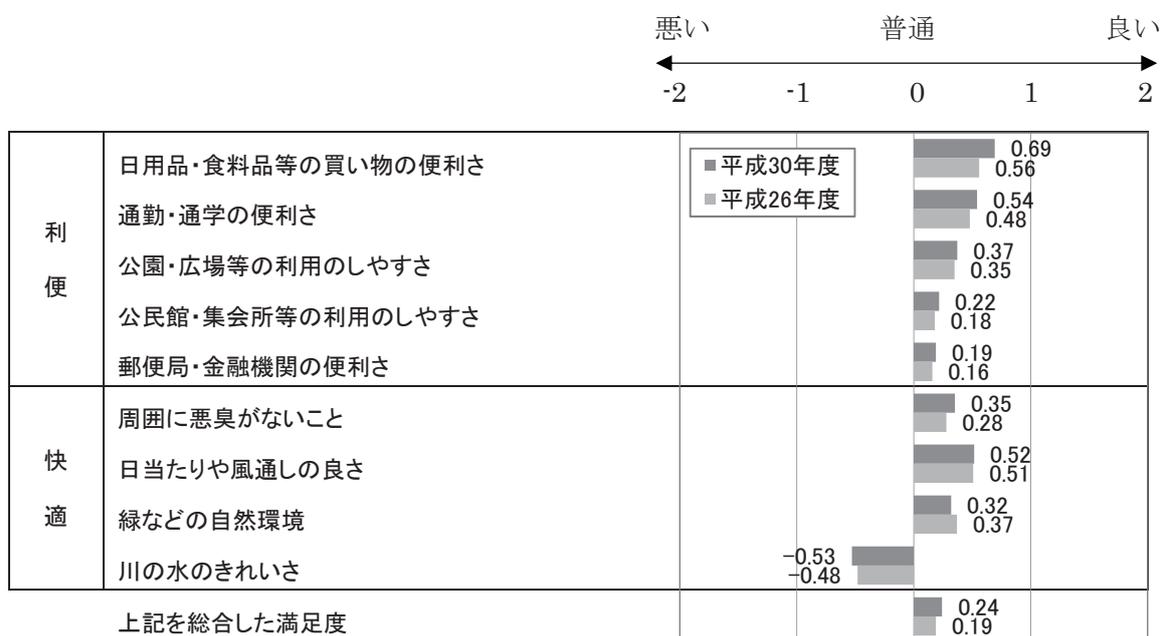
【平成 26 年度調査との比較】

- ・ 前回調査である平成 26 年度調査と比較すると、「総合評価」では、0.05 ポイントのプラスでした。
- ・ 4つの大きな項目で見ると、「利便」と「快適」の分野では、「緑などの自然環境」及び「川の水のきれいさ」（いずれも前回比-0.05）を除き、9項目中7項目で前回比プラスとなりました。
- ・ 一方、「保健・衛生」と「安全」の分野では、特に大きく上下した項目として、前回比プラスとなった項目では、「雨水など水のはけぐあい」（前回比+0.15）が最も高く、次いで、「ハチ、蚊（か）等の害虫対策」（前回比+0.08）でした。また、前回比マイナスとなった項目では、「ばい煙・排気ガス」（前回比-0.15）、「環境汚染からの安全性」（前回比-0.08）、「騒音・振動（工場・車等）」（前回比-0.05）でした。
- ・ 平成 30 年度調査においてマイナス評価で、かつ前回比がマイナスとなった項目は、「ばい煙・排気ガス」（評価点-0.14、前回比-0.15）、「騒音・振動（工場・車等）」（評価点-0.22、前回比-0.05）、「災害（火災・地震・台風等）からの安全性」（評価点-0.14、前回比-0.04）、「環境汚染からの安全性」（評価点-0.03、前回比-0.08）、「川の水のきれいさ」（評価点-0.53、前回比-0.05）の5項目でした。

図表 52-1 地域の生活環境(平成 26 年度調査との比較)



図表 52-2 地域の生活環境(平成 26 年度調査との比較)(つづき)



【属性別の回答傾向】

①平成 30 年度の評価点と、前回比がともにマイナスとなった 5 項目の傾向

- ・「ばい煙・排気ガス」(評価点-0.14、前回比-0.15)

平成 30 年度の評価点を属性別に見ると、年齢は 30 歳代で最も低い一方、16~19 歳及び 70 歳以上ではプラスとなっています。また、地区別で見ると、美女木地区 (-0.48) が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、16~19 歳のみプラスとなっています。また、地区別では、下戸田 1 地区が最もマイナスが大きく、次いで、笹目地区、新曽地区が前回比で大きくマイナスとなっています。

- ・「騒音・振動(工場・車等)」(評価点-0.22、前回比-0.05)

平成 30 年度の評価点を属性別に見ると、年齢は 30 歳代で最も低くなっています。また、地区別で見ると、美女木地区 (-0.63) が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、60 歳代以上で低い傾向があります。また、地区別では、下戸田 1 地区が最もマイナスが大きく、次いで、美女木地区、笹目地区が前回比で大きくマイナスとなっています。

- ・「災害(火災・地震・台風等)からの安全性」(評価点-0.14、前回比-0.04)

平成 30 年度の評価点を見ると、年齢別では、30 歳代~60 歳代で低い傾向となっています。また、居住地区別には、新曽地区 (-0.21) が最も低く、次いで下戸田 2 地区 (-0.16) となっています。美女木地区は 0.01 と唯一のプラスでした。

前回比で見ると、年齢では 16~19 歳が -0.38 と突出してマイナスが大きくなっています。地区別にみると、下戸田 1 地区が最もマイナスが大きい結果でした。美女木地区は

0.14 と唯一のプラスでした。

- ・「環境汚染からの安全性」(評価点-0.03、前回比-0.08)

平成 30 年度の評価点で見ると、16~19 歳及び 20 歳代で他の年代より高い値となっています。居住地区別では、新曽地区と美女木地区 (-0.11) で最も低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、30 歳代以上で前回比マイナスとなっています。居住地区別では、上戸田 1 地区で前回比+0.01 と唯一プラスで、美女木地区が前回比-0.12 と最もマイナスが大きくなっています。

- ・「川の水のきれいさ」(評価点-0.53、前回比-0.05)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では 16~19 歳が最も低い結果であり、居住地区別では笹目地区 (-0.67) が最も低く、次いで上戸田 2 地区 (-0.63)、新曽地区 (-0.62) と続いています。

前回比でみると、笹目地区が前回比-0.15 と最もマイナスが大きく、次いで新曽地区が-0.09 と続きます。

②前回比はプラスとなったものの、評価点はマイナスとなった 5 項目の傾向

- ・「ハチ、蚊(か)等の害虫対策」(評価点-0.14、前回比+0.08)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では 30 歳代が最も低くなっています。居住地区別では、新曽地区 (-0.40) が突出して低く、次いで上戸田 2 地区 (-0.21) が低い結果でした。

前回比で見ると、年齢別では 16~19 歳代 (+0.43) で大きくプラスとなっています。一方、30 歳代では-0.03 と唯一のマイナスとなっています。居住地区別では、上戸田 1 地区で+0.47 と突出して高くなっています。一方、上戸田 2 地区は前回比-0.04 と唯一のマイナスとなっています。

- ・「子どもが外で遊ぶ時や通学時の安全性」(評価点-0.10、前回比+0.04)

平成 30 年度の評価点で見ると、30 歳代~60 歳代でマイナスとなっています。居住地区別では、美女木地区 (-0.27) で最も低く、次いで新曽地区 (-0.18)、笹目地区 (-0.15) で低い値となっています。

前回比で見ると、年齢別では、16~19 歳で前回比+0.28 と大きくプラスとなっています。居住地区別では、下戸田 2 地区で前回比+0.12 と最も高く、次いで上戸田 1 地区 (+0.08) でした。居住期間別では、5 年未満で前回比-0.38 と大きくマイナスとなっている一方、5~10 年未満では前回比+0.28 と大きなプラスとなっています。

- ・「高齢者の外出や散歩の安全性」(評価点-0.14、前回比+0.05)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では、16~19 歳で最も高く (+0.37)、30 歳代~60 歳代ではマイナスとなっています。また、居住地区別は、美女木地区 (-0.22) が最も低く、次いで下戸田 1 地区と新曽地区 (-0.17) となっています。

前回比でみると、年齢別では、前回比-0.08 の 60 歳代を除くと、すべての年代で前回比プラスとなっています。居住地区別では、前回比-0.15 の下戸田 1 地区を除くと、す

すべての地区で前回比プラスとなっています。

・「夜道の明るさ」(評価点 -0.18 、前回比 $+0.03$)

平成 30 年度の評価点で見ると、性別では女性が -0.25 と男性の -0.08 より大幅に低くなっています。年齢別では 50 歳代が -0.33 と最も低くなっています。また、居住地区別では、下戸田 1 地区 ($+0.04$) が唯一のプラスとなっています。

前回比で見ると、16~19 歳及び 20 歳代で他の年代に比べ大きくプラスとなっています。居住地区別では、上戸田 2 地区 (-0.10) と笹目地区 (-0.09) のみマイナスとなっています。

・「周りの道路の安全性」(評価点 -0.22 、前回比 $+0.04$)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では、30 歳代~60 歳代で大きくマイナスとなっています。居住地区別では、新曽地区が -0.31 と最も低く、次いで上戸田 2 地区が -0.28 、美女木地区が -0.27 でした。

前回比で見ると、16~19 歳 (前回比 $+0.32$) で突出してプラスが大きくなっており、次いで 40 歳代 (前回比 $+0.15$)、20 歳代 (前回比 $+0.14$) となっています。また、地区別で見ると、上戸田 1 地区 (前回比 $+0.19$) や下戸田 2 地区 (前回比 $+0.15$) でプラス幅が大きい一方、上戸田 2 地区 (前回比 -0.12) ではマイナス幅が大きく、地区によって差が目立っています。

図表 53-1 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)

		保健・衛生							安全						
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊(か)等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動(工場・車等)	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害(火災・地震・台風等)からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性
	全体(1,172)	0.74	0.04	-0.14	0.30	0.07	-0.14	-0.22	-0.10	-0.14	0.06	-0.14	-0.03	-0.18	-0.22
性別	男性(507)	0.75	0.07	-0.09	0.28	0.07	-0.06	-0.13	-0.10	-0.13	0.05	-0.13	0.01	-0.08	-0.17
	女性(659)	0.74	0.01	-0.17	0.32	0.07	-0.21	-0.29	-0.09	-0.15	0.08	-0.15	-0.06	-0.25	-0.26
年齢別	16~19歳(32)	1.00	0.58	0.06	0.78	0.53	0.20	0.00	0.25	0.37	0.47	0.10	0.39	-0.10	0.22
	20~29歳(109)	0.76	0.09	-0.25	0.40	0.18	-0.16	-0.14	0.05	0.14	0.13	0.03	0.19	-0.10	-0.02
	30~39歳(182)	0.69	-0.14	-0.40	0.32	-0.05	-0.30	-0.37	-0.25	-0.23	0.07	-0.18	-0.12	-0.25	-0.36
	40~49歳(233)	0.60	-0.04	-0.12	0.28	0.05	-0.22	-0.22	-0.26	-0.23	0.08	-0.20	-0.05	-0.28	-0.27
	50~59歳(215)	0.61	-0.18	-0.11	0.16	-0.07	-0.22	-0.28	-0.12	-0.25	-0.05	-0.26	-0.12	-0.33	-0.40
	60~69歳(169)	0.62	0.07	-0.07	0.27	0.02	-0.10	-0.25	-0.12	-0.30	0.04	-0.19	-0.11	-0.20	-0.32
	70歳以上(226)	1.12	0.36	0.06	0.35	0.28	0.10	-0.06	0.17	0.07	0.07	-0.01	0.05	0.14	0.06
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.76	0.25	-0.05	0.41	0.08	-0.05	-0.02	0.00	-0.17	0.03	-0.15	0.01	0.04	-0.18
	下戸田2地区(214)	0.83	0.08	0.02	0.44	0.26	-0.14	-0.23	-0.01	-0.12	0.13	-0.16	-0.03	-0.10	-0.13
	上戸田1地区(125)	0.78	0.03	0.06	0.62	0.23	-0.02	-0.14	0.04	-0.04	0.06	-0.15	0.06	-0.17	-0.12
	上戸田2地区(171)	0.72	0.06	-0.21	0.68	0.32	-0.02	-0.06	-0.11	-0.12	0.13	-0.12	0.04	-0.17	-0.28
	新曽地区(251)	0.69	-0.30	-0.40	0.18	-0.08	-0.15	-0.21	-0.18	-0.17	0.05	-0.21	-0.11	-0.30	-0.31
	笹目地区(156)	0.67	0.15	-0.11	0.05	-0.08	-0.24	-0.39	-0.15	-0.15	0.02	-0.13	-0.02	-0.24	-0.22
	美女木地区(106)	0.80	0.28	-0.06	-0.42	-0.33	-0.48	-0.63	-0.27	-0.22	-0.01	0.01	-0.11	-0.27	-0.27
居住期間別	5年未満(22)	0.57	0.05	-0.24	0.18	-0.14	-0.15	-0.45	-0.43	-0.05	-0.20	-0.26	-0.16	-0.29	-0.29
	5~10年未満(81)	0.73	-0.30	-0.28	0.41	0.08	-0.19	-0.22	-0.09	-0.14	0.12	-0.14	-0.01	-0.14	-0.35
	10~20年未満(189)	0.68	-0.04	-0.21	0.43	0.26	-0.14	-0.16	-0.10	-0.05	0.19	-0.18	-0.01	-0.22	-0.15
	20年以上(872)	0.76	0.08	-0.10	0.27	0.03	-0.14	-0.23	-0.09	-0.16	0.04	-0.13	-0.03	-0.17	-0.22

図表 53-2 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)(つづき)

		利便					快適				総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	日当たりや風通しの良さ	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
	全体(1,172)	0.69	0.54	0.37	0.22	0.19	0.35	0.52	0.32	-0.53	0.24
性別	男性(507)	0.60	0.50	0.32	0.21	0.17	0.36	0.49	0.29	-0.51	0.24
	女性(659)	0.77	0.58	0.41	0.23	0.20	0.35	0.54	0.35	-0.54	0.25
年齢別	16~19歳(32)	1.16	1.09	0.75	0.69	0.69	0.58	0.66	0.50	-0.74	0.55
	20~29歳(109)	0.91	0.66	0.50	0.23	0.31	0.53	0.69	0.43	-0.54	0.40
	30~39歳(182)	0.87	0.54	0.50	0.16	0.11	0.22	0.51	0.37	-0.65	0.26
	40~49歳(233)	0.76	0.53	0.35	0.30	0.05	0.40	0.54	0.40	-0.57	0.31
	50~59歳(215)	0.57	0.53	0.34	0.09	0.02	0.21	0.48	0.29	-0.49	0.20
	60~69歳(169)	0.49	0.45	0.19	0.07	0.25	0.34	0.45	0.17	-0.55	0.12
	70歳以上(226)	0.59	0.49	0.32	0.34	0.41	0.46	0.50	0.26	-0.34	0.17
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.92	0.57	0.37	0.29	0.43	0.42	0.50	0.21	-0.53	0.25
	下戸田2地区(214)	0.83	0.67	0.50	0.27	0.30	0.49	0.54	0.35	-0.45	0.37
	上戸田1地区(125)	0.78	0.71	0.47	0.22	0.35	0.45	0.39	0.34	-0.35	0.32
	上戸田2地区(171)	0.92	0.88	0.43	0.32	0.32	0.40	0.48	0.38	-0.63	0.33
	新曽地区(251)	0.78	0.57	0.25	0.10	0.02	0.23	0.64	0.27	-0.62	0.17
	笹目地区(156)	0.07	0.18	0.26	0.16	-0.10	0.23	0.41	0.37	-0.67	0.10
	美女木地区(106)	0.34	-0.05	0.37	0.19	0.05	0.26	0.56	0.35	-0.30	0.13
居住期間別	5年未満(22)	0.27	0.19	0.29	0.05	-0.29	0.36	0.59	0.45	-0.40	0.05
	5~10年未満(81)	0.96	0.65	0.63	0.18	0.19	0.34	0.67	0.47	-0.33	0.51
	10~20年未満(189)	0.93	0.72	0.52	0.40	0.27	0.44	0.63	0.42	-0.62	0.35
	20年以上(872)	0.63	0.50	0.32	0.18	0.18	0.33	0.48	0.28	-0.53	0.20

図表 54-1 地域の生活環境【前回比】(平成30年度調査の値と平成26年度調査の値の差)

		保健・衛生							安全						
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊(か)等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動(工場・車等)	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害(火災・地震・台風等)からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性
	全体(1,172)	0.06	0.15	0.08	0.03	0.05	-0.15	-0.05	0.04	0.05	-0.03	-0.04	-0.08	0.03	0.04
性別	男性(507)	0.10	0.16	0.10	0.06	0.05	-0.06	0.02	0.03	0.04	-0.06	-0.02	-0.08	0.06	0.05
	女性(659)	0.04	0.14	0.07	0.02	0.05	-0.23	-0.11	0.06	0.05	0.01	-0.05	-0.07	0.02	0.03
年齢別	16~19歳(32)	0.54	0.39	0.43	0.09	0.24	0.37	0.40	0.28	0.51	-0.05	-0.38	0.06	0.27	0.32
	20~29歳(109)	0.14	0.18	0.05	0.03	0.07	-0.25	0.05	0.05	0.17	-0.09	-0.03	0.07	0.19	0.14
	30~39歳(182)	0.06	0.01	-0.03	-0.01	-0.13	-0.19	-0.09	0.05	0.02	-0.03	-0.08	-0.18	-0.04	-0.01
	40~49歳(233)	0.02	0.25	0.15	0.09	0.09	-0.10	0.07	-0.01	0.05	-0.02	-0.04	-0.04	0.02	0.15
	50~59歳(215)	0.04	-0.01	0.18	0.06	0.09	-0.19	-0.07	0.11	0.04	0.01	-0.08	-0.11	0.00	-0.11
	60~69歳(169)	-0.16	0.13	0.01	-0.02	0.03	-0.25	-0.23	-0.11	-0.08	0.00	0.02	-0.12	-0.02	-0.13
	70歳以上(226)	0.19	0.21	0.01	0.06	0.15	-0.12	-0.19	0.07	0.05	-0.05	0.03	-0.06	0.09	0.10
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.03	0.13	0.00	0.03	0.00	-0.29	-0.21	-0.07	-0.15	-0.14	-0.20	-0.10	0.13	-0.03
	下戸田2地区(214)	0.18	0.11	0.05	0.06	0.27	-0.09	-0.07	0.12	0.08	0.06	-0.05	-0.03	0.06	0.15
	上戸田1地区(125)	0.15	0.38	0.47	0.18	0.21	0.04	0.07	0.08	0.11	-0.01	-0.06	0.01	0.09	0.19
	上戸田2地区(171)	0.06	0.03	-0.04	0.04	0.11	-0.05	0.03	0.03	0.08	-0.01	0.00	-0.07	-0.10	-0.12
	新曽地区(251)	0.04	0.24	0.11	0.02	-0.06	-0.21	0.00	0.06	0.06	0.00	-0.02	-0.11	0.10	0.07
	笹目地区(156)	-0.09	0.02	0.01	0.01	-0.11	-0.26	-0.10	0.06	0.03	-0.09	-0.06	-0.10	-0.09	-0.01
	美女木地区(106)	0.09	0.16	0.05	-0.02	-0.10	-0.20	-0.17	-0.05	0.12	-0.04	0.14	-0.12	0.04	-0.04
居住期間別	5年未満(22)	-0.02	0.19	0.14	-0.12	-0.23	-0.19	-0.23	-0.38	-0.01	-0.34	-0.13	-0.20	-0.03	-0.02
	5~10年未満(81)	0.04	-0.23	0.06	0.11	0.00	-0.11	0.06	0.28	0.10	0.04	-0.01	-0.03	0.10	0.01
	10~20年未満(189)	-0.02	0.22	0.02	0.09	0.14	-0.15	0.07	0.05	0.17	0.03	-0.10	-0.11	0.08	0.15
	20年以上(872)	0.07	0.11	0.03	0.05	0.08	-0.17	-0.15	0.01	0.04	-0.01	-0.03	-0.06	-0.02	-0.02

図表 54-2 地域の生活環境【前回比】(平成30年度調査の値と平成26年度調査の値の差)
(つづき)

		利便					快適				総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	日当たりや風通しの良さ	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
全体(1,172)		0.13	0.06	0.02	0.04	0.03	0.07	0.01	-0.05	-0.05	0.05
性別	男性(507)	0.06	0.06	-0.05	0.03	0.08	0.10	0.03	-0.05	-0.01	0.07
	女性(659)	0.19	0.07	0.08	0.05	-0.01	0.06	-0.01	-0.04	-0.07	0.04
年齢別	16~19歳(32)	0.36	0.25	-0.06	0.01	0.16	0.08	-0.08	-0.02	-0.02	0.07
	20~29歳(109)	0.02	0.09	0.09	-0.05	0.13	-0.01	0.08	-0.05	-0.10	0.0
	30~39歳(182)	0.31	0.02	0.01	-0.02	0.08	-0.07	-0.11	-0.16	-0.23	0.05
	40~49歳(233)	0.18	-0.02	-0.03	0.13	0.08	0.09	-0.04	-0.04	-0.09	0.09
	50~59歳(215)	0.19	0.13	0.07	0.04	-0.06	0.11	0.06	0.05	0.12	0.14
	60~69歳(169)	-	0.04	0.02	-0.05	-0.07	0.09	0.04	-0.06	-0.02	-0.03
	70歳以上(226)	0.07	0.17	0.09	0.10	-0.01	0.25	0.13	0.0	0.04	0.06
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.16	0.01	-0.01	0.07	0.16	-0.01	0.05	0.08	0.08	0.01
	下戸田2地区(214)	0.27	0.20	0.25	0.09	0.21	0.20	-0.03	-0.08	-0.04	0.18
	上戸田1地区(125)	0.19	0.18	-0.08	-0.03	0.14	0.14	-0.08	-0.19	-0.07	0.07
	上戸田2地区(171)	0.41	0.10	0.03	0.20	-0.04	0.0	-0.05	-0.01	0.02	0.07
	新曽地区(251)	0.15	0.06	0.02	-0.03	0.03	0.02	0.09	-0.08	-0.09	0.01
	笹目地区(156)	-0.25	0.05	-0.15	-0.09	-0.16	0.10	0.01	-0.04	-0.15	-0.03
	美女木地区(106)	-0.17	-0.24	-0.01	0.02	-0.22	0.09	0.03	-0.02	-0.05	0.02
居住期間別	5年未満(22)	-0.16	-0.24	-0.12	-0.06	-0.19	0.07	0.02	-0.14	0.01	-0.17
	5~10年未満(81)	0.35	0.03	0.21	-0.03	0.05	0.02	0.05	0.02	0.09	0.22
	10~20年未満(189)	0.28	0.18	0.10	0.17	0.22	0.12	0.04	-0.01	-0.06	0.11
	20年以上(872)	0.10	0.07	0.04	0.02	-0.10	0.09	0.05	0.01	-0.06	0.06

(2) 公共施設の利用状況

問 27 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに○は1つ)

市内の公共施設について、平成 30 年度調査では「東部連絡所」、「上戸田地域交流センター(あいパル)」、「新層福祉センター」、「東部福祉センター」、「西部福祉センター」及び「こどもの国」を加え、計 30 施設について、それぞれの利用状況を尋ねました。

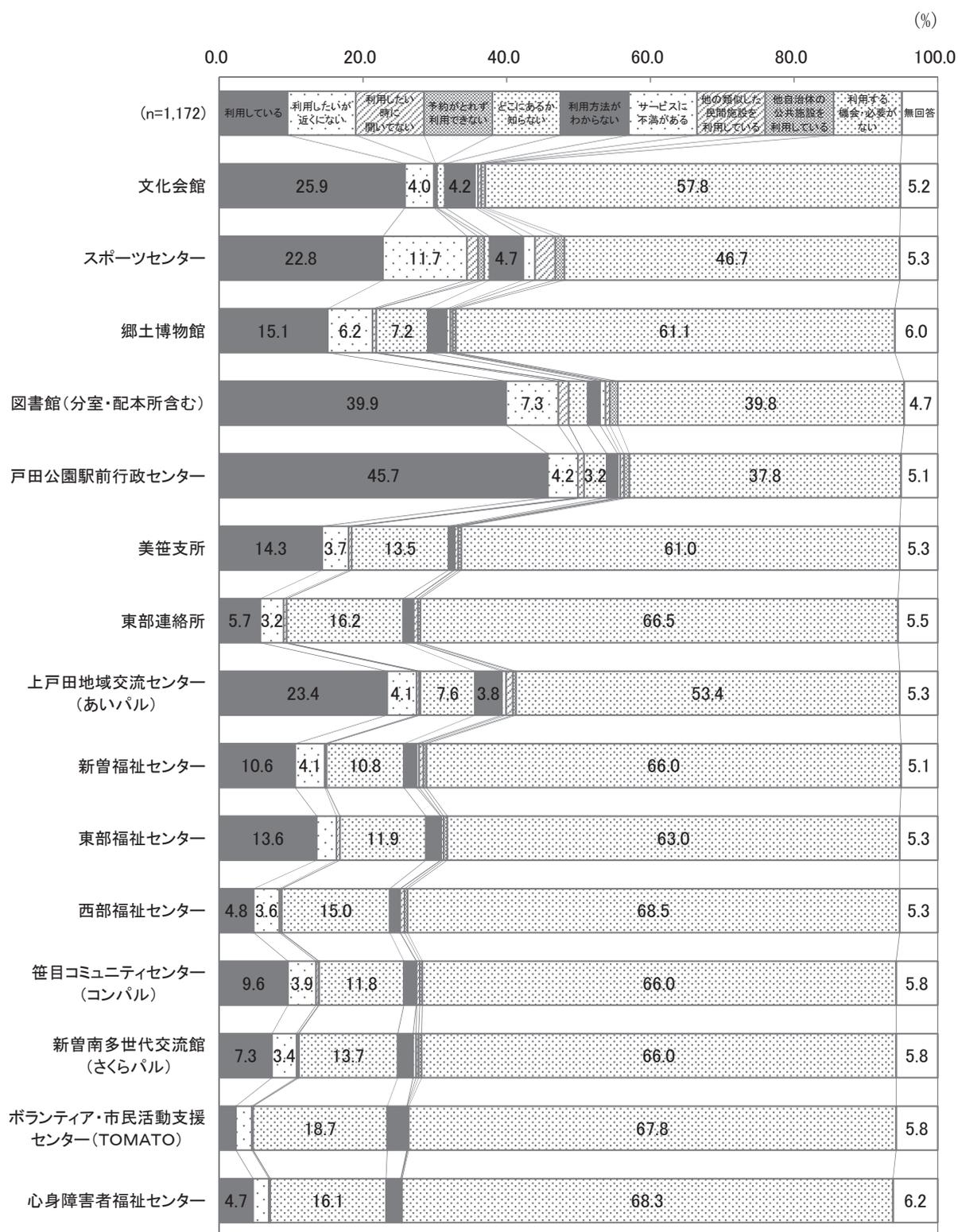
【全体の回答傾向】

- ・「利用している」の割合が高い施設は、順に「戸田公園駅前行政センター」(45.7%)、「図書館(分室・配本所含む)」(39.9%)、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(38.9%)となっています。
- ・一方、「利用している」の割合が低い施設は、順に「戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)」(2.3%)、「教育センター」(2.8%)、「サッカー場」(3.7%)、「テニスコート」(3.7%)となっています。

【平成 26 年度調査との比較】

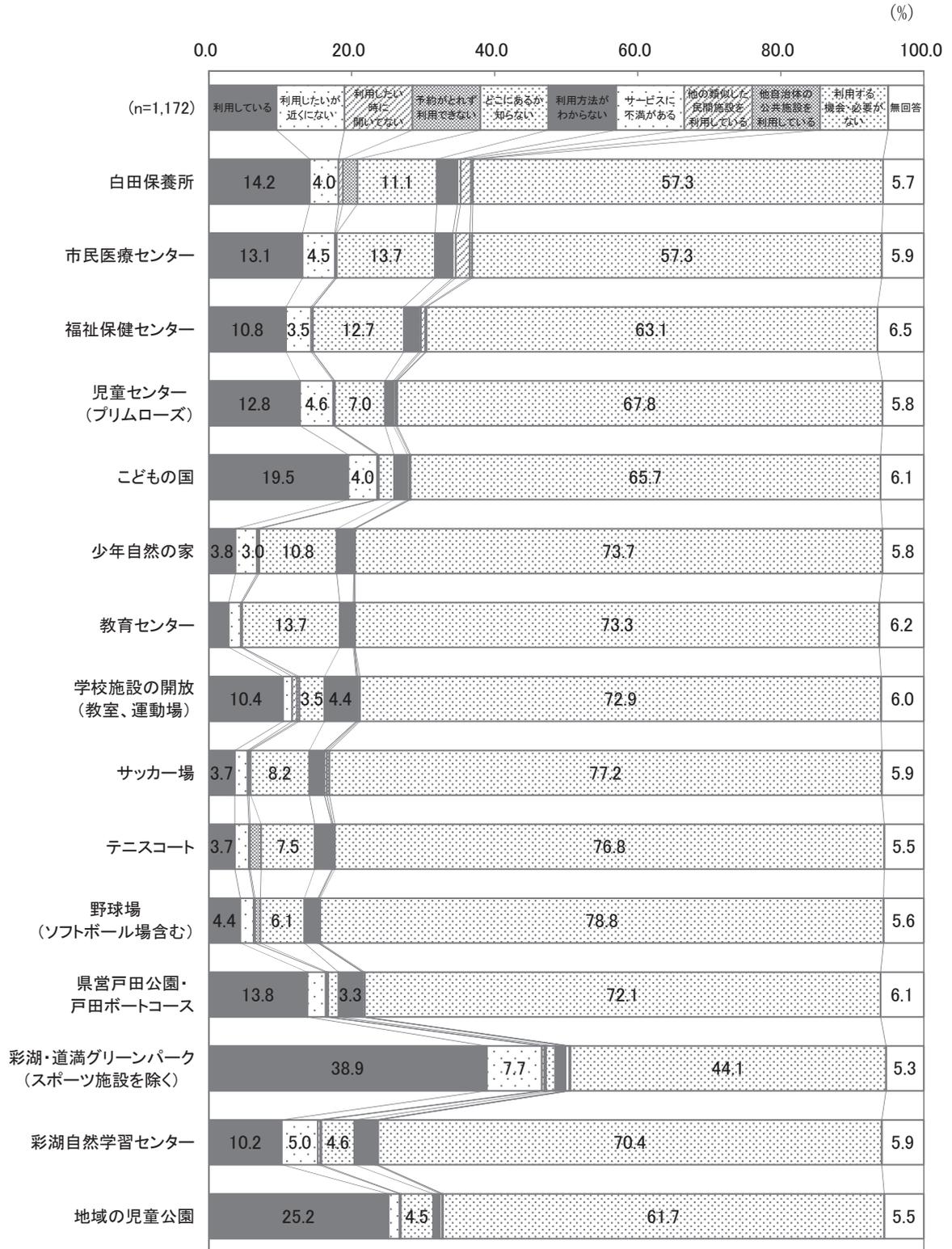
- ・平成 26 年度調査(前回調査)と比較すると、ほとんどの施設は「利用している」に大きな変化はありませんが、「戸田公園駅前行政センター」(前回比+8.5)、「新曽南多世代交流館(さくらパル)」(前回比+5.7)や「美笹支所」(前回比+2.8)では増加しています。
- ・一方、「利用している」が前回より最も減少したのは、「スポーツセンター」(前回比-7.7)で、次いで「文化会館」(前回比-5.6)、「県営戸田公園・戸田ボートコース」(前回比-3.4)、「図書館(分室・配本所含む)」(前回比-3.3)、「郷土博物館」(前回比-3.0)、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(前回比-3.0)となっています。

図表 55-1 公共施設の利用状況(全体)



(注) 3%未満は非表示

図表 55-2 公共施設の利用状況(全体)(つづき)



(注) 3%未満は非表示

図表 56-1 公共施設の利用状況(平成 26 年度調査との比較)

施設名	利用している			利用していない			利用する機会・必要がない			無回答		
	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差
文化会館	25.9	31.5	-5.6	11.2	12.6	-1.4	57.8	52.5	5.3	5.2	3.6	1.6
スポーツセンター	22.8	30.5	-7.7	25.3	24.4	0.9	46.7	41.0	5.7	5.3	4.2	1.1
郷土博物館	15.1	18.1	-3.0	17.8	20.8	-3.0	61.1	55.7	5.4	6.0	5.3	0.7
図書館(分室・配本所含む)	39.9	43.2	-3.3	15.5	19.2	-3.7	39.8	32.4	7.4	4.7	5.1	-0.4
戸田公園駅前行政センター	45.7	37.2	8.5	11.3	14.5	-3.2	37.8	44.0	-6.2	5.1	4.3	0.8
美笹支所	14.3	11.5	2.8	19.4	22.5	-3.1	61.0	61.0	0.0	5.3	5.0	0.3
東部連絡所	5.7	-	-	22.3	-	-	66.5	-	-	5.5	-	-
上戸田地域交流センター (あいパル)	23.4	-	-	17.9	-	-	53.4	-	-	5.3	-	-
新曽福祉センター	10.6	-	-	18.3	-	-	66.0	-	-	5.1	-	-
東部福祉センター	13.6	-	-	18.2	-	-	63.0	-	-	5.3	-	-
西部福祉センター	4.8	-	-	21.4	-	-	68.5	-	-	5.3	-	-
笹目コミュニティセンター (コンパル)	9.6	9.6	0.0	18.7	22.5	-3.8	66.0	63.5	2.5	5.8	4.6	1.2
新曽南多世代交流館 (さくらパル)	7.3	1.6	5.7	20.8	28.1	-7.3	66.0	65.2	0.8	5.8	5.2	0.6
ボランティア・市民活動支援 センター(TOMATO)	2.3	2.1	0.2	24.1	31.1	-7.0	67.8	61.9	5.9	5.8	4.9	0.9
心身障害者福祉センター	4.7	4.7	0.0	20.7	26.8	-6.1	68.3	63.4	4.9	6.2	5.1	1.1
白田保養所	14.2	13.8	0.4	22.8	26.6	-3.8	57.3	55.0	2.3	5.7	4.6	1.1
市民医療センター	13.1	15.6	-2.5	23.7	28.4	-4.7	57.3	51.2	6.1	5.9	4.9	1.0
福祉保健センター	10.8	12.1	-1.3	19.6	25.6	-6.0	63.1	57.2	5.9	6.5	5.2	1.3

(注) 表中の「利用していない」は「利用したいが近くにない」、「利用したい時に開いていない」、「予約がとれず利用できない」、「どこにあるか知らない」、「利用方法がわからない」、「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の合計。「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の選択肢は今回調査より新たに追加された。

図表 56-2 公共施設の利用状況(平成 26 年度調査との比較)(つづき)

施設名	利用している			利用していない			利用する機会・必要がない			無回答		
	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差
児童センター (プリムローズ)	12.8	15.5	-2.7	13.6	19.4	-5.8	67.8	60.2	7.6	5.8	4.9	0.9
こどもの国	19.5	-	-	8.7	-	-	65.7	-	-	6.1	-	-
少年自然の家	3.8	2.2	1.6	16.7	24.4	-7.7	73.7	68.4	5.3	5.8	5.0	0.8
教育センター	2.8	2.2	0.6	17.7	25.7	-8.0	73.3	66.9	6.4	6.2	5.2	1.0
学校施設の開放 (教室、運動場)	10.4	11.3	-0.9	10.8	17.7	-6.9	72.9	65.4	7.5	6.0	5.7	0.3
サッカー場	3.7	2.6	1.1	13.2	17.4	-4.2	77.2	75.1	2.1	5.9	5.0	0.9
テニスコート	3.7	4.4	-0.7	14.0	19.2	-5.2	76.8	71.5	5.3	5.5	5.0	0.5
野球場 (ソフトボール場含む)	4.4	3.1	1.3	11.2	14.9	-3.7	78.8	76.3	2.5	5.6	5.6	0.0
県営戸田公園・ 戸田ボートコース	13.8	17.2	-3.4	8.0	10.2	-2.2	72.1	66.8	5.3	6.1	5.7	0.4
彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	38.9	41.9	-3.0	11.7	14.1	-2.4	44.1	38.7	5.4	5.3	5.3	0.0
彩湖自然学習センター	10.2	10.4	-0.2	13.5	18.4	-4.9	70.4	65.8	4.6	5.9	5.5	0.4
地域の児童公園	25.2	27.2	-2.0	7.6	10.6	-3.0	61.7	57.1	4.6	5.5	5.1	0.4

【属性別の回答傾向】

・性別にみると、男性は女性と比べて「スポーツセンター」及び「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」など屋外・スポーツ施設の利用頻度が高く、一方、女性は「上戸田地域交流センター」、「こどもの国」及び「地域の児童公園」など文化施設や福祉関連施設、子育て関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 57-1 公共施設の利用状況「利用している」の割合（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		文化会館	スポーツセンター	郷土博物館	図書館（分室・配本所含む）	戸田公園駅前行政センター	美笹支所	東部連絡所	上戸田地域交流センター（あいパル）	新曽福祉センター	東部福祉センター	西部福祉センター	笹目コミュニティセンター（コンパル）	新曽南多世代交流館（さくらパル）	ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）	心身障害者福祉センター
	全体 (1,172)	25.9	22.8	15.1	39.9	45.7	14.3	5.7	23.4	10.6	13.6	4.8	9.6	7.3	2.3	4.7
性別	男性 (507)	25.2	26.2	17.4	37.9	42.8	16.6	6.3	20.9	9.1	11.8	5.1	10.5	5.5	1.8	4.3
	女性 (659)	26.6	20.3	13.5	41.9	48.4	12.6	5.3	25.3	11.8	14.9	4.6	9.0	8.8	2.7	5.0
年齢別	16～19 歳 (32)	31.3	65.6	28.1	59.4	31.3	9.4	0.0	31.3	9.4	3.1	6.3	12.5	3.1	0.0	6.3
	20～29 歳 (109)	20.2	27.5	14.7	45.9	45.0	10.1	1.8	11.9	6.4	5.5	0.9	4.6	2.8	2.8	0.9
	30～39 歳 (182)	18.7	22.0	13.2	44.5	48.4	9.9	2.2	36.8	8.8	7.7	2.7	5.5	8.8	2.2	4.4
	40～49 歳 (233)	30.9	28.8	19.3	51.1	57.5	13.3	4.3	29.2	11.6	14.2	3.9	9.4	12.4	0.9	6.9
	50～59 歳 (215)	28.4	24.7	15.3	40.9	58.6	11.6	5.1	21.4	11.6	12.6	4.7	9.3	4.7	2.3	4.2
	60～69 歳 (169)	26.6	21.3	15.4	36.1	40.2	20.7	11.8	18.9	10.1	20.7	7.1	14.8	7.7	3.6	5.3
	70 歳以上 (226)	26.1	8.8	10.6	21.7	26.1	19.5	8.8	15.9	12.8	18.6	7.5	11.5	6.2	3.1	4.4
居住地区別	下戸田 1 地区 (144)	22.9	14.6	11.8	34.0	29.9	0.7	14.6	27.1	5.6	29.2	1.4	4.2	3.5	2.1	4.9
	下戸田 2 地区 (214)	22.4	18.7	7.0	36.9	59.8	0.5	15.0	28.5	4.7	34.6	0.0	2.8	2.8	3.3	10.7
	上戸田 1 地区 (125)	41.6	29.6	20.8	49.6	40.8	0.0	0.8	45.6	8.8	4.8	0.0	0.8	4.8	2.4	0.0
	上戸田 2 地区 (171)	19.3	17.5	10.5	36.8	79.5	2.3	2.3	32.2	7.0	6.4	1.2	2.9	14.0	1.8	7.0
	新曽地区 (251)	29.1	32.3	25.1	51.0	44.6	4.8	2.4	15.9	23.5	6.4	2.8	8.4	12.7	2.0	4.4
	笹目地区 (156)	26.3	24.4	19.2	41.7	32.1	51.9	0.6	10.3	10.3	3.2	16.0	35.3	6.4	1.3	1.3
	美女木地区 (106)	20.8	18.9	6.6	19.8	15.1	65.1	1.9	4.7	7.5	3.8	18.9	17.0	2.8	3.8	0.0

- ・年齢別にみると、30歳代～70歳以上での利用頻度1位は「戸田公園駅前行政センター」
となっています。

図表 57-2 公共施設の利用状況(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		白田保養所	市民医療センター	福祉保健センター	児童センター(プリムローズ)	こどもの国	少年自然の家	教育センター	学校施設の開放(教室、運動場)	サッカー場	テニスコート	野球場(ソフトボール場含む)	県営戸田公園・戸田ボートコース	彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)	彩湖自然学習センター	地域の児童公園
全体(1,172)		14.2	13.1	10.8	12.8	19.5	3.8	2.8	10.4	3.7	3.7	4.4	13.8	38.9	10.2	25.2
性別	男性(507)	12.8	13.6	8.9	13.0	18.1	3.7	3.0	11.0	4.5	2.8	8.3	17.8	43.6	11.4	22.3
	女性(659)	15.3	12.9	12.4	12.7	20.8	3.8	2.7	10.0	3.0	4.4	1.5	10.9	35.5	9.4	27.6
年齢別	16～19歳(32)	6.3	6.3	3.1	18.8	25.0	12.5	6.3	18.8	12.5	9.4	6.3	18.8	53.1	21.9	31.3
	20～29歳(109)	5.5	11.0	9.2	11.0	14.7	1.8	0.0	7.3	3.7	4.6	3.7	8.3	33.0	8.3	13.8
	30～39歳(182)	6.0	11.5	20.3	24.7	43.4	3.3	2.2	14.8	6.6	1.1	3.8	15.9	48.4	8.8	39.0
	40～49歳(233)	11.2	17.6	10.3	18.0	28.3	8.2	3.9	19.7	6.4	5.6	4.7	17.6	57.1	16.7	41.2
	50～59歳(215)	14.0	9.3	9.8	11.2	11.2	2.8	4.7	7.9	1.9	6.0	6.5	17.2	36.3	8.4	17.2
	60～69歳(169)	20.7	17.8	7.7	8.9	14.8	2.4	2.4	5.3	1.8	3.6	3.0	14.8	35.5	11.2	26.6
	70歳以上(226)	24.8	11.9	9.3	2.7	4.9	1.3	1.8	4.0	0.4	0.4	4.0	6.2	18.6	4.9	8.8
居住地区別	下戸田1地区(144)	12.5	3.5	5.6	8.3	16.7	2.1	4.2	9.7	0.7	1.4	3.5	6.9	22.9	4.9	19.4
	下戸田2地区(214)	12.6	4.2	10.3	4.2	28.5	2.8	1.4	7.5	4.7	4.2	2.8	21.0	36.4	7.0	23.8
	上戸田1地区(125)	15.2	4.8	15.2	10.4	23.2	2.4	3.2	12.8	2.4	2.4	6.4	10.4	36.0	8.0	25.6
	上戸田2地区(171)	15.2	5.8	9.4	10.5	26.3	4.1	2.9	5.8	2.9	3.5	3.5	25.1	33.3	8.8	25.7
	新曽地区(251)	15.5	10.4	10.4	17.1	17.5	4.8	3.6	13.9	4.8	5.2	2.8	11.2	39.0	11.2	23.1
	笹目地区(156)	16.0	34.0	12.2	23.7	7.7	5.1	2.6	7.7	3.8	2.6	5.8	8.3	50.6	15.4	29.5
	美女木地区(106)	11.3	42.5	16.0	17.0	13.2	4.7	1.9	17.9	5.7	5.7	10.4	9.4	61.3	19.8	33.0

(3) 駅周辺のにぎわいや魅力

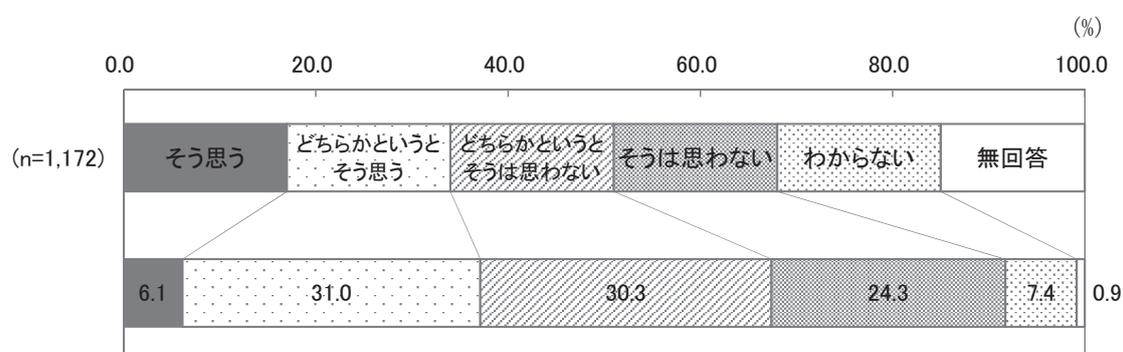
問 28 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思いますか。

(○は1つ)

【全体の回答傾向】

・市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思うかについては、「そう思う」(6.1%)、「どちらかというと思う」(31.0%)を合わせると37.1%となっています。「どちらかというと思う」(30.3%)と「そうは思わない」(24.3%)を合わせると54.6%となり、否定的な意見が半数を超えています。

図表 58 駅周辺のにぎわいや魅力があると思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そうは思わない」では男性(28.8%)が女性(20.8%)より多くなっています。
- ・年齢別にみると「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は、16～19歳が75.0%と突出して高くなっています。
- ・地区別にみると肯定的な意見が最も高いのは新曽地区の43.0%で、最も低いのは美女木地区の32.1%でした。

図表 59 駅周辺ににぎわいや魅力があると思うか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体(1,172)	6.1	31.0	30.3	24.3	7.4	0.9
性別	男性(507)	6.1	29.8	27.4	28.8	7.5	0.4
	女性(659)	6.2	32.2	32.8	20.8	7.1	0.9
年齢別	16～19歳(32)	12.5	62.5	15.6	6.3	3.1	0.0
	20～29歳(109)	11.0	41.3	25.7	16.5	5.5	0.0
	30～39歳(182)	9.9	37.4	23.1	24.7	4.9	0.0
	40～49歳(233)	4.3	30.9	33.9	26.2	4.7	0.0
	50～59歳(215)	1.4	25.1	38.6	28.8	6.0	0.0
	60～69歳(169)	3.0	27.8	32.5	28.4	7.1	1.2
	70歳以上(226)	8.8	24.8	27.9	20.4	15.0	3.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	5.6	28.5	31.3	23.6	10.4	0.7
	下戸田2地区(214)	5.6	27.1	28.0	29.4	8.9	0.9
	上戸田1地区(125)	8.0	32.0	32.0	20.0	7.2	0.8
	上戸田2地区(171)	8.2	32.2	31.0	24.6	4.1	0.0
	新曽地区(251)	6.8	36.3	29.9	21.5	4.8	0.8
	笹目地区(156)	3.8	30.8	31.4	25.0	7.1	1.9
	美女木地区(106)	4.7	27.4	27.4	26.4	13.2	0.9

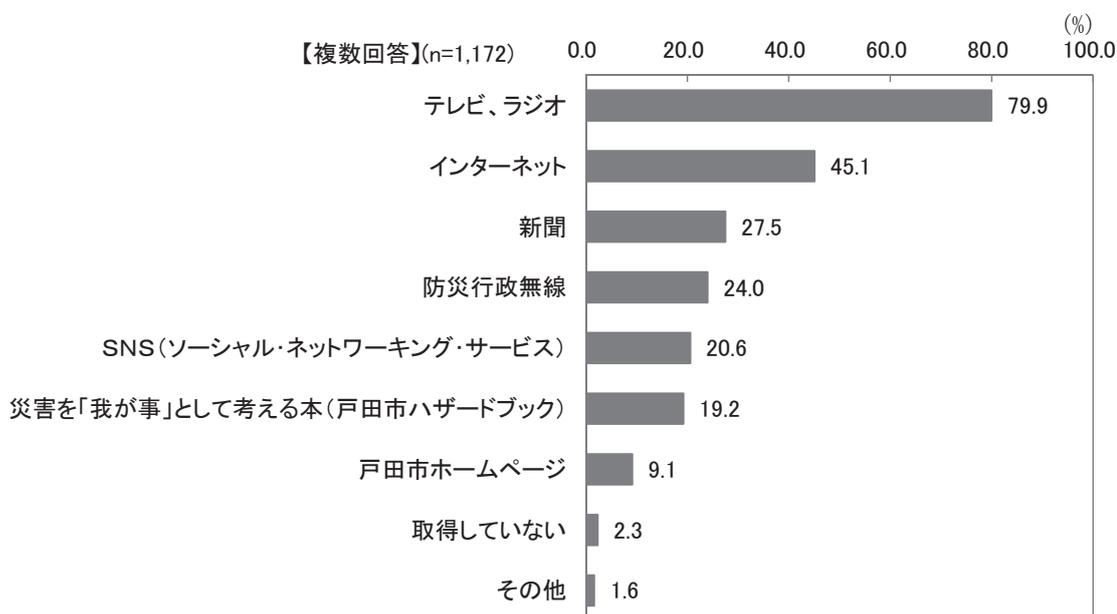
(4) 防災に関する情報の取得方法

問 29 あなたは、普段（平常時）はどのような手段で防災に関する情報を取得していますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【全体の回答傾向】

・防災に関する情報の取得方法については、「テレビ、ラジオ」が 79.9%と突出して多く、次いで「インターネット」（45.1%）、「新聞」（27.5%）となっています。

図表 60 防災に関する情報の取得方法(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性では「インターネット」が高い一方、女性では「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」や「災害を「我が事」として考える本（戸田市ハザードブック）」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「新聞」や「災害を「我が事」として考える本（戸田市ハザードブック）」では年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、反対に「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」では年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、新曽地区では「戸田市ホームページ」や「インターネット」が他地区と比べて高く、美女木地区では「テレビ・ラジオ」が高くなっています。

図表 61 防災に関する情報の取得方法(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		テレビ、ラジオ	新聞	戸田市ホームページ	インターネット	SNS(ソーシャル・ネットワーク ワーキング・サービス)	防災行政無線	災害を「我が事」として考える 本(戸田市ハザードブック)	取得していない	その他
	全体(1,172)	79.9	27.5	9.1	45.1	20.6	24.0	19.2	2.3	1.6
性別	男性(507)	80.7	27.6	7.7	50.1	17.9	22.5	14.4	2.0	1.8
	女性(659)	79.5	27.5	10.3	41.6	22.8	25.2	23.1	2.6	1.5
年齢別	16~19歳(32)	81.3	6.3	0.0	50.0	46.9	21.9	9.4	3.1	0.0
	20~29歳(109)	68.8	11.0	5.5	59.6	56.9	18.3	8.3	5.5	2.8
	30~39歳(182)	72.0	9.9	8.8	66.5	30.2	20.9	16.5	2.7	2.2
	40~49歳(233)	76.4	20.2	12.0	63.9	24.5	24.0	21.5	3.9	2.1
	50~59歳(215)	77.7	24.7	9.3	53.5	15.8	23.7	14.9	1.9	2.3
	60~69歳(169)	89.9	44.4	8.3	27.8	7.7	27.8	25.4	0.6	0.6
	70歳以上(226)	90.3	50.4	9.7	6.2	1.8	26.5	25.2	0.4	0.4
居住地区別	下戸田1地区(144)	80.6	25.7	8.3	45.8	16.7	22.2	18.8	3.5	2.1
	下戸田2地区(214)	80.8	27.1	7.0	45.3	19.6	21.0	21.0	2.3	1.4
	上戸田1地区(125)	80.0	30.4	8.8	43.2	24.0	19.2	12.8	2.4	3.2
	上戸田2地区(171)	78.9	32.2	8.2	44.4	19.9	28.7	18.1	1.8	1.8
	新曽地区(251)	74.9	25.9	12.0	51.0	22.7	21.1	19.1	2.4	2.0
	笹目地区(156)	82.7	29.5	9.6	39.7	22.4	28.2	21.8	1.9	0.0
	美女木地区(106)	86.8	21.7	9.4	40.6	16.0	31.1	22.6	1.9	0.9

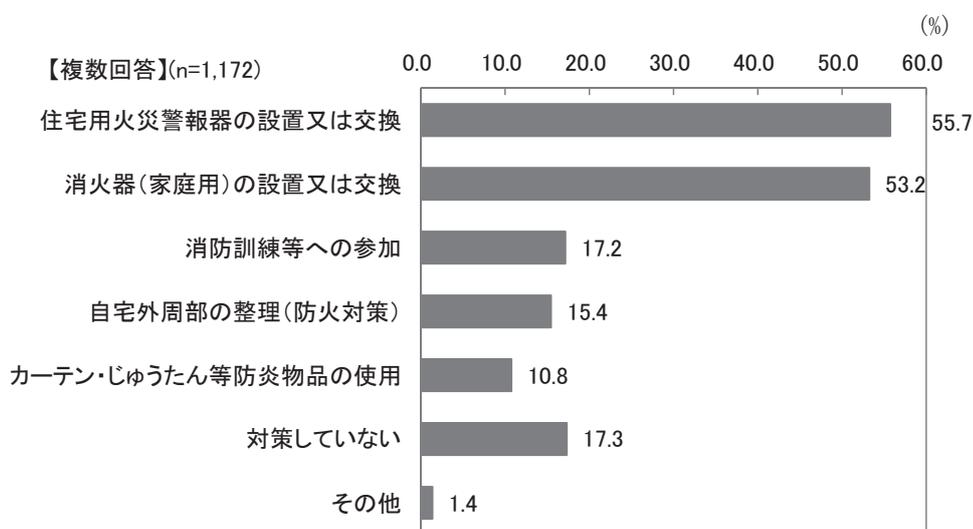
(5) 家庭での消防対策

問 30 あなたは、家庭でどのような消防対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・家庭での消防対策については、「住宅用火災警報器の設置又は交換」(55.7%)と「消火器(家庭用)の設置又は交換」(53.2%)が突出して高くなっています。一方、「対策していない」は17.3%となっています。

図表 62 家庭での消防対策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性では「カーテン・じゅうたん等防災物品の使用」、女性では「自宅外周部の整理(防火対策)」が全体と比べて高くなっています。
- ・年齢別にみると、「自宅外周部の整理(防火対策)」では年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、反対に「対策していない」では年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、下戸田2地区では「消火器(家庭用)の設置又は交換」が他地区と比べて高く、美女木地区では「消防訓練等への参加」が高くなっています。

図表 63 家庭での消防対策(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		消火器(家庭用)の設置 又は交換	住宅用火災警報器の設 置又は交換	消防訓練等への参加	自宅外周部の整理(防 火対策)	カーテン・じゅうたん 等防災物品の使用	対策していない	その他
全体(1,172)		53.2	55.7	17.2	15.4	10.8	17.3	1.4
性別	男性(507)	55.0	56.6	17.8	12.4	14.0	16.8	2.4
	女性(659)	51.9	55.1	16.8	17.8	8.3	17.8	0.6
年齢別	16~19歳(32)	43.8	50.0	12.5	6.3	3.1	21.9	0.0
	20~29歳(109)	46.8	47.7	7.3	8.3	7.3	34.9	0.0
	30~39歳(182)	46.2	56.6	11.5	8.2	10.4	25.3	0.5
	40~49歳(233)	51.5	62.7	17.6	12.0	14.6	15.5	1.7
	50~59歳(215)	58.1	55.8	14.4	17.2	13.5	14.0	1.4
	60~69歳(169)	54.4	55.0	20.7	23.1	10.7	13.6	1.8
	70歳以上(226)	58.8	52.7	26.5	21.7	7.5	9.7	2.2
居住地区別	下戸田1地区(144)	47.2	50.7	16.7	16.0	10.4	19.4	2.1
	下戸田2地区(214)	65.0	60.7	16.8	13.1	12.6	12.6	1.9
	上戸田1地区(125)	47.2	54.4	16.8	17.6	14.4	20.8	0.8
	上戸田2地区(171)	61.4	56.1	19.3	14.0	9.4	15.8	0.6
	新曽地区(251)	49.0	55.4	14.7	13.5	10.8	20.3	1.2
	笹目地区(156)	50.6	51.9	15.4	20.5	9.0	18.6	1.3
	美女木地区(106)	47.2	59.4	23.6	17.0	7.5	12.3	1.9

7. 地域コミュニティについて

(1) 団体等の活動への参加

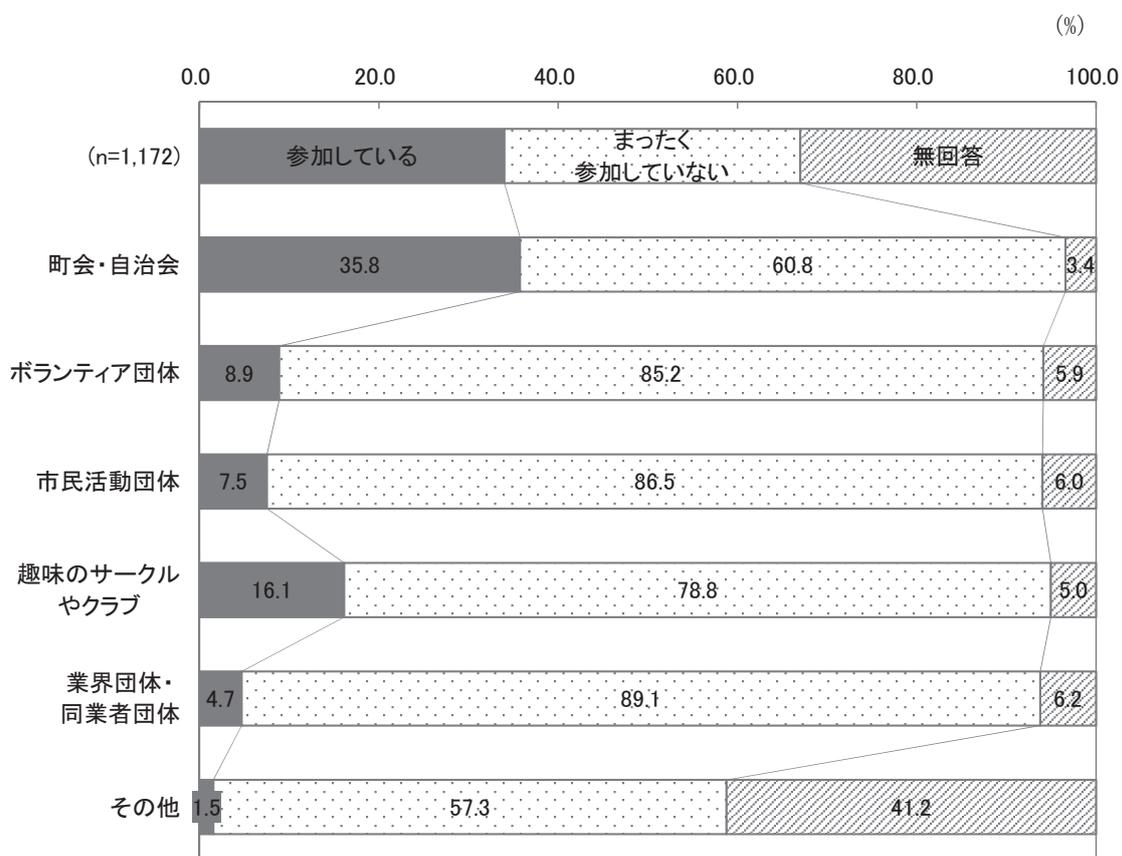
問 31 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

(活動内容ごとに○は1つずつ)

【全体の回答傾向】

- ・地域の団体等の活動への参加状況について、参加している割合をみると、「町会・自治会」が 35.8%と最も高く、次いで「趣味のサークルやクラブ」が 16.1%となっています。

図表 64 団体等の活動への参加頻度(全体)



(注) 参加している = 「まったく参加していない」及び「無回答」以外の合計

【属性別の回答傾向】

①町会・自治会への参加

- ・性別にみると、男性では「まったく参加していない」が、女性では「年に数回」が全体と比べて高くなっています。
- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、「まったく参加していない」が新曽地区の68.9%で最も高く、美女木地区の42.5%で最も低くなっています。

図表 65 団体等の活動への参加頻度【町会・自治会】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,172)	0.2	2.0	5.8	16.4	11.3	60.8	3.4
性別	男性(507)	0.2	1.6	7.7	13.2	11.0	63.1	3.2
	女性(659)	0.2	2.4	4.1	18.8	11.5	59.6	3.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	12.5	3.1	84.4	0.0
	20〜29歳(109)	0.0	0.0	0.9	2.8	7.3	89.0	0.0
	30〜39歳(182)	0.0	0.5	3.3	11.0	7.1	77.5	0.5
	40〜49歳(233)	0.0	0.0	4.7	17.2	12.9	64.4	0.9
	50〜59歳(215)	0.0	1.4	4.7	14.4	13.5	65.1	0.9
	60〜69歳(169)	0.0	2.4	9.5	23.7	19.5	42.6	2.4
	70歳以上(226)	0.9	7.1	9.7	23.9	7.5	37.6	13.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.7	2.8	6.3	20.1	9.0	57.6	3.5
	下戸田2地区(214)	0.5	0.9	4.7	11.2	11.7	67.3	3.7
	上戸田1地区(125)	0.0	2.4	4.8	17.6	11.2	63.2	0.8
	上戸田2地区(171)	0.0	1.2	4.1	15.8	9.9	64.9	4.1
	新曽地区(251)	0.0	1.6	4.8	11.6	10.0	68.9	3.2
	笹目地区(156)	0.0	1.9	9.0	23.7	14.1	48.1	3.2
	美女木地区(106)	0.0	5.7	9.4	21.7	16.0	42.5	4.7

【属性別の回答傾向】

②ボランティア団体

- ・年齢別にみると、40歳代以下では「まったく参加していない」が9割を超えています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区で「まったく参加していない」(90.7%)が最も高くなっています。また、美女木地区は、参加頻度が他の地区に比べ高く、「月に1回程度」(5.7%)や「年に数回」(8.5%)が高くなっています。

図表 66 団体等の活動への参加頻度【ボランティア団体】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体 (1,172)		0.3	1.1	2.3	3.4	1.8	85.2	5.9
性別	男性 (507)	0.6	0.8	1.6	4.3	2.6	84.0	6.1
	女性 (659)	0.0	1.4	2.9	2.7	1.2	86.8	5.0
年齢別	16〜19歳 (32)	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	93.8	0.0
	20〜29歳 (109)	0.9	0.9	0.0	2.8	0.9	94.5	0.0
	30〜39歳 (182)	0.0	1.1	0.0	0.5	1.6	96.2	0.5
	40〜49歳 (233)	0.0	0.4	1.7	3.0	1.3	93.1	0.4
	50〜59歳 (215)	0.5	1.9	3.3	2.8	2.8	86.5	2.3
	60〜69歳 (169)	0.6	1.2	2.4	7.1	1.8	84.0	3.0
	70歳以上 (226)	0.0	1.3	5.3	4.0	2.2	63.3	23.9
居住地区別	下戸田1地区 (144)	0.0	1.4	2.8	3.5	2.8	81.3	8.3
	下戸田2地区 (214)	0.5	0.9	0.9	1.4	0.5	90.7	5.1
	上戸田1地区 (125)	0.0	0.0	2.4	3.2	1.6	90.4	2.4
	上戸田2地区 (171)	0.6	0.6	2.9	1.8	1.8	86.0	6.4
	新曽地区 (251)	0.0	2.0	0.4	3.6	1.2	87.3	5.6
	笹目地区 (156)	0.0	1.3	3.8	3.8	2.6	81.4	7.1
	美女木地区 (106)	0.9	0.9	5.7	8.5	3.8	74.5	5.7

【属性別の回答傾向】

③市民活動団体

- ・年齢別にみると、ボランティア団体と同様に、40歳代以下では「まったく参加していない」が9割を超えています。
- ・居住地区別でもボランティア団体と同様の傾向があり、下戸田2地区で「まったく参加していない」(89.3%)が最も高くなっています。また、美女木地区は、参加頻度が他の地区に比べ高く、「月に1回程度」(3.8%)や「年に数回」(4.7%)に加え「週に2～3回」(1.9%)が高くなっています。

図表 67 団体等の活動への参加頻度【市民活動団体】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,172)	0.1	0.5	1.6	2.6	2.6	86.5	6.0
性別	男性(507)	0.2	0.4	1.8	3.0	3.0	85.4	6.3
	女性(659)	0.0	0.6	1.4	2.4	2.4	88.2	5.0
年齢別	16～19歳(32)	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	93.8	0.0
	20～29歳(109)	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	98.2	0.0
	30～39歳(182)	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	97.3	0.5
	40～49歳(233)	0.0	0.0	0.9	0.9	1.7	95.7	0.9
	50～59歳(215)	0.0	1.4	1.4	2.8	3.3	89.8	1.4
	60～69歳(169)	0.6	1.8	3.0	4.7	2.4	84.6	3.0
	70歳以上(226)	0.0	0.0	3.5	4.4	5.8	61.5	24.8
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.0	0.0	2.8	2.1	3.5	84.7	6.9
	下戸田2地区(214)	0.0	0.5	0.9	0.9	3.3	89.3	5.1
	上戸田1地区(125)	0.0	0.0	2.4	2.4	1.6	88.8	4.8
	上戸田2地区(171)	0.0	0.6	0.6	4.1	0.0	88.9	5.8
	新曽地区(251)	0.0	0.4	1.2	3.2	2.0	87.6	5.6
	笹目地区(156)	0.0	0.6	1.3	1.9	5.1	84.0	7.1
	美女木地区(106)	0.9	1.9	3.8	4.7	3.8	78.3	6.6

【属性別の回答傾向】

④趣味のサークルやクラブ

- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。また、「週に2～3回」は70歳以上（11.9%）や16～19歳（9.4%）で高くなっています。
- ・地区別にみると、他の活動と同様に下戸田2地区で「まったく参加していない」が83.2%と最も高くなっています。

図表 68 団体等の活動への参加頻度【趣味のサークルやクラブ】

（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,172)	0.6	6.5	5.9	2.1	1.0	78.8	5.0
性別	男性(507)	0.6	4.9	5.3	2.2	1.2	80.9	4.9
	女性(659)	0.6	7.6	6.4	2.1	0.9	77.8	4.6
年齢別	16～19歳(32)	3.1	9.4	0.0	3.1	0.0	84.4	0.0
	20～29歳(109)	0.0	1.8	3.7	2.8	0.0	91.7	0.0
	30～39歳(182)	0.5	3.3	3.8	2.2	0.0	89.6	0.5
	40～49歳(233)	0.0	3.0	6.0	1.3	1.7	87.6	0.4
	50～59歳(215)	0.5	7.4	7.0	1.9	0.0	82.3	0.9
	60～69歳(169)	1.2	8.3	9.5	1.8	1.8	75.1	2.4
	70歳以上(226)	0.9	11.9	5.8	3.1	2.2	54.4	21.7
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.7	7.6	6.3	2.1	0.7	76.4	6.3
	下戸田2地区(214)	0.0	4.2	4.7	2.3	0.5	83.2	5.1
	上戸田1地区(125)	0.8	8.0	6.4	2.4	1.6	77.6	3.2
	上戸田2地区(171)	0.0	7.0	6.4	0.6	1.2	78.9	5.8
	新曽地区(251)	1.2	6.0	5.2	3.2	1.2	80.1	3.2
	笹目地区(156)	0.6	8.3	7.1	1.3	0.6	75.6	6.4
	美女木地区(106)	0.9	4.7	6.6	2.8	1.9	77.4	5.7

【属性別の回答傾向】

⑤ 業界団体・同業者団体

- ・性別にみると、「まったく参加していない」は男性（85.6%）が女性（92.6%）より低くなっています。
- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は60歳代と70歳以上で他の年代に比べ低くなっています。

図表 69 団体等の活動への参加頻度【業界団体・同業者団体】

（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体 (1,172)		0.3	0.1	1.5	2.0	0.9	89.1	6.2
性別	男性 (507)	0.4	0.2	2.4	3.7	1.2	85.6	6.5
	女性 (659)	0.2	0.0	0.6	0.6	0.8	92.6	5.3
年齢別	16〜19歳 (32)	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	96.9	0.0
	20〜29歳 (109)	0.9	0.0	0.0	0.9	0.9	97.2	0.0
	30〜39歳 (182)	0.5	0.0	0.0	1.1	0.0	97.8	0.5
	40〜49歳 (233)	0.0	0.0	1.7	2.1	0.4	95.3	0.4
	50〜59歳 (215)	0.0	0.0	1.4	2.3	0.9	94.0	1.4
	60〜69歳 (169)	0.6	0.0	3.0	3.0	1.2	88.8	3.6
	70歳以上 (226)	0.0	0.4	1.8	1.8	2.2	67.7	26.1
居住地区別	下戸田1地区 (144)	0.0	0.0	1.4	2.8	1.4	88.2	6.3
	下戸田2地区 (214)	0.0	0.0	0.9	1.9	0.5	91.1	5.6
	上戸田1地区 (125)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0	92.8	4.0
	上戸田2地区 (171)	0.0	0.0	1.8	2.3	0.6	88.9	6.4
	新曽地区 (251)	0.4	0.0	1.2	1.2	0.8	90.4	6.0
	笹目地区 (156)	0.0	0.0	2.6	2.6	0.6	85.9	8.3
	美女木地区 (106)	0.9	0.0	1.9	2.8	3.8	84.0	6.6

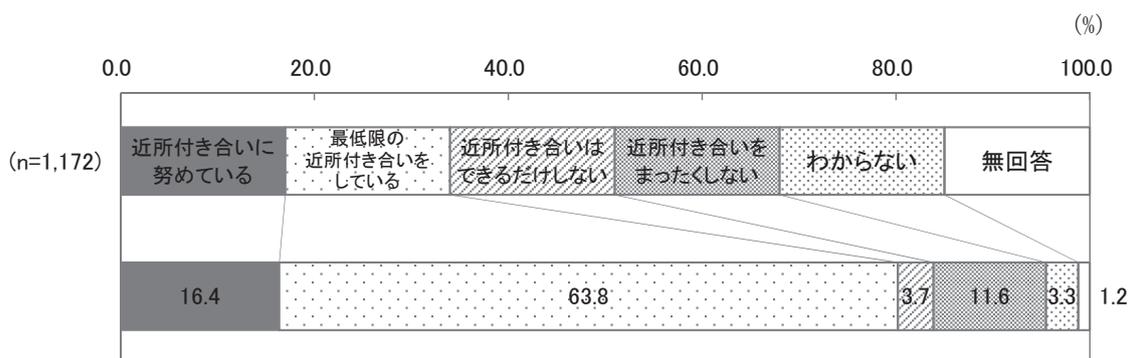
(2) 近所付き合いの程度

問 32 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「最低限の近所付き合いをしている」が63.8%と最も高く、次いで「近所付き合いに努めている」(16.4%)となっています。「近所付き合いをまったくしない」は11.6%となっています。

図表 70 近所付き合いの程度(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男性に比べて女性は「近所付き合いに努めている」及び「最低限の近所付き合いをしている」が多く、反対に女性に比べて男性は「近所付き合いをまったくしない」が多くなっています。
- 年齢別にみると、30歳代と40歳代で「近所付き合いに努めている」が他の年代に比べて低くなっています。
- 居住地区別にみると、美女木地区で「近所付き合いに努めている」(24.5%)が最も高くなっています。一方、上戸田2地区で「近所付き合いをまったくしない」(15.2%)が最も高くなっています。

図表 71 近所付き合いの程度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		近所付き合いに努めている	最低限の近所付き合いをしている	近所付き合いはできるだけだけしない	近所付き合いをまったくしない	わからない	無回答
	全体(1,172)	16.4	63.8	3.7	11.6	3.3	1.2
性別	男性(507)	15.2	61.9	3.9	12.8	5.5	0.6
	女性(659)	17.3	65.6	3.3	10.8	1.7	1.4
年齢別	16～19歳(32)	12.5	71.9	3.1	3.1	9.4	0.0
	20～29歳(109)	15.6	52.3	4.6	22.0	5.5	0.0
	30～39歳(182)	9.9	59.9	6.6	20.3	2.7	0.5
	40～49歳(233)	9.4	70.4	2.1	14.2	3.4	0.4
	50～59歳(215)	11.6	69.8	3.7	10.7	3.7	0.5
	60～69歳(169)	17.2	68.0	3.6	6.5	3.6	1.2
	70歳以上(226)	33.6	56.2	1.8	3.1	1.3	4.0
居住地区別	下戸田1地区(144)	18.1	69.4	1.4	6.3	4.2	0.7
	下戸田2地区(214)	12.1	65.9	4.2	13.1	3.7	0.9
	上戸田1地区(125)	13.6	68.8	2.4	10.4	4.8	0.0
	上戸田2地区(171)	15.2	62.6	3.5	15.2	2.3	1.2
	新曽地区(251)	16.7	61.4	3.6	11.6	3.2	3.6
	笹目地区(156)	18.6	64.7	3.8	10.9	1.9	0.0
	美女木地区(106)	24.5	52.8	7.5	12.3	2.8	0.0

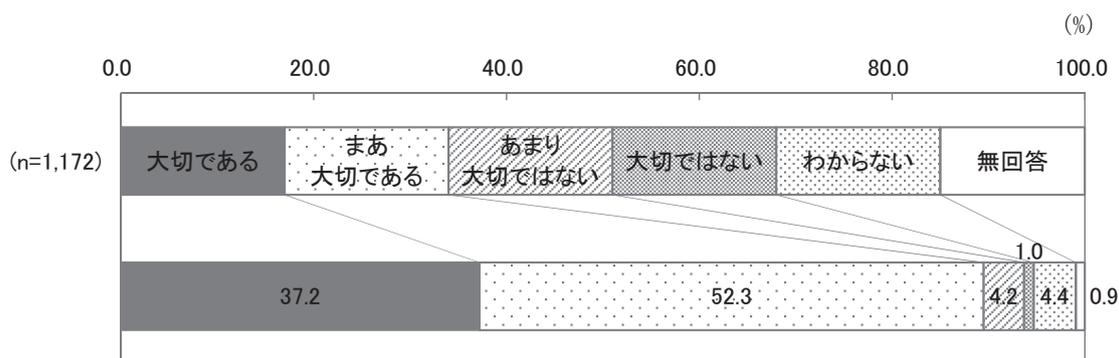
(3) 近所付き合いは大切か

問 33 あなたは、近所付き合いは大切だと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの大切さについては、「大切である」(37.2%)と「まあ大切である」(52.3%)を合わせ、9割近くが大切だと思っています。

図表 72 近所付き合いは大切か(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、すべての年代において、大切である割合（「大切である」と「まあ大切である」の合計）が約8割を超えています。特に70歳以上は「大切である」が56.6%と他の年代と比べて突出して高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区や新曽地区、笹目地区で90%を超える人が大切である（「大切である」と「まあ大切である」の割合の合計）と感じています。

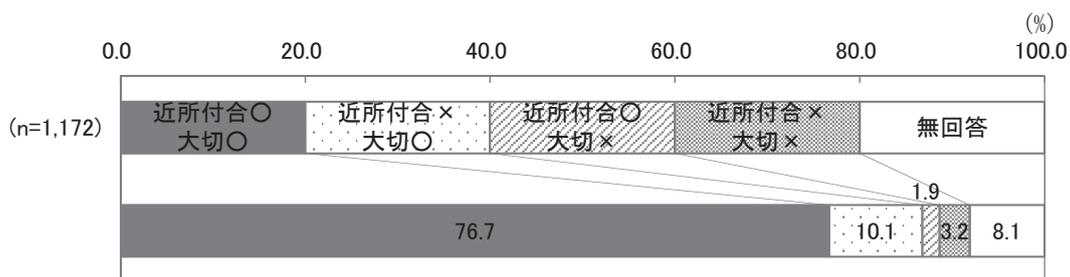
図表 73 近所付き合いは大切か(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		大切である	まあ大切である	あまり大切ではない	大切ではない	わからない	無回答
全体(1,172)		37.2	52.3	4.2	1.0	4.4	0.9
性別	男性(507)	35.9	53.1	4.7	1.4	4.1	0.8
	女性(659)	38.1	52.0	3.8	0.8	4.6	0.8
年齢別	16～19歳(32)	43.8	46.9	3.1	0.0	6.3	0.0
	20～29歳(109)	33.0	45.9	8.3	2.8	10.1	0.0
	30～39歳(182)	28.0	58.8	4.9	2.2	6.0	0.0
	40～49歳(233)	31.8	62.2	2.1	0.9	3.0	0.0
	50～59歳(215)	33.0	57.2	4.2	0.9	4.7	0.0
	60～69歳(169)	34.9	52.1	5.9	0.0	5.3	1.8
	70歳以上(226)	56.6	36.3	2.7	0.4	0.4	3.5
居住地区別	下戸田1地区(144)	33.3	56.3	4.9	0.0	3.5	2.1
	下戸田2地区(214)	35.5	54.7	3.7	1.4	3.7	0.9
	上戸田1地区(125)	34.4	53.6	6.4	0.0	4.8	0.8
	上戸田2地区(171)	36.3	51.5	5.3	1.8	4.7	0.6
	新曽地区(251)	41.8	48.2	2.8	1.6	4.4	1.2
	笹目地区(156)	33.3	57.7	3.8	0.0	4.5	0.6
	美女木地区(106)	47.2	42.5	3.8	1.9	4.7	0.0

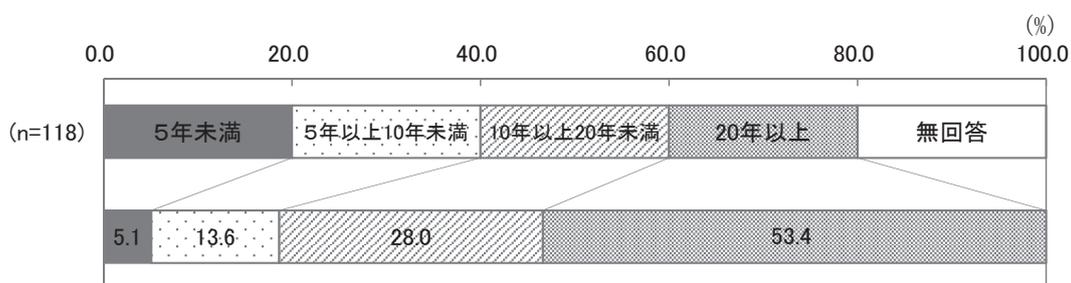
【近所付き合いに関する行動と意識について】

- ・近所付き合いについて、問 32 で行動を、問 33 では意識について回答を得ました。各標本の回答を、行動と意識の回答によって 4 つに分けて分析しました。行動については、「近所付き合いに努めている」及び「最低限の近所付き合いをしている」と回答した場合は○（行動している）、「近所付き合いはできるだけしない」及び「近所付き合いをまったくしない」の場合は×（行動していない）としました。また、意識については、「大切である」及び「まあ大切である」と回答した場合は○（大切だと思っている）、「あまり大切ではない」及び「大切ではない」の場合は×（大切だと思っていない）としました。行動と意識の○、×の組み合わせにより、4 つの区分に分けて集計しました。
- ・近所付き合いに関する行動と意識に関する全体（n=1,172）では、「近所付合○大切○」が 76.7%とほとんどを占めており、次いで、「近所付合×大切○」が 10.1%でした。
- ・「近所付合×大切○」の層（n=118）に着目すると、居住期間では、「20 年以上」が 53.4%と最も高い割合で、次いで「10 年以上 20 年未満」が 28.0%でした。
- ・また、子どもの人数で見ると、子どもがいない(0 人)の割合が 47.5%であり、全体(26.3%。図表 12) より高くなっています。
- ・さらにもう一つの特徴として、住宅の種類で見ると、「近所付合×大切○」の層（n=118）では、「借家（民間アパート・マンション）」の割合が 39.8%と最も高く、全体（16.2%。図表 7）と比べて高くなっています。また、「持ち家（戸建て）」は 25.4%と全体（50.4%。図表 7）と比べて低い割合となっています。

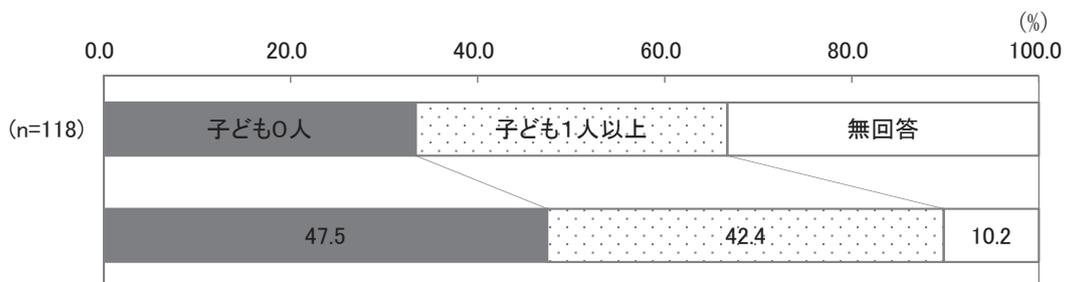
図表 74 近所付き合いに関する行動と意識について(全体)



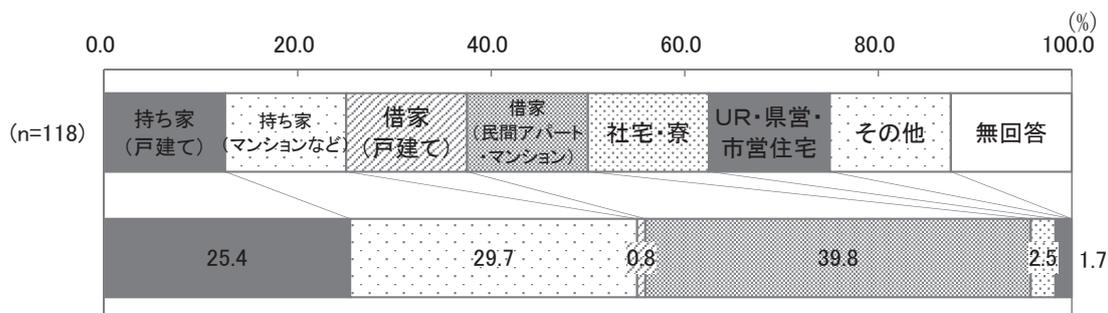
図表 75 「近所付合×大切○」の居住期間



図表 76 「近所付合×大切○」の子どもの人数



図表 77 「近所付合×大切○」の住宅の種類



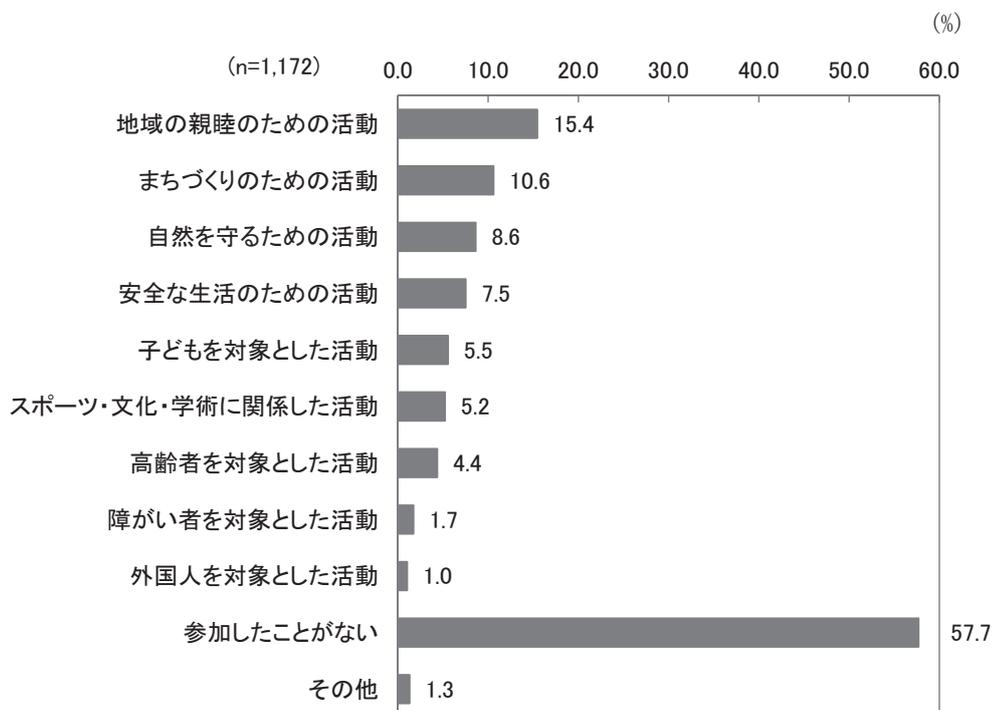
(4) 地域活動やボランティア活動への参加

問 34 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。
参加したものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことがない」が57.7%と最も高くなっています。
- ・活動に参加した人では、地域住民による祭りや運動会などの「地域の親睦のための活動」が15.4%と最も高く、次いで道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動などの「まちづくりのための活動」が10.6%と高くなっています。

図表 78 地域活動やボランティア活動への参加(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、女性は男性に比べ、「地域の親睦のための活動」及び「子どもを対象とした活動」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「まちづくりのための活動」及び「スポーツ・文化・学術に関係した活動」が高くなっています。
- 年齢別にみると、70歳以上は他の年齢に比べ「地域の親睦のための活動」(24.8%)、「自然を守るための活動」(14.6%)及び「高齢者を対象とした活動」(11.5%)が最も高くなっています。また、40歳代は、他の年代に比べ「子どもを対象とした活動」(10.7%)が最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、美女木地区は他の地区に比べ、「まちづくりのための活動」(28.3%)、「地域の親睦のための活動」(34.0%)、「自然を守るための活動」(16.0%)及び「安全な生活のための活動」(15.1%)が最も高くなっています。また、「参加したことがない」が最も高いのは下戸田2地区でした。

図表 79 地域活動やボランティア活動への参加(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		まちづくりのための活動	地域の親睦のための活動	自然を守るための活動	安全な生活のための活動	スポーツ・文化・学術に関係した活動	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がい者を対象とした活動	外国人を対象とした活動	参加したことがない	その他
	全体(1,172)	10.6	15.4	8.6	7.5	5.2	4.4	5.5	1.7	1.0	57.7	1.3
性別	男性(507)	11.8	14.6	8.5	7.7	6.5	3.4	2.6	1.6	0.6	60.0	0.8
	女性(659)	9.6	16.1	8.8	7.3	4.2	5.0	7.9	1.8	1.4	56.3	1.7
年齢別	16～19歳(32)	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	71.9	0.0
	20～29歳(109)	0.9	4.6	5.5	0.0	2.8	1.8	2.8	2.8	3.7	76.1	0.0
	30～39歳(182)	4.4	16.5	3.3	5.5	3.3	1.1	6.6	1.6	0.0	65.4	0.5
	40～49歳(233)	7.3	13.7	7.3	10.7	3.4	2.6	10.7	0.0	1.7	60.1	0.9
	50～59歳(215)	6.5	12.1	7.0	5.6	8.4	3.3	6.0	2.3	0.0	62.3	2.8
	60～69歳(169)	20.1	17.2	12.4	8.9	5.9	4.1	1.8	2.4	0.6	52.7	1.8
	70歳以上(226)	19.9	24.8	14.6	11.1	6.2	11.5	3.1	2.2	0.9	38.5	1.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.1	13.2	6.3	5.6	5.6	6.9	5.6	2.1	1.4	59.7	0.7
	下戸田2地区(214)	5.6	10.3	6.5	6.1	2.3	2.8	4.7	1.9	1.4	64.5	2.3
	上戸田1地区(125)	8.8	12.8	8.8	6.4	6.4	5.6	4.8	0.0	0.0	63.2	0.8
	上戸田2地区(171)	8.2	14.6	9.4	7.0	7.0	3.5	6.4	2.3	0.6	56.1	1.2
	新曽地区(251)	7.2	11.6	6.8	6.4	5.6	3.6	6.4	1.6	1.6	61.0	1.2
	笹目地区(156)	14.1	21.8	10.9	9.6	5.8	3.8	4.5	1.3	0.0	50.6	0.6
	美女木地区(106)	28.3	34.0	16.0	15.1	4.7	6.6	6.6	2.8	1.9	40.6	1.9

8. 市政への参加について

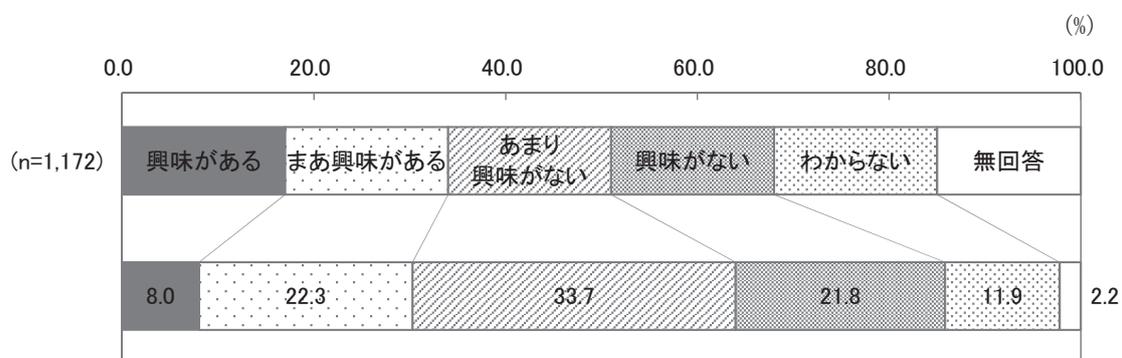
(1) 市政への参加の興味

問 35 あなたは、市政への参加（市の会議への参加やイベントの企画運営など）に興味がありますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・ 市政参加への興味は、「興味がある」（8.0%）と「まあ興味がある」（22.3%）を合わせて30.3%となっています。一方、「あまり興味がない」（33.7%）と「興味がない」（21.8%）を合わせて55.5%となっています。

図表 80 市政への参加の興味(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、70歳以上は「興味がある」と「まあ興味がある」を合わせると41.6%と割合が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区と笹目地区で「あまり興味が無い」と「興味が無い」を合わせると60%を超えています。

図表 81 市政への参加の興味(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		興味がある	まあ興味がある	あまり興味がない	興味がない	わからない	無回答
	全体(1,172)	8.0	22.3	33.7	21.8	11.9	2.2
性別	男性(507)	9.3	23.7	30.6	23.5	10.7	2.4
	女性(659)	7.0	21.4	36.3	20.6	12.7	2.0
年齢別	16～19歳(32)	6.3	18.8	31.3	25.0	18.8	0.0
	20～29歳(109)	10.1	19.3	26.6	31.2	12.8	0.0
	30～39歳(182)	7.1	21.4	31.9	29.7	9.3	0.5
	40～49歳(233)	6.0	22.3	36.5	26.2	9.0	0.0
	50～59歳(215)	5.6	19.5	38.6	22.8	13.5	0.0
	60～69歳(169)	4.7	23.7	40.8	18.3	11.2	1.2
	70歳以上(226)	14.6	27.0	26.5	8.0	13.7	10.2
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.1	22.9	33.3	19.4	9.0	4.2
	下戸田2地区(214)	6.1	15.9	39.3	24.3	13.1	1.4
	上戸田1地区(125)	8.8	22.4	43.2	14.4	9.6	1.6
	上戸田2地区(171)	8.2	22.2	31.0	22.8	11.1	4.7
	新曽地区(251)	7.6	27.9	27.1	22.3	13.5	1.6
	笹目地区(156)	9.0	17.3	34.6	25.6	12.2	1.3
	美女木地区(106)	6.6	28.3	30.2	19.8	14.2	0.9

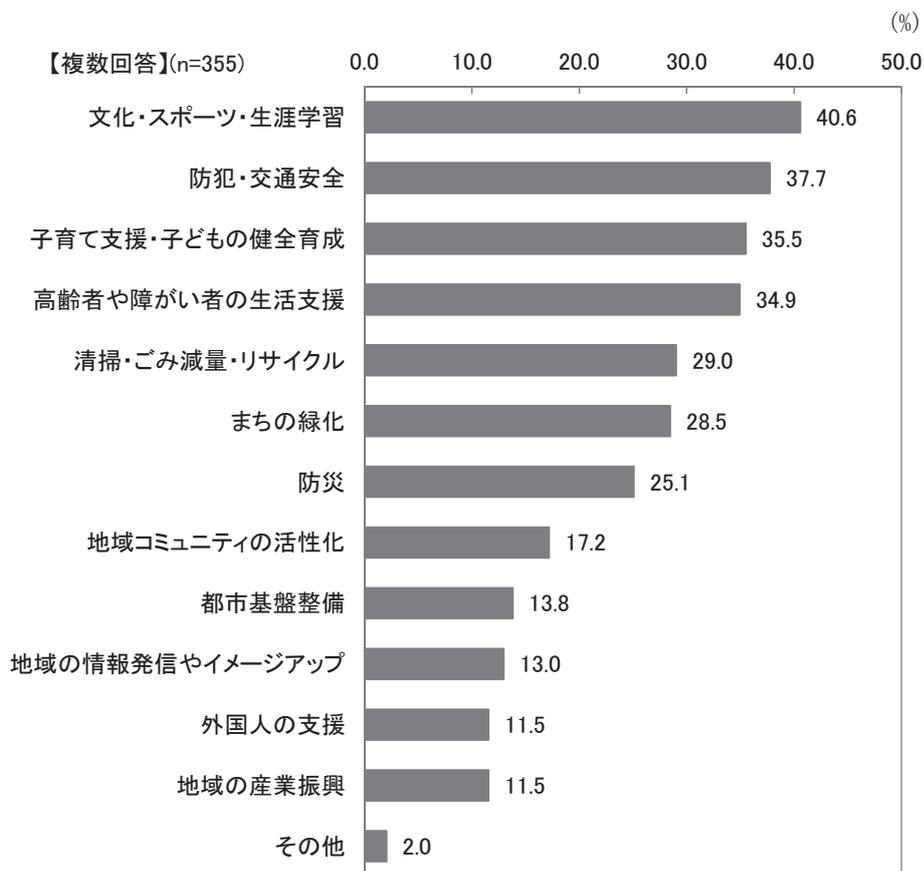
(2) 参加に興味のある市政の分野

問 36 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・参加に興味のある市政の分野については、問 35 で市政参加に「興味がある」及び「まあ興味がある」と回答した層 (n=355) に絞り、集計を行いました。
- ・結果は、「文化・スポーツ・生涯学習」(40.6%) が最も高く、次いで、「防犯・交通安全」が 37.7%、「子育て支援・子どもの健全育成」が 35.5%と高くなっています。

図表 82 参加に興味のある市政の分野(市政参加への興味がある層)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「防犯・交通安全」や「都市基盤整備」で高く、女性は男性に比べ、「高齢者や障がい者の生活支援」や「子育て支援・子どもの健全育成」で高くなっています。
- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ、10歳代は「地域の産業振興」が、20歳代は「まちなみ緑化」が、30歳代は「子育て支援・子どもの健全育成」が、60歳代は「防犯・交通安全」が、70歳以上は「高齢者や障がい者の生活支援」が高くなっています。

図表 83 参加に興味のある市政の分野(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健全育成 子育て支援・子どもの	高齢者や障がい者の 生活支援	外国人の支援	防災	防犯・交通安全	清掃・ごみ減量・リサイクル	まちなみ緑化	文化・スポーツ・生涯学習	地域の産業振興	都市基盤整備	地域の情報発信やイメージアップ	地域コミュニティの活性化	その他
	全体 (355)	35.5	34.9	11.5	25.1	37.7	29.0	28.5	40.6	11.5	13.8	13.0	17.2	1.4
性別	男性 (167)	30.5	29.3	10.8	28.7	44.3	26.3	29.3	44.9	13.2	19.8	15.6	21.0	0.0
	女性 (187)	40.1	39.6	12.3	21.9	32.1	31.6	27.8	36.9	10.2	8.6	10.7	13.9	2.7
年齢別	16～19歳 (8)	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	37.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	20～29歳 (32)	43.8	21.9	28.1	28.1	37.5	31.3	40.6	56.3	25.0	21.9	15.6	15.6	3.1
	30～39歳 (52)	67.3	15.4	11.5	21.2	36.5	28.8	25.0	28.8	11.5	7.7	21.2	7.7	3.8
	40～49歳 (66)	51.5	33.3	13.6	19.7	27.3	19.7	24.2	34.8	10.6	13.6	13.6	15.2	0.0
	50～59歳 (54)	31.5	35.2	13.0	25.9	33.3	20.4	24.1	55.6	5.6	18.5	14.8	22.2	0.0
	60～69歳 (48)	25.0	35.4	8.3	39.6	52.1	35.4	33.3	47.9	18.8	12.5	8.3	27.1	0.0
	70歳以上 (94)	12.8	52.1	4.3	24.5	42.6	37.2	29.8	34.0	5.3	11.7	7.4	18.1	2.1
居住地区別	下戸田1地区 (49)	28.6	40.8	12.2	36.7	57.1	36.7	26.5	49.0	16.3	16.3	10.2	12.2	0.0
	下戸田2地区 (47)	36.2	34.0	8.5	29.8	42.6	27.7	21.3	42.6	10.6	14.9	14.9	27.7	2.1
	上戸田1地区 (39)	38.5	28.2	7.7	15.4	30.8	28.2	25.6	38.5	5.1	12.8	10.3	15.4	2.6
	上戸田2地区 (52)	40.4	28.8	15.4	23.1	26.9	26.9	36.5	46.2	15.4	11.5	11.5	11.5	0.0
	新曽地区 (89)	40.4	36.0	12.4	21.3	31.5	25.8	31.5	40.4	10.1	16.9	13.5	19.1	2.2
	笹目地区 (41)	24.4	46.3	7.3	24.4	39.0	31.7	26.8	29.3	14.6	14.6	19.5	26.8	0.0
	美女木地区 (37)	32.4	27.0	16.2	24.3	40.5	27.0	24.3	35.1	5.4	5.4	10.8	5.4	2.7

9. 保養事業について

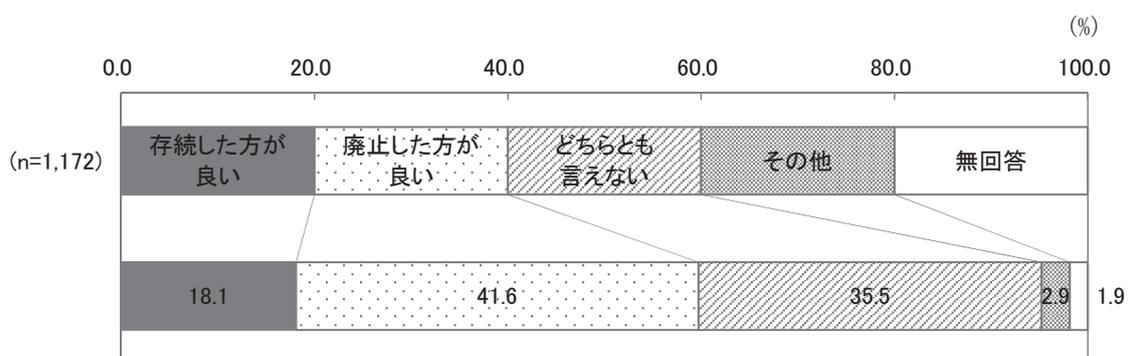
(1) 白田保養所のあり方について

問 37 白田保養所のあり方について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・白田保養所のあり方については、「廃止した方が良い」(41.6%)が「存続した方が良い」(18.1%)を23.5%上回っています。「どちらとも言えない」も35.5%と多くなっています。

図表 84 白田保養所のあり方(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性より男性の方が「存続した方が良い」の割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、70歳以上で「存続した方が良い」が24.3%と他の年代に比べ高くなっています。一方、30歳代～50歳代で「廃止した方が良い」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「存続した方が良い」が最も高いのは上戸田1地区、「廃止した方が良い」が最も高いのは下戸田2地区でした。

図表 85 白田保養所のあり方(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		存続した方が良い	廃止した方が良い	どちらとも言えない	その他	無回答
全体(1,172)		18.1	41.6	35.5	2.9	1.9
性別	男性(507)	22.7	41.4	31.8	3.0	1.2
	女性(659)	14.6	42.2	38.2	2.9	2.1
年齢別	16～19歳(32)	9.4	31.3	59.4	0.0	0.0
	20～29歳(109)	19.3	38.5	37.6	4.6	0.0
	30～39歳(182)	15.9	47.8	29.7	4.4	2.2
	40～49歳(233)	17.2	50.6	29.6	2.6	0.0
	50～59歳(215)	16.7	48.8	31.6	1.9	0.9
	60～69歳(169)	15.4	41.4	37.9	2.4	3.0
	70歳以上(226)	24.3	24.3	43.8	3.1	4.4
居住地区別	下戸田1地区(144)	16.7	39.6	37.5	4.2	2.1
	下戸田2地区(214)	15.0	50.0	29.9	2.8	2.3
	上戸田1地区(125)	25.6	33.6	35.2	3.2	2.4
	上戸田2地区(171)	21.6	38.0	35.1	4.1	1.2
	新曽地区(251)	15.9	45.0	35.1	2.4	1.6
	笹目地区(156)	19.9	37.2	41.0	0.0	1.9
	美女木地区(106)	15.1	40.6	37.7	4.7	1.9

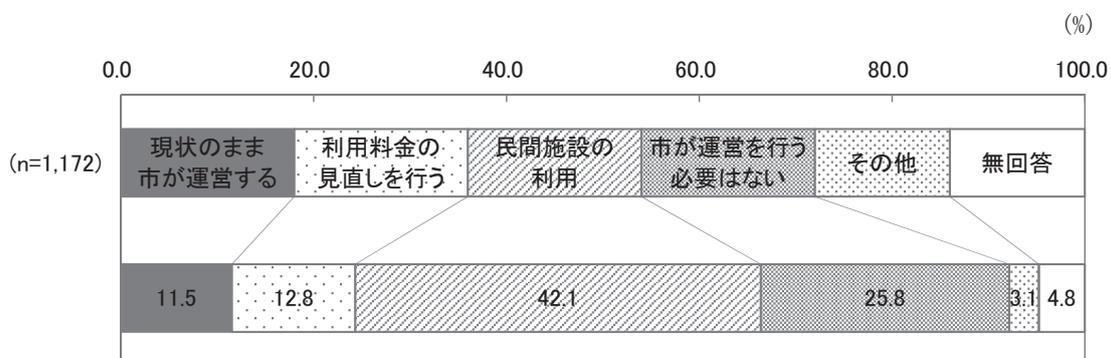
(2) 今後の保養所に係る事業について

問 38 今後の保養所に係る事業について、あなたの考えに近いものを選んでください。
(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・今後の保養所に係る事業については、「保養所の代わりに市が契約した民間施設の利用料金の一部を助成又は優待利用できるようにする」が 42.1%と最も多く、次いで「市が保養事業の運営を行う必要はない」(25.8%) となっています。

図表 86 今後の保養所に係る事業(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性より男性の方が「現状のまま市が運営する」が高くなっている一方、男性より女性の方が「民間施設の利用」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代で「現状のまま市が運営する」が21.1%と他の年代に比べ高くなっています。一方、30歳代で「市が運営を行う必要はない」34.6%と他の年代に比べ高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「民間施設の利用」が最も高いのは美女木地区、「市が運営を行う必要はない」が最も高いのは下戸田2地区でした。

図表 87 今後の保養所に係る事業(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		現状のまま市が運営する	利用料金の見直しを行う	民間施設の利用	市が運営を行う必要はない	その他	無回答
	全体(1,172)	11.5	12.8	42.1	25.8	3.1	4.8
性別	男性(507)	14.6	15.0	37.7	26.6	2.2	3.9
	女性(659)	9.1	11.2	45.5	25.3	3.8	5.0
年齢別	16～19歳(32)	15.6	25.0	21.9	18.8	9.4	9.4
	20～29歳(109)	21.1	19.3	26.6	23.9	8.3	0.9
	30～39歳(182)	9.3	9.3	40.1	34.6	1.6	4.9
	40～49歳(233)	8.2	11.6	44.6	32.6	2.1	0.9
	50～59歳(215)	10.2	9.8	49.8	25.6	2.3	2.3
	60～69歳(169)	10.7	11.8	50.3	18.9	2.4	5.9
	70歳以上(226)	12.8	15.9	37.6	19.5	3.1	11.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.8	16.7	38.9	27.1	1.4	4.2
	下戸田2地区(214)	10.7	13.6	37.4	30.4	1.9	6.1
	上戸田1地区(125)	15.2	11.2	45.6	17.6	5.6	4.8
	上戸田2地区(171)	12.3	11.7	38.6	28.1	4.1	5.3
	新曽地区(251)	11.6	8.8	45.0	29.1	2.4	3.2
	笹目地区(156)	9.6	14.7	43.6	23.1	3.8	5.1
	美女木地区(106)	10.4	16.0	49.1	16.0	3.8	4.7

10. 戸田市の取り組みについて

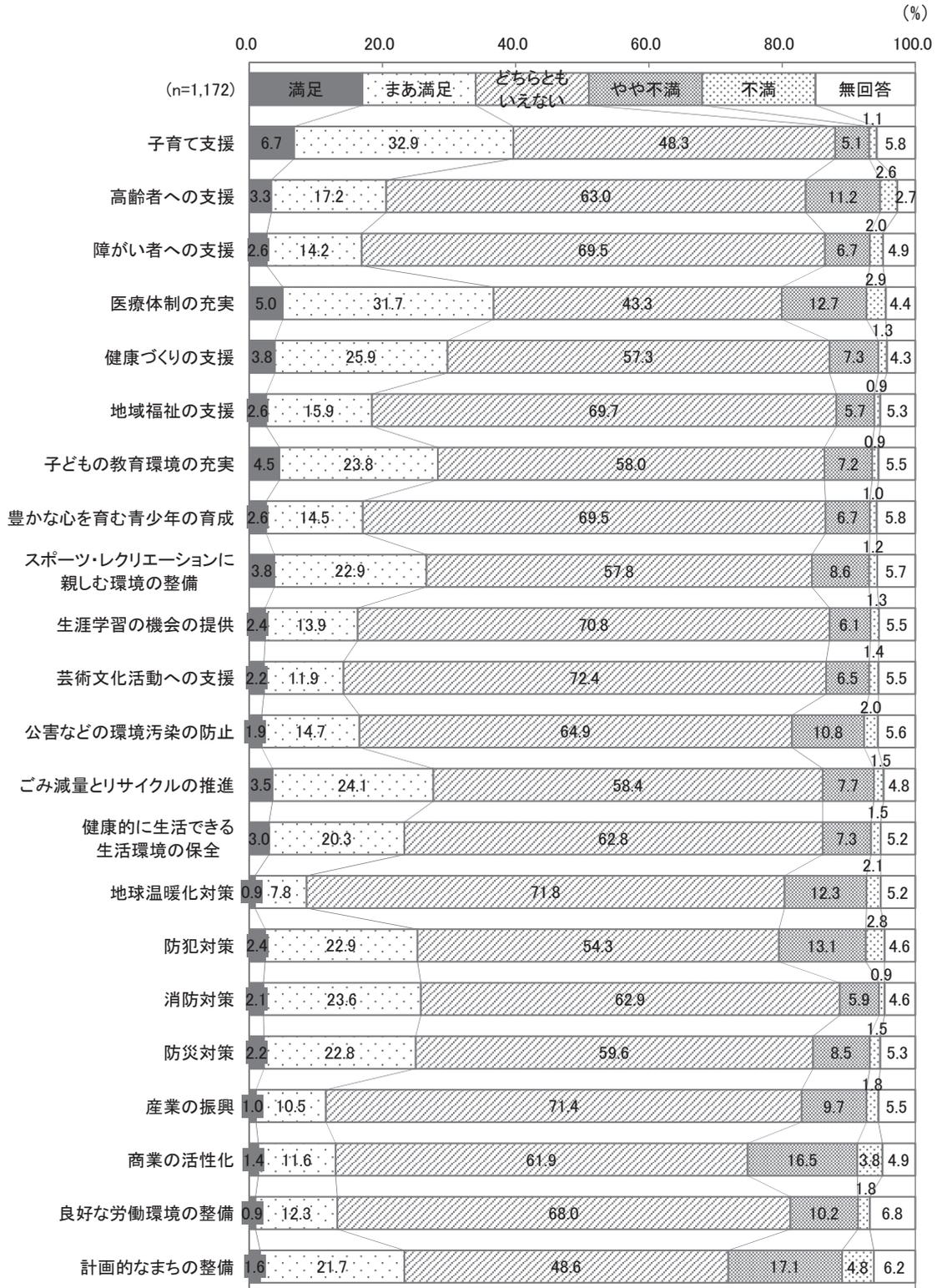
(1) 戸田市の取り組みへの満足度

問 39 次に示す取り組みについて、あなたは、どの程度満足していますか。項目ごとに、「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。(項目ごとに○は1つずつ)

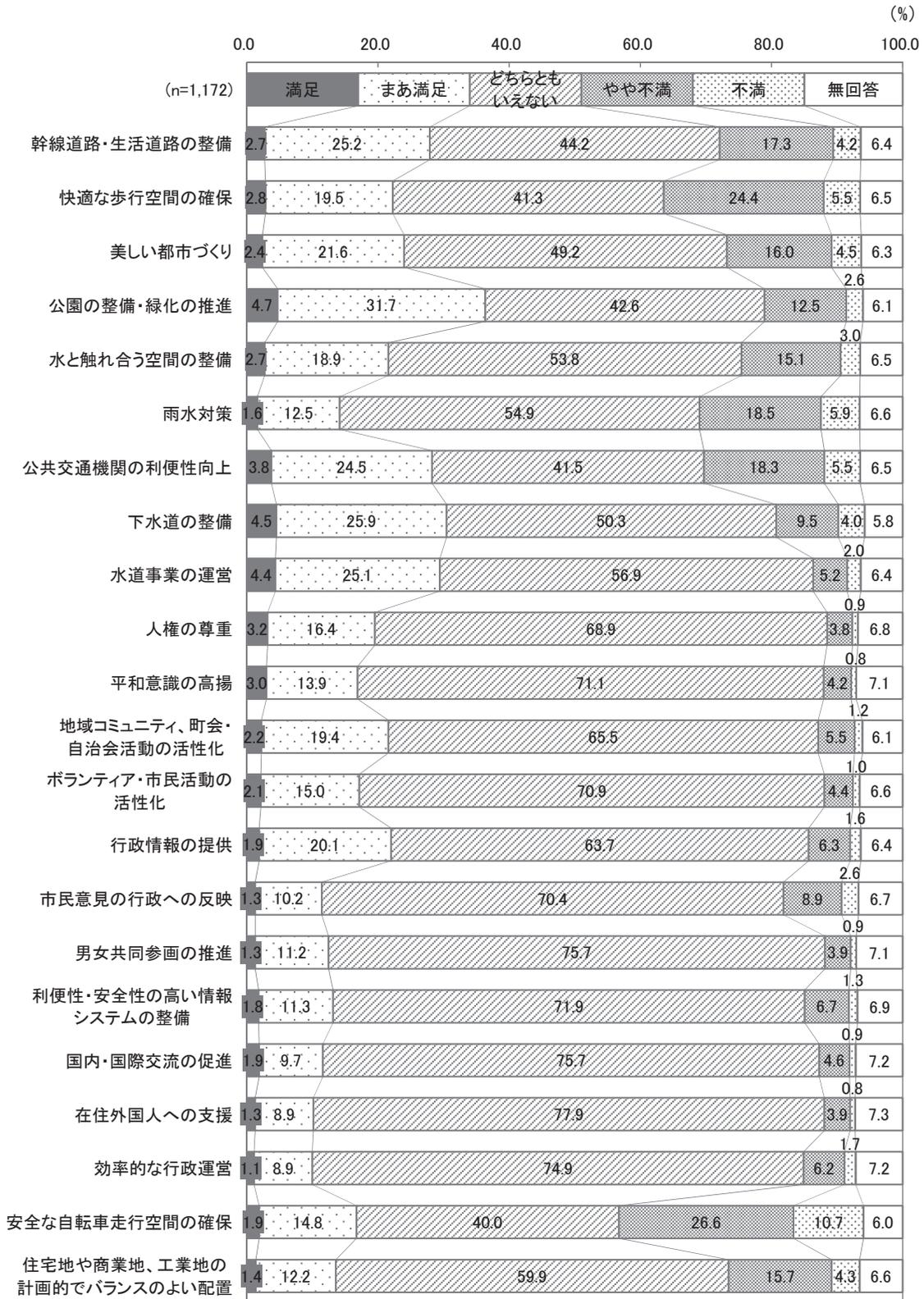
【全体の回答傾向】

- ・「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度が最も高いのは、「子育て支援」(39.6%)であり、次いで「医療体制の充実」(36.7%)、「公園の整備・緑化の推進」(36.4%)でした。
- ・一方、「不満」と「やや不満」を合わせたものが最も高いのは、「安全な自転車走行空間の確保」(37.3%)であり、次いで「快適な歩行空間の確保」(29.9%)、「雨水対策」(24.4%)となっています。

図表 88-1 戸田市の取り組みへの満足度(全体)



図表 88-2 戸田市の取り組みへの満足度(全体)(つづき)



(2) 今後重要だと思う取り組み

問 40 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか。今後重要であると思うものを5つまで選んでください。(〇は5つ)

【本設問の留意点】

- ・本設問に回答する際の意識として、「現状に不満があり、今後推進してほしい重要な分野」という意識と、「現状取組が進んでいるものの、今後より一層推進してほしい重要な分野」という意識があります。したがって、本設問の結果が一概に各分野の進捗状況を示すものではないことに留意が必要です。

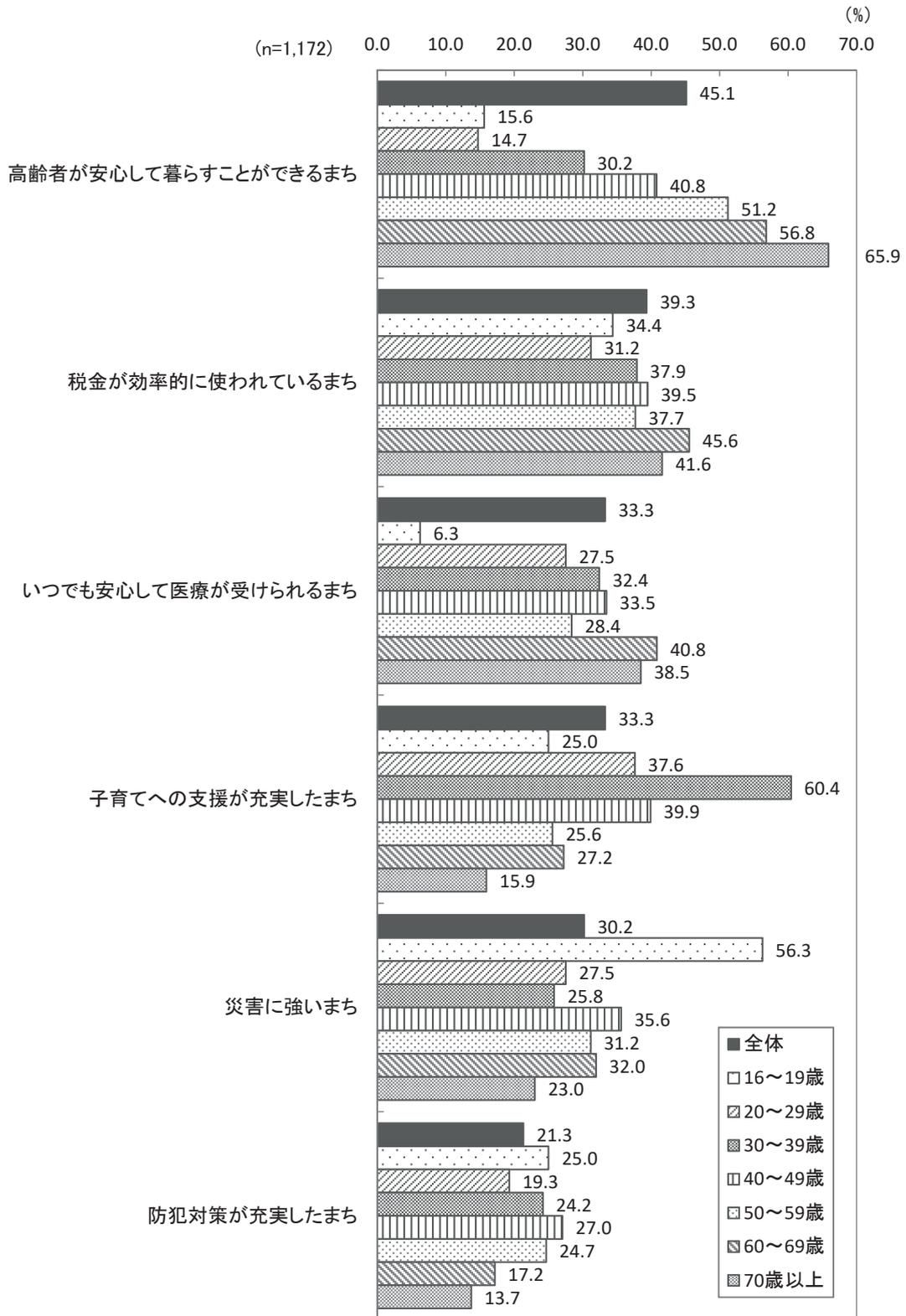
【全体の回答傾向】

- ・今後重要だと思う取り組み（複数回答）としては、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」（45.1%）が最も多く、次いで「税金が効率的に使われているまち」（39.3%）、「いつでも安心して医療が受けられるまち」（33.3%）、「子育てへの支援が充実したまち」（33.3%）、「災害に強いまち」（30.2%）、「防犯対策が充実したまち」（21.3%）となっています。

図表 89 今後重要だと思う取り組み(全体)



図表 90 今後重要だと思う取り組み【上位 6 項目】(年齢別)



【今後重要だと思う上位6項目の取組（属性別の回答傾向）】

- ・年齢別（図表 90）に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」では、60 歳代と 70 歳代で高くなっており、年齢とともに高くなる傾向が見られます。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、60 歳代で高く（45.6%）、次いで 70 歳以上（41.6%）となっています。
- ・「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、60 歳代で高く（40.8%）、次いで 70 歳以上（38.5%）となっています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、30 歳代が 60.4%と最も高く、40 歳代（39.9%）、20 歳代（37.6%）の順に高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、16～19 歳が 56.3%と突出して高くなっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、40 歳代が最も高く（27.0%）、次いで 16～19 歳（25.0%）、50 歳代（24.7%）となっています。
- ・居住地区別（図表 91）に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」は、下戸田 1 地区と笹目地区で高くなっています。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、上戸田 2 地区と笹目地区で 40%を超えています。
- ・「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、43.4%と美女木地区で最も高くなっています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、下戸田 1 地区（34.7%）、下戸田 2 地区（34.6%）及び新曽地区（34.3%）で高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、下戸田 1 地区（34.7%）が最も高く、次いで笹目地区（33.3%）となっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、下戸田 1 地区（26.4%）が最も高く、次いで上戸田 2 地区（25.7%）となっています。

【その他の属性別の回答傾向】

- ・「生涯健康に暮せるまち」は、居住地区別で見ると、新曽地区で最も高くなっています。
- ・「地域の福祉が充実したまち」は、年齢別で見ると、30歳代が最も高くなっています。
- ・「子どもの教育環境が充実したまち」では、年齢別では30歳代から40歳代で高くなっており、居住地区別で見ると、下戸田1地区、下戸田2地区、上戸田2地区及び美女木地区で高くなっています。

図表 91-1 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		子育てへの支援が充実したまち	高齢者が安心して暮らすことができるまち	障がい者が自立して暮らすことができるまち	いつでも安心して医療が受けられるまち	生涯健康に暮せるまち	地域の福祉が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	青少年が健やかに成長できるまち	スポーツ・レクリエーションに親しめるまち	多様な学習機会のあるまち	様々な芸術・文化を育むまち	公害など環境汚染がないまち	資源を無駄にしない循環型のまち	健康的に生活できる環境が保全されたまち
	全体(1,172)	33.3	45.1	12.2	33.3	15.0	8.3	14.7	7.5	7.3	3.2	3.1	11.2	6.3	10.6
性別	男性(507)	36.3	43.2	12.4	29.0	14.4	6.7	12.4	8.1	11.4	3.4	2.8	8.9	5.3	8.7
	女性(659)	31.1	46.7	12.0	36.6	15.3	9.6	16.5	7.1	4.1	3.0	3.3	12.9	7.1	12.0
年齢別	16～19歳(32)	25.0	15.6	3.1	6.3	15.6	0.0	15.6	3.1	21.9	3.1	0.0	15.6	0.0	12.5
	20～29歳(109)	37.6	14.7	12.8	27.5	15.6	6.4	15.6	1.8	6.4	4.6	5.5	8.3	2.8	13.8
	30～39歳(182)	60.4	30.2	12.6	32.4	10.4	11.0	30.8	9.3	5.5	6.0	3.8	9.9	4.9	11.0
	40～49歳(233)	39.9	40.8	10.7	33.5	15.0	7.7	17.2	8.2	10.3	3.0	2.6	7.7	5.6	8.6
	50～59歳(215)	25.6	51.2	16.7	28.4	14.9	8.8	7.4	7.4	9.3	2.3	3.3	10.7	6.0	9.3
	60～69歳(169)	27.2	56.8	8.9	40.8	16.6	6.5	14.2	7.7	5.3	1.2	3.6	14.2	8.9	10.1
	70歳以上(226)	15.9	65.9	12.4	38.5	16.4	9.7	6.2	8.8	3.5	2.7	1.8	14.2	9.3	11.9
居住地区別	下戸田1地区(144)	34.7	49.3	14.6	28.5	15.3	9.0	21.5	8.3	5.6	2.1	3.5	9.7	7.6	9.0
	下戸田2地区(214)	34.6	47.2	14.5	36.4	13.1	7.9	15.4	6.5	7.9	2.8	2.8	9.8	7.5	11.7
	上戸田1地区(125)	29.6	43.2	8.8	32.8	15.2	6.4	9.6	8.8	11.2	3.2	3.2	10.4	6.4	10.4
	上戸田2地区(171)	33.9	42.7	12.9	26.9	15.2	8.8	15.8	7.6	10.5	3.5	1.8	12.9	5.3	9.4
	新曽地区(251)	34.3	41.8	11.2	30.3	19.5	8.8	13.1	7.2	6.8	4.0	4.8	7.6	5.2	10.4
	笹目地区(156)	30.8	49.4	9.6	39.7	12.2	9.0	12.2	5.8	3.8	3.8	1.9	17.3	7.1	11.5
	美女木地区(106)	32.1	43.4	14.2	43.4	12.3	7.5	15.1	10.4	4.7	1.9	2.8	14.2	5.7	11.3

- ・「安全で快適な歩行空間が整備されたまち」では、年齢別に見ると、50歳代が最も高くなっており、次いで30歳代と60歳代が高くなっています。
- ・「緑あふれるまち」は、年齢別では30歳代以下の若年層の割合が高くなっており、居住地区別にみると、上戸田1地区が最も高く、次いで、上戸田2地区、下戸田1地区が高くなっています。
- ・「雨に強いまち」は、年齢別では50歳代が最も高く、次いで16～19歳が高くなっています。居住地区別では、上戸田1地区及び新曽地区が他地区と比べて高くなっています。

図表 91-2 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		ち地球温暖化対策が進んだまち	防犯対策が充実したまち	消防体制が充実したまち	災害に強いまち	産業に活気のあるまち	商業に賑わいのあるまち	安心して働けるまち	市街地が魅力的なまち	道路整備が進んだまち	安全で快適な歩行空間が整備されたまち	景観が整備されたまち	緑あふれるまち	水と親しめるまち	雨に強いまち
	全体(1,172)	4.0	21.3	2.7	30.2	2.0	8.8	7.3	10.8	9.7	13.5	5.9	12.9	3.2	12.6
性別	男性(507)	3.4	19.7	3.9	29.4	3.0	8.5	6.5	14.0	11.2	13.2	6.3	14.4	4.5	14.2
	女性(659)	4.6	22.8	1.8	30.8	1.4	9.1	8.0	8.3	8.6	13.7	5.6	11.7	2.3	11.5
年齢別	16～19歳(32)	3.1	25.0	0.0	56.3	0.0	3.1	15.6	12.5	18.8	12.5	6.3	25.0	31.3	15.6
	20～29歳(109)	3.7	19.3	0.9	27.5	0.9	14.7	15.6	16.5	12.8	12.8	9.2	17.4	1.8	11.0
	30～39歳(182)	3.3	24.2	1.1	25.8	1.6	8.2	7.7	12.1	8.8	14.8	4.9	13.2	4.9	11.0
	40～49歳(233)	3.9	27.0	3.0	35.6	4.3	10.7	7.3	12.9	11.6	12.4	7.7	10.7	3.0	13.7
	50～59歳(215)	5.1	24.7	2.3	31.2	1.4	6.0	7.9	13.0	7.9	17.2	8.4	11.2	2.3	19.5
	60～69歳(169)	4.7	17.2	4.7	32.0	2.4	12.4	4.1	8.3	9.5	14.8	5.3	17.8	1.8	9.5
	70歳以上(226)	3.5	13.7	4.0	23.0	1.3	4.9	4.0	4.4	8.0	9.3	1.3	8.8	0.9	9.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	4.9	26.4	3.5	34.7	1.4	4.9	9.7	8.3	10.4	12.5	8.3	16.0	2.8	9.7
	下戸田2地区(214)	4.2	16.4	1.4	27.6	0.5	11.2	6.5	11.7	5.6	15.4	5.6	9.3	3.7	11.2
	上戸田1地区(125)	4.0	22.4	5.6	32.8	4.8	6.4	5.6	10.4	12.8	15.2	5.6	16.8	4.0	14.4
	上戸田2地区(171)	4.1	25.7	2.9	31.6	0.6	12.9	6.4	11.7	5.8	10.5	7.0	16.4	5.8	11.7
	新曽地区(251)	4.4	19.1	1.2	26.7	2.0	10.4	8.8	12.0	12.0	15.1	6.8	11.2	2.0	15.5
	笹目地区(156)	3.8	21.2	3.2	33.3	5.1	6.4	5.8	7.1	10.9	12.8	3.8	11.5	1.9	13.5
	美女木地区(106)	1.9	22.6	3.8	28.3	0.9	4.7	8.5	13.2	13.2	10.4	2.8	11.3	2.8	10.4

- ・「公共交通機関が整備されたまち」は、年齢別では 20 歳代と 50 歳代で高くなっており、居住地区別では、笹目地区と美女木地区が高くなっています。
- ・「下水道が整備されたまち」は、年齢別では 60 歳代が最も高くなっており、居住地区別では、新曽地区が最も高く、次いで上戸田 1 地区が高くなっています。

図表 91-3 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		公共交通機関が整備されたまち	下水道が整備されたまち	安全な水道水を安定的に利用できるまち	人権を尊重するまち	平和の尊さを実感できるまち	市民が自発的に行動するまち	市民と市が協働するまち	地域間の交流が盛んなまち	ボランティア・市民活動が活発なまち	国際化に対応したまち	一人ひとりの個性と能力が発揮できるまち	情報化に対応したまち	税金が効率的に使われているまち
	全体(1,172)	9.5	6.6	8.6	2.7	3.2	1.2	3.3	1.1	2.1	3.8	1.3	2.1	39.3
性別	男性(507)	9.9	7.3	8.1	2.8	3.0	1.4	4.3	0.8	1.0	4.7	1.8	3.4	37.1
	女性(659)	9.1	5.8	9.0	2.7	3.2	1.1	2.6	1.4	3.0	3.0	0.9	1.2	41.3
年齢別	16～19 歳(32)	9.4	6.3	6.3	3.1	6.3	0.0	3.1	0.0	9.4	15.6	0.0	3.1	34.4
	20～29 歳(109)	11.9	3.7	1.8	3.7	5.5	0.9	2.8	2.8	3.7	7.3	3.7	6.4	31.2
	30～39 歳(182)	9.9	2.7	6.0	1.1	1.1	1.6	2.7	1.1	1.1	4.4	0.5	2.7	37.9
	40～49 歳(233)	7.7	6.4	7.7	0.4	2.1	0.9	3.9	2.1	1.7	3.9	1.3	2.6	39.5
	50～59 歳(215)	14.0	7.0	8.8	3.3	2.3	1.4	3.7	0.9	1.9	3.3	1.9	0.9	37.7
	60～69 歳(169)	9.5	11.2	9.5	1.2	4.7	0.6	3.0	0.6	1.8	3.6	0.6	1.8	45.6
	70 歳以上(226)	5.3	7.1	14.2	6.6	3.5	1.8	3.5	0.0	2.2	0.4	0.9	0.4	41.6
居住地区別	下戸田 1 地区(144)	8.3	4.2	6.3	2.1	4.9	2.8	1.4	0.7	2.1	4.9	2.1	3.5	33.3
	下戸田 2 地区(214)	9.8	4.7	9.8	2.8	2.8	1.9	3.3	0.9	2.8	3.7	0.5	2.3	39.7
	上戸田 1 地区(125)	9.6	9.6	8.8	2.4	1.6	0.0	4.8	1.6	0.8	4.0	2.4	2.4	39.2
	上戸田 2 地区(171)	9.4	3.5	7.0	2.3	2.3	1.2	1.8	0.6	3.5	5.8	1.2	2.3	42.7
	新曽地区(251)	6.4	13.1	6.8	4.4	3.6	1.2	4.8	0.8	1.6	1.2	1.2	2.0	36.3
	笹目地区(156)	12.8	4.5	10.9	2.6	5.1	0.0	3.2	1.9	1.3	5.8	0.6	1.3	46.2
	美女木地区(106)	13.2	2.8	13.2	0.9	1.9	0.9	3.8	1.9	2.8	1.9	1.9	0.9	38.7

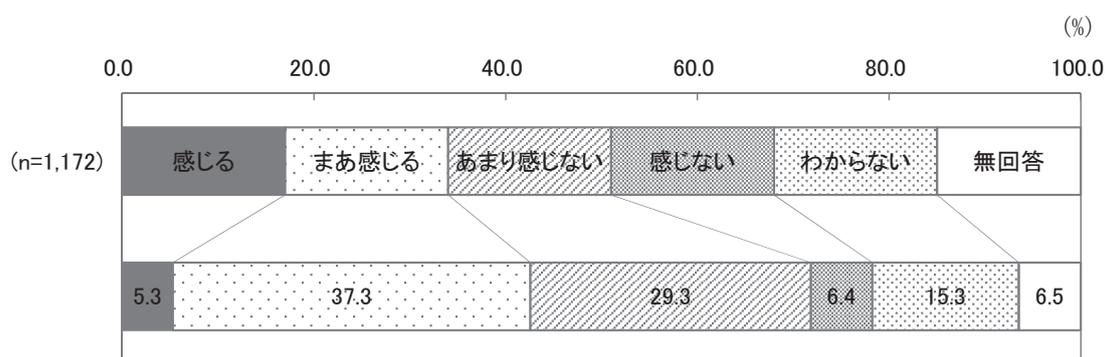
(3) 戸田市らしいまちづくり

問 41 あなたは、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じますか？（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- 全体の傾向でみると、「感じる」(5.3%)、「まあ感じる」(37.3%)を合わせると42.6%が戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じています。

図表 92 戸田市らしいまちづくり(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別でみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は40.2%、女性は44.8%となっており、女性の方が4.6ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見は、16～19歳で71.9%と最も高くなっており、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- 居住地区別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、笹目地区の47.4%が最も高くなっており、次いで、新曽地区の43.8%となっています。また、美女木地区では、38.7%と低くなっています。

図表 93 戸田市らしいまちづくり(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
	全体(1,172)	5.3	37.3	29.3	6.4	15.3	6.5
性別	男性(507)	4.7	35.5	31.6	7.5	13.8	6.9
	女性(659)	5.8	39.0	27.6	5.6	16.5	5.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	65.6	12.5	6.3	9.4	0.0
	20～29歳(109)	11.0	39.4	22.9	6.4	18.3	1.8
	30～39歳(182)	5.5	40.1	31.9	6.6	14.3	1.6
	40～49歳(233)	3.9	38.2	31.8	6.9	16.7	2.6
	50～59歳(215)	3.3	39.1	34.4	6.5	14.4	2.3
	60～69歳(169)	3.6	30.8	36.7	9.5	12.4	7.1
	70歳以上(226)	7.1	32.3	19.9	3.5	17.3	19.9
居住地区別	下戸田1地区(144)	2.8	39.6	27.1	11.1	14.6	4.9
	下戸田2地区(214)	1.9	39.3	26.6	6.1	15.4	10.7
	上戸田1地区(125)	7.2	36.0	28.0	4.8	16.8	7.2
	上戸田2地区(171)	7.6	32.7	39.8	2.3	12.9	4.7
	新曽地区(251)	4.8	39.0	27.5	8.0	15.9	4.8
	笹目地区(156)	6.4	41.0	30.8	5.8	11.5	4.5
	美女木地区(106)	9.4	29.2	24.5	6.6	21.7	8.5

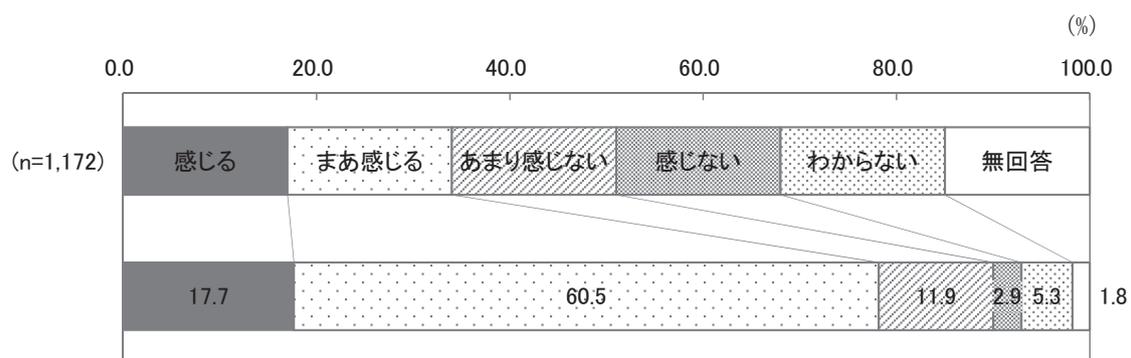
(4) 幸せ実感

問 42 総合的に考えて、あなたは、今、幸せだと感じていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・全体別にみると、「感じる」(17.7%)と「まあ感じる」(60.5%)を合わせた肯定的な意見が、78.2%となっています。

図表 94 幸せ実感(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は74.8%、女性は81.0%となっており、女性の方が6.2ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見は、16～19歳で90.6%と最も高くなっており、40歳代と50歳代で80%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、上戸田2地区、笹目地区及び美女木地区で80%を超えています。また、下戸田1地区では、67.4%と最も低くなっています。

図表 95 幸せ実感(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
	全体(1,172)	17.7	60.5	11.9	2.9	5.3	1.8
性別	男性(507)	16.0	58.8	14.6	3.9	5.3	1.4
	女性(659)	19.0	62.1	9.9	2.0	5.2	2.0
年齢別	16～19歳(32)	34.4	56.3	0.0	0.0	9.4	0.0
	20～29歳(109)	19.3	57.8	9.2	5.5	5.5	2.8
	30～39歳(182)	19.8	58.8	11.0	4.9	5.5	0.0
	40～49歳(233)	18.5	64.8	10.3	2.6	3.4	0.4
	50～59歳(215)	15.3	64.7	11.6	1.4	6.0	0.9
	60～69歳(169)	11.8	63.9	13.6	4.1	5.9	0.6
	70歳以上(226)	18.1	53.1	16.4	0.9	5.3	6.2
居住地区別	下戸田1地区(144)	14.6	52.8	20.1	2.1	7.6	2.8
	下戸田2地区(214)	17.3	62.1	11.2	2.8	4.2	2.3
	上戸田1地区(125)	20.0	58.4	11.2	2.4	7.2	0.8
	上戸田2地区(171)	21.6	59.6	9.4	2.3	4.1	2.9
	新曽地区(251)	16.3	62.5	12.0	3.2	5.2	0.8
	笹目地区(156)	17.3	64.1	11.5	3.2	3.2	0.6
	美女木地区(106)	17.9	62.3	7.5	3.8	7.5	0.9

Ⅲ. 自由意見

このアンケートには、たくさんのご意見が寄せられました。

1. 保健・医療・福祉
■子育て支援
子育て、子供を産みやすい環境にしてほしいです（更に）。
都内では子供の一時預かり制度がもっと充実しています。中学3年生まで緊急で泊まれる制度があることに驚きました。戸田市は若い世帯が多いので、子育て支援も充実させた方がいいと思います。
母子家庭です。児童扶養手当の支給が4ヶ月まとめて後払いというのがきついです。自分の稼ぎと養育費と母子手当金で毎月支払いが出来る状態なのにまとめたの意味が分からない。母子手当金がないので結局毎月貯金を下ろしたり、借りたりするしかなくなる。あと母子家庭の一時保育預かりなどの場、安くはなりませんか。
公立保育園の保護者会をなくしてほしい。働く親の負担が大きすぎる、本当に必要なのか？
■保健・医療
さいたま市に近いため病院（小児科）が戸田の方は遠く、もっと近くにあったらと思うこともあります。
休日、夜間、24時間OKの病院が欲しい。戸田中央病院は時間外に電話すると断られるので役に立たないです。
戸田中央総合病院は救急病院の筈だが、医師の不在等で受けてくれないことが多い。救急病院ならいつも医師を充実させてほしい。
健康診断の項目を増やしてほしいです。腎臓・脾臓・肝臓がんについても健診の検査項目に入れてください。
■高齢者福祉
高齢者になり生活能力が低くなった時でも戸田に住み続けられるよう自宅での介護（医療含む）の施策を進めてほしい（行政に頼るだけでなく、個人の不動産を死後決済にし、介護費用に充てる等、高齢者の意見も聞きながら）。
高齢者が増える中、見守る何かが増えると良いと思う。
年金だけで暮らしている高齢者が安心して生活できる市になってほしいです。賃貸住宅の賃料援助や一人暮らしの高齢者が借りられる集合住宅など。一人暮らしの老後を想像すると不安でいっぱいです。
もっと高齢者が集まるような施設を増やしていくべきだと思います。
高齢者への支援は、在宅だけでなく、グループホーム入居者にももっと拡充してほしいです。
今後迎える超高齢社会に備え、健康寿命を延ばす取り組みが重要になっていると思う。公園を子供だけのものではなく、中高齢者が気軽に筋トレに励めるような器具を設置することなどを提案したい。スポーツセンターのような施設、ミニセンターでも可能なので、戸田公園駅付近での整備を求めます。
■障がい福祉
娘が障害を持っていますが、車いすでの移動や障がい者への理解が低いと感じる。

<p>■障がい福祉（つづき）</p> <p>主に東京都と比較して、障害者に対する福祉サービスの質の低さに幻滅しています。特に精神障害者への理解・サポートが全くされていないと常に感じ、生きにくさをどこにも訴えられません。今後のサービス・サポートの向上を期待しています。もちろん身体障害者に対しても同様であることを心から望んでいます。</p> <p>発達障害者への支援を充実すべき。</p>
<p>2. 学校教育・生涯学習</p>
<p>■学校教育</p> <p>小学校の二期制についてですが、中学校に進学すると三学期制になります。必要でしょうか。三学期制ではなぜいけないのでしょうか。小学校の夏休みはとても貴重です。年によっては三学期制の学校と10日は違います。二期制である必要を感じません。戸田市在住の知人の話によると、教育委員会等から学校宛にある通達について、学校が生徒に説明せず、保護者に手紙を渡し指導を求めることがあります。（中学校の部活について）先生に説明したか聞くと委員会に言えと。なぜですか。</p> <p>中学校の部活に硬式テニス部を作ってください。戸田市スポーツセンターに選手コースというものがあります。小学校の時にテストを受け、週5日もテニスをしているのに中学生に受け皿がありません（体操や水泳は同じく選手コースがありますが、その後に新曽中等で受け入れがあります）。一校でもよいのでお願いします。川口市、蕨市にはあるので越境して他市に通っている人たちを何人も知っています。せつかく戸田市で育てた選手なのに、他市で関東・全国と活躍しています。</p> <p>戸田市の中学の学区について抽選で行きたい学校を選べる制度はありますが、外れてしまい、近所にある中学校に通えず、通学の距離が倍以上かかる（2キロ以上です）学校に通うことになりました。自転車も使用不可で大変です。3年間の通学の負担が大きいと思います。抽選で公平にということは理解していますが、3年間の通学の負担を考えると公平なのか、とも感じます。今後学区について考えていただき、2キロ以上は自転車通学を認めるなど、柔軟な対応をお願いしたいです。</p> <p>①幼稚園、小学校、中学校での道徳と教育が大切、大事だと私は思います。②人としての分別（やっていいこととやってはいけないことの判断）ができる人になってほしい。本当なら家庭教育で親から教えることなのですが、学校からも先生が生徒に教えていただきたい。</p> <p>若い市長さんに望む、子ども達が楽しく勉強できる戸田市にしてほしいです。小中学校によりしくお願い致します。</p> <p>短期の語学留学にも支援金をいただけるとありがたいです。</p> <p>ショッピングセンターなどに勉強できる場をふやしてほしい（勉強できる場所が少ない）。小中学校の先生の質が悪い（生徒に対する言葉遣いなど）。</p> <p>小中学校の体育館にクーラーを設置してほしい。近年の異常気象なので体育館での活動が厳しいです。大阪の橋下知事がやったように不要な財源を削り、体育館にクーラーを。学校が避難所になっているのに空調がないのはどうかと思う。</p> <p>いじめのない戸田市のまちづくりにしたいと思います。</p> <p>マンションばかり建てて、教育環境が悪くなってきている。教室が足りない。学童保育に入れない。</p>

<p>■生涯学習・文化・スポーツ</p>
<p>プールが足りず、習っている市内の屋内プールはいつも満員で使いにくい。</p>
<p>戸田市の図書館の本の量や種類が少なく、新刊も少ないので川口市の図書館を利用しています。近くに分室もありますが、利用していません。あいパルなど快適な施設だと思いますが、本も充実させてほしいです（川口市から転入し、戸田市民になった友人も同じ意見でした）。</p>
<p>図書館やあいパル等の指定管理者は慎重に決めていただきたいと思います。</p>
<p>あいパルの図書館の人が子供に厳しすぎる。周りの人が皆言っています。子供のための絵本ルームなのになぜあんなに厳しいのか。静かになって言いすぎて少しも本を読んであげられない。</p>
<p>喜沢に住んでいますが、戸田の端だからか児童館、図書館が近くにありません。川口市の図書館が近いのでそちらに行っています。</p>
<p>快適に運動できる施設の建設。各学校にはなくても1カ所作り、そこに行って運動できればよいのでは。</p>
<p>あいパルはあれだけ豪華な建築にしてトイレが手押し？エアタオルがない。せっかく作るなら使い勝手を良くしてほしい。</p>
<p>戸田スポーツセンターの屋内プールの改修を早急に行ってください。利用したいのに利用できない状態がずっと続いています。</p>
<p>戸田市のスポーツセンターの件について、電気代その他1時間7千円かかるようですが、子どもたちの利用に関して、小中学生の場合、先生が負担するようになります。このような場合は料金を半額にするとか、何か考える必要があると思います。市議会での検討をお願いします。実際にあったことで、先生が負担しました。</p>
<p>北部市営球場を回収して硬式野球場（スタジアム TODA）を作っていただきたい。高校野球の予選を行うことで、子どもの関心を高め、戸田市出身のプロ野球選手を輩出したい。また人を集めて経済の発展にもつながると思います。ぜひ検討してください。新座市は硬式専用球場を野火止につくっています。せっかくヤクルトがいるので活用できたらと…。</p>
<p>本町、戸田公園等一部地域では、休日・早朝からのボートコースでの声援等が騒音となる場合があります。適切な時間制限をお願いするとか、事前に大会日時の告知をお願いするとかの対応をご検討ください。</p>
<p>文化会館などに映画館を作してほしい（戸田市にないので）。</p>
<p>3. 環境と安心・安全</p>
<p>■環境・ごみ・公害</p>
<p>歩きたばこをしている人をたまに見かけることがある。歩きスマホ・自転車のマナーの悪さ（信号を守らない）。</p>
<p>住まいは笹目1丁目です。去勢していない野良猫が増加していて困っています。近隣でエサを与えている人がいます。こちらは住居の庭にふん、玄関に尿を撒かれ、大変迷惑しています。臭くて窓を開けて換気ができません。</p>
<p>歩きタバコと自転車乗りながらタバコが多くて困っています。条例で罰金にしてほしい。子供が何度も失明しかけています。</p>

<p>■環境・ごみ・公害（つづき）</p>
<p>私の家のそばに農業用水があります。草がすぐに生えて虫が出ます。家によっては植木を植えているところもあります。全部刈り取って砂利を敷いてもらいたいです。すぐ近くにサッカー練習場があり、そのそばに用水路がありましたが、きれいに砂利が敷かれて草などありません。</p>
<p>最近外国の方が戸田に住んでいるのですが、多分ゴミ出しのルールなどが分からない方がいるので、もっと交流する場があればいろいろ教えられるし、戸田市がもっときれいになると思います。</p>
<p>最近アパートに越してこられた方々は町会には入らず、ごみの出し方がひどくて困っています。大家さんとか借家の仲介業の方々の段階で責任を持って対処していただきたいと思います。</p>
<p>土手は草刈りを定期的にする。散歩に行っても草ボウボウです。お金はまちづくりのために使って欲しい。</p>
<p>騒音がひどい、空気が汚い。騒音のひどい、工場、作業場を規制する条例を作るべきである。環境が悪すぎる。</p>
<p>笹目川の悪臭。ザリガニ公園を作っても臭くて利用する人がいるのか？川沿い、ロープと低木植樹→自転車の人が川まで落ちていった。安全ではない。</p>
<p>リサイクルフラワーセンターもまったく活用されておらず、必要ない。ゴミの熱をプールに利用するなど考えてほしい。</p>
<p>犬のふんが道に落ちているのが目につきます（通学路）。</p>
<p>道路及び歩道の排水溝がゴミで詰まっている。雨天時は水溜まりとなり歩けない。</p>
<p>これからの温暖化に備えてソーラーパネル助成金の拡大（毎日のクーラーの使用で電気代があがる→ソーラーパネルによって電気代の節約になると思う）。</p>
<p>■防犯</p>
<p>大通りから横道に入ると街灯が少ないし、暗い。防犯にもよくないし、もう少し明るくしてほしいと思います。</p>
<p>子育てしていて最近変質者が多かったり、子供の安全面にも不安があります。</p>
<p>街灯をLEDにしているが、真下だけ照らしていて、まぶしいだけで防犯になっていない気がする</p>
<p>戸田公園駅の一番近くにある交番に、夜あまり警官がいなくて、利用したいときにいないことが多く、不便と少し感じたことがあります。</p>
<p>■防災</p>
<p>防災行政無線がほとんど聞き取れません。スピーカーの設置場所の問題と思われます。</p>
<p>こどもの国の駅側入り口が少しの雨で水が溢れて通れなくなります。水害の時に避難所として機能しないのでは。ブロックを一段高くするなど安く対応できると思います。</p>
<p>大雨による川の氾濫などが考えられます。水害に強い町にしたいと思います。</p>
<p>戸田駅の東口、西口はやや地盤が低いのか、集中的な雨が降ると水がたまってしまいます。これだけベッドタウンとして進んでいるので改善していただきたいです（靴がほぼつかることが年1回くらいはあると思います）。</p>

<p>■防災（つづき）</p> <p>この夏の暑さで温暖化対策をしないといけないと感じています。災害があってから戸田市がパニックにならない様、備え、市民1人1人が学ぶことも大切だと思います。</p> <p>ハザードマップがあってもどうやって、どこに逃げればよいのかわからない。また指定場所に入りきれない可能性があります。</p> <p>荒川の洪水に備え、浸水の高さを電柱に表示しましたが、市民の不安をあおる結果になっています。そこで個人の負担プラス行政の補助金でライフジャケット（気休めかもですが）を自宅に備えることを提案します。</p>
<p>■交通安全</p> <p>子どもが小学校の通学に毎日使う道路なのに信号がない場所が多い。</p> <p>自転車が歩行者と同じルートを走っているのが非常に危ない。彩湖も競技用サイクルがスピード出しているので、子どもや高齢者やりハビリの人たちにとって危ない。歩きスマホを取り締まらない限り良いまちづくりはあり得ない。数年後見据えてください。</p> <p>喜沢一丁目（東）の信号の歩行者押しボタンを押してから信号が青に変わるまでの時間が長すぎて、待ちきれなくて渡ってしまう人がとても多いのもう少し短い時間で変わるように設定を変更してもらえないのでしょうか？</p> <p>自転車を運転する方々の教育。自転車も自動車までとは行かなくてももう少し規制した方が良いのではないのでしょうか。自転車専用道路の整備も必要かと思います。自転車を我が道を行く的な運転する人が多々あるように感じています（対歩行者、対自動車運転者）。</p> <p>自転車専用レーンですが、車の通りの多いところでは逆に危険に思うことがあります。また、子どもに対してまだ自転車になれていないということを全ての大人が認識する必要があると思いました。</p> <p>戸田駅前の路駐を取り締まってほしい。</p> <p>自転車のマナーが悪い。</p> <p>倉庫ばかり増え、道路には大型車が駐車し、通るにも先が見えず危ない思いを何度もしました。駐車違反の巡回車も来ませんので、堂々と道路で仕事をしています。なんとかしてください。笹目地区にも目を向けていただけましたらありがたいです。</p>
<p>4. 産業と労働</p>
<p>■商業</p> <p>戸田公園駅の周りには大型スーパーとかショッピングモールができないのはなぜでしょうか。戸田駅、北戸田駅まで行かないといけないのはとても不便だし、子育てするのに美容室、歯医者、飲み屋さんはいもう必要ないと思います。マンションも沢山作る割に買い物に不便すぎます。人口増やすなら幼稚園、保育園、大型スーパーも作ってください。</p> <p>スーパー、お店がもっと増えれば良い。</p> <p>駅周辺はもう少し賑やかに便利になれば良いなと思います（遅くまで利用できる飲食店など）</p> <p>若い人が魅力的に思える大きな購買施設が計画的に増えればもっと便利で素敵な市になると思います。</p>

<p>■商業（つづき）</p>
<p>朝市もっと増やしてほしい。エリアも拡大。</p>
<p>■商業全般・就労</p>
<p>商業、工業の衰退に活気がない。そのため通勤、通学时以外は町に人影が少ない。最近、入札制度の小規模修繕が変わってしまった。もともとは市内零細企業向けの入札制度であった筈。今は埼玉県の入札制度を使うようになり、市内の零細企業は排除されてしまった。こんなことをしては市内の商業、工業はますます衰退してしまうと危惧しています。市内の商業、工業をもっと元気にする政策が必要と感じます。</p>
<p>仕事も市内で働きたいのですが、東京都と時給に差がありすぎ、今は都内に勤めています。時給も同じレベルになってほしいです。</p>
<p>戸田公園駅を利用しているが何年経っても駅前には農家や小さな商店がわずかにある程度でとても魅力的な街とはほど遠い感じ、武蔵浦和や赤羽などと比べてもあまりにもみすぼらしい（東口）。大規模な区画整理を実施し、大型商業施設を誘致するなどの大胆な施策を若い新市長に期待しております。</p>
<p>■その他</p>
<p>買い物は他県、他市に行った方が便利である為、戸田市内の業者にお金が落ちるようにすべきである。</p>
<p>5. 都市基盤</p>
<p>■土地区画整理・市街地整備</p>
<p>電柱が歩道にあり、通路幅が狭い。都市計画がおかしい。町の発展につながらない工業地帯が住居地区となり、再建不可の建物が多い。</p>
<p>美女木地区は、他地区に比べ、自然豊かである反面、工場と住宅の棲み分けが曖昧で、小学校の通学路に建設業者の資材置き場があるなど、危険も多いのが非常に残念であり、住環境の観点からしても、振動や騒音に日々悩まされています。環境課へ相談も数回しましたが、抜本的な解決には至っていません。40年以上住み続けてきた者として、美女木の自然の豊かさを活かし、かつ新大宮バイパス・東京外環の交差点という交通の便を活かしたいとなれば、住居地域と工業地域の区画をより区別し、両立を図ってほしい。</p>
<p>戸田と同駅周辺は、埼京線が導入された事により、利便性が高くなり、より多くのマンションが林立し、昔の良さが失われつつある。戸田駅、北戸田駅周辺もよくなってきたが、バイパスを過ぎるとかなり田舎感が否めない。この辺の利便性の標準化を提案したい。</p>
<p>戸田には昔からの地主さんが多くの土地を所有していますが、2代目、3代目となる内に土地が切り売りされ、残念な宅地開発になっていると思う。市と地主で話をして、公園等にしてもらえるよう提供依頼して、地主へは税制でメリットを与えてウインウインにしていきたい。</p>
<p>駅周辺の整理をしてほしい。</p>
<p>高層マンション（10階以上）の建設の禁止、要望します。</p>
<p>戸田にある三駅前の整備。</p>
<p>今あるマンションも老朽化して来ます。その対策も必要と思います。そのうち、我が町も多摩ニュータウンの様にならないことを思います。※市職員の質も落ちているのが気になります。</p>

■道路整備
戸田駅前の工事中のロータリーを早く進めていただきたいと思います。今までの道路の形状の方が便利で通りやすかったのに新しくなった道が不便になるのはどうかと思います。ぜひ改革を。
駅前の整備をしてほしい。駅、自転車の駐輪料金が高くなったことが不満。駅周辺の歩道が狭すぎる。自転車専用道路をもっと作って。
本町交差点の歩道のスペースが狭くて毎朝車にぶつかりそうになりながら通っている人を見かけます。道路の幅が限られているので難しいのはわかりますが、歩道を広げてもらえると安全面でもいいのかなと思います。
北戸田辺り等、非常に駅周りは整備されてきていると感じる。一方で工場地帯と呼ばれる一带は歩道の整備が不十分だったり、西川口へ向かう喜沢辺りはしっかりと歩道のない道や小学校近辺でも信号がない交差点があったりと中心部ばかりに目が行っているように思える。この辺りをしっかりと平均的に安心して歩けるようにしてほしい。
道路整備が長年されていないような地域がある。市役所の周りは整備しているような印象、駅も。
無理に作った自転車専用道路が狭くて危険。安全を配慮して作ってください。
歩道、自転車用レーンの整備をきちんと。ベビーカー（特にツイン）、車いす、大人用三輪車でも通りやすく。斜め、デコボコ、電柱、ゴミ置き場等で車道を利用せざるを得ないことが多々。せめて17号はフラットにして歩き、自転車を分けたり。利用できる人出来ない人の差が大きい保養所より、市内の整備にお金を使ってほしい。
登校班を作って登校していますが、歩道が狭く危ない道が多いです。スクールゾーンの時時間帯も車が通ったりもします。もう少し子供を安全に外出させられるようになると良いと思います。違法建築のブロック塀について市では把握したり指導したりはしないのですか。
北小学校と高校の間の道を早くどうかしてほしい。狭すぎるし、自転車、ベビーカーが危ない。
自転車通行帯が車道にあり、駐車車両で通行できない。
十字路、T字路の角をなくしてほしい（曲がり角が危ない）。
店舗所有の駐車場が狭く、歩道まで車が出ていて危険な場所が多い（飲食店）。歩行の妨げにならない様駐車してほしい。
道路がきれいにされたと思うと掘り起こしてしまう。掘り起こした業者に3ヶ月くらい過ぎたら再度点検してもらいたい。くぼみが出来たりしている。また舗装したのは良いのですがブロックと塀に隙間があり、土がたまり、草が生える。特にヨモギ、桑の木、けやきなどが始末に悪い。緑化、大賛成でも落葉の始末が大変。なんとかしてください。
■公園・緑・景観
箱モノばかり作っていますが、もっと公園を増やして皆が散歩できるようにしてください。
上戸田地区に公園を。
緑が少ない。
運動公園を作っていただきたいです。

■公園・緑・景観（つづき）
上戸田地区には学校以外に子どもたちがボールを使って遊ぶことのできる場所がなく、かわいそう。北戸田や戸田公園駅周辺にはネット付きの広場がありますが、上戸田地区にはなく不便。
緑陰が減り、夏暑くなったと思う。緑化には蜜源植物等、多様な種類の植物が必要と思う。
今の自然に囲まれた環境を活かして住みやすい町づくりをお願いしたい。
公園がない。一時しのぎのゲートボール場ばかりで計画性を感じない。
桜の見どころ何か所かあるので楽しませていただいています。緑が少ない印象です。猛暑の中、自転車で日々の買い物などをしていますが、辛いです。
私の家の前にも戸田市の空き地がありますが、あちこちたくさんある空き地に花の種をばらまいて（花壇のように整備しない）、草原の花畑風になったら素敵だと思いますが、勝手に花の種をまいてはいけませんか？まだまだ整備に時間がかかるのであれば、その間だけでも空き地の花畑になったら良いと思うのですが。空き地だとゴミを捨てる人もいます。
新曽地区（特に北町）に公園やこども 110 番交番を作してほしい。公園は子供が遊べる公園。
配線を地下に（電柱の地中化）。景観の良い街づくりを。
駅周辺が新しくなったにも関わらず、色や景観が統一されていないのが残念。道が狭い所が多々ある。
■上下水道・河川
雨が降ると家の前の道路が冠水するので下水を整備してほしい。
新曽地区は下水道が整備されていないため、悪臭、害虫に困っている。雨の多い時期は水はけも悪いため、とても不衛生で心配している。1日も早く下水道工事を進めてほしい。
新曽地区の上下水道の整備（うちは浄化槽なので）。
菖蒲川をきれいにしてほしい。
■公共交通
今後の国際化に向けて、戸田駅や戸田公園駅から羽田や成田空港行きの「直通バス」を用意してほしい。
戸田公園駅に通勤快速が止まるようになると便利だと思います。
toco バスもう少し遅い時間まで運行してほしいです。
バスのルートを増やしてほしい。都内に行けるよう。他の電車（埼京線以外）に行くルートが少なく感じる。都内はバスが充実しているが戸田はバスが少なすぎる。
戸田駅を利用していますが、駅へ入る道があまりにも大廻りでほとんどの人は車、タクシー、バスと一緒に道路を渡っています。早急に駅前ロータリーの整備をお願いします。
バスの本数を増やしてほしい。toco バス 6 時からのバスが欲しい。
埼京線の終電がもう少し多くなれば良いなとも思います。
■その他
喜沢南に住んでいますが借りていた駐車場が二度目の閉鎖、近隣にはマンションが建ち並び、駐車場が 100%あるわけでもないのに、周辺には閉鎖になっても他に移ることが出来ません。自家用車所有者には非常に住みづらい地域だと思います。

6. 参加と交流
■コミュニティ活動・市民参加
緑化の推進とその周辺への出店支援等、人が集まれる場を作ってほしい。
社会人が参加できるいろいろなプログラムを計画してほしい。そこで地域の人々のコミュニティを形成してください。
外国人居住者たちの地域への参加戸田市自治体の知名度の低さ（川口市、蕨市は知っているが、戸田市が隣にあることを知らない）。
一番身近な町会や子供会について無関心あるいは関心はあっても加入しない人が増えていることが気になります。災害があったとき、必要なコミュニケーションがとれません。子供たちの体力づくりに不安があります。地域のスポーツが衰退し、外遊びもままならないと、昔は放っておいても付いていた体力が身につかないまま大人になってしまうのではと不安になります。スポーツ習慣の大切さを親に伝えるべきではと思います。
都市化が進んでいる町なのに、住民が昔の考えを通して。町会活動ばかり。50年以上も住んでいる住民たちが多のに、町会の集会等ですぐに群れる。なぜ1～2時間の会議等でも仲間内意識がまかり通っているのか。友人の席確保に躍起になる人がまだまだ多い。都市化に向かっているのに住民の意識が都市化にあっていない。
私は戸田市に来て数年なので地域のことはまだよく分かりませんが、市報等を見ると、親子や高齢者の集まりやイベントは多いですが、中年の人もほとんどは友達が欲しいと思っています。どんどんサークル等紹介してほしいと思っています。どんどん紹介してほしいです。仕事も市内で働きたいのですが、
現在、子ども達相手にお絵かきライブというのをやっていて戸田でもそのイベントライブが出来たら良いなと思っています。
ふるさと祭りも昔の良さを取り戻す試みとして、従来行ってきた市役所周辺を中心とした祭りに戻す提案をしたい。
ふるさと祭りの場所を戸田の五差路でやってほしい。屋台もB級グルメとかではなくて、普通の屋台も呼んでほしいです。「ゴミが出る」とかで難しいのであれば、ゴミ箱を一定の間隔で設置して対処するのも一手だと思います。ポートコースは駅から距離があります。他の地域からも人を呼び込んで盛りあげるのであれば、駅の近くで開催するのが重要だと思います。
■広報・情報発信
戸田公園等の自転車置場の料金が民意を問わないまま、数年前から民間委託し、料金が3倍になった。自身が気付かなかったのかも知らないが、事前にアンケートを行い、サービス体系や料金について案内すべきだったと思う。
市や協議会などから看板の配布がありますが、古くて見えなくなっていたり、割れていたり、そのまま掲示されているので類似の看板を配布したら交換するように、看板にH3001（H30.01掲示）などナンバーをつけて耐用年数辺りで交換を促すと良いかと思います。
どのような施設があるのかもっと積極的に発信していただけるとありがたい（興味を引く見出しを付けて）。興味はあるが情報がいないため、施設を利用しないため。

<p>■広報・情報発信（つづき）</p>
<p>若年層ミーティング…20歳～39歳一番動ける歳。最も忙しく、自分の時間を作り出すのが難しい年頃ですが。HPで人が集まるのか？</p>
<p>7. 行財政</p>
<p>新聞等で健康保険料等の滞納率が高い記事があり、真面目に納付している人が馬鹿に思える。徴収の努力をして頂きたい。</p>
<p>特に市、県民税が高い。公務員がうらやましいと思っている。</p>
<p>意識調査の過去の分析結果を拝見しましたが、この調査結果を踏まえて市がどのような取り組みを具体的に（予定）かわかりませんでした。この調査をどのように市政に活かすかも公表していただくと良いのでは、と思いました。</p>
<p>税金をバランスよく使ってほしい。</p>
<p>国民年金から後期高齢者保険料の高額さに驚いています。なぜこんなに高いお金を払わなければならないのでしょうか。日本国内でも一番高いのが戸田市ではないのですか。年寄が多い市だからと思われているのですか。高額から少しでも安くしてください。生活苦になっています。再考してください。ポートコースを利用して市の財減を確保し、老人から徴収する金額を安くしてください。</p>
<p>健康保険料と介護保険料率が埼玉県内で一番高額であり、さらに値上げされたとのこと。確実に住みにくくなってきている。そういうことで転居等の検討に入っている。現役で働いている時には気づかなかったが、引退して初めて気づかされた。速やかに対策されたし。</p>
<p>祝い金の有意義な使い方。</p>
<p>福祉関連の見直しを。あまりにも簡単に給付金を支給しすぎている。</p>
<p>財政の健全確保を実施しながら充実した市民サービスの実施を選択して実施し、価値の高い市を目指してほしい。アンケートに白田保養所が出ていたが、検討すべきと思う。スポーツセンターのプールも長期間止まっている。施設は長期間使用できるように設計施工し、無駄を排除して自然エネルギーを使用するなど工夫が必要。</p>
<p>とにかく、国保の保険料が高すぎます。市職員の怠慢が市民に回ってきています。一生懸命保険料を徴収してください。このままでは国保の保険料を支払いません。</p>
<p>いろいろ市民のためにがんばっていただいているのに低コストで対応できるところに不満が多々あり、もったいないです。</p>
<p>財政的には良い状態のようなので、是非、これを続けられるようにしてほしいです。大人、子ども、老人も含めて、安心して暮らせる戸田でいてほしいです。</p>
<p>8. その他</p>
<p>今夏のような暑さで子供の遊ぶ場が「誰かの家」になっているので、室内で気軽に遊べる施設がもっと増えたらうれしいです（寒すぎるときも同じく）。</p>
<p>犬にやさしいまちづくりをしてほしい。犬の施設（遊び場）をたくさん作ってほしい。荒川の土手を常にきれいに保ってほしい。</p>

8. その他 (つづき)
花火大会の規模が以前より小さくなってしまい残念である。
都心に近くアクセスの良さをアピールし、私立大学、高校を誘致し多くの学生が駅を利用し通学してもらえそうな町になって欲しいです。そこから学生が利用できるような商業が発展して、町ににぎわいが出るのではと思います。外から戸田に来ていただくような特徴を作って欲しいです。
高収入の人口を増やすべき！
若く活気あふれる新しい市長さんになり、とても期待しています。
今まで工場だった場所、駐車場だったところが次々とマンションに変わり、いろいろな国の皆さんもコンビニ店員として働かれる姿を見かけるようになりました。日本人が嫌がる仕事をしてくださっている外国の方にとって暮らしやすい市なののでしょうか。
近所に外国人が増え、夜でも騒がしい、バスやスーパー等での割り込み、道路に座り込んで話す等落ち着いて過ごすことが出来ない状況に最近なっているので、外国の方の日本でのマナー講座や見回り等をしていただけたらもっと住みやすくなると思います。
学校での子供たちの声がうるさいと感じる人もいるように聞いていますが、大人が子供たちの環境を良くしてあげられるよう、大人一人一人の心が優しくなってほしいと思います。
全体的に暗い街。のどかだから夜は暗い、のなら良いが治安の悪さが大変目立つ。また、市民の諦めもそれを増長させている。ルールばかりが多く、誰も守っていない様子も非常に目につく。住みやすい街を目指す具体案が、詭弁過ぎて誰に投票するか考える気も起きない。愛国心ならぬ愛市中心くらい持ってはどうか。市役所の受付近くで外国人相手に優しく声をかけた他県からの転入者ががっかりしないまちづくりをお願いします。見習ってほしい。
過剰な男女平等の促進、外国の方への保護等、周囲の行き過ぎた言動に市が反応しすぎている。差別主義者ではないが、もっと進めなくてはいけない事があると思います。
人間のことばかりで動物の保護、生命のことなどについて考えられている案がないので、意見を述べる興味がわからない。ミーティングする時間ももったいない。動物はどうするのですか。また処分すればよいのですか。
総合的には現在住みやすい町だと感じます。子供たちが心身ともに心が充実した生活が送れる場となるようなまちになってほしいです。
ボートコースの水の交換。
本件調査について一言。「市民意識調査」とあるが、市政に対する問が多い。しかも内容が細かすぎてかつ量が多い。はっきり言って「知らないから答えようがない」。特に問の 23、25、26、39、40 は設問自体を見直すべき。問 39 は最悪。まあ、でも「知らない」というのも市民意識のひとつかも。いずれにせよ、アンケートのやり方を根本的に見直すべきです。今回はやむなく提出します。
まだ発展途上にある市なので、これから皆の協力でいろいろな方向に伸びていくことを期待しております。
駅で障害者の方がお掃除をしてくださっているところを何度もお見掛けしています。とても素敵なお見掛けだと思います。

8. その他 (つづき)
偏ったまちづくりじゃだめ、街全体を平均な戸田市づくりにしてください。
北戸田駅周辺や笹目・美女木地区など市中心部でない地域の整備、子ども・高齢者だけでなく、現役世代への支援についても、より力を注いで頂ければと思います。
一つでも戸田に住んで良かったと誇れる所が欲しいです。19年住んでますが、地域愛が全くわきません。
世帯数は年々増加しているかと思いますがまちづくりは全体的に遅れている感が強いです。缶詰状態な街にならないように公共交通機関の利便性、地域の活性化、外国の方も増えつつであり、国際化の対応に遅れないように活気のあるまちづくりに協力したいと考えています。
さいたま市浦和区のような高所得者が多く、子どもの学力が高い地域を参考にそのような家族に選ばれる市になってほしい(転勤族に選ばれる様な市になってほしい)。
高齢化時代に、老人や障がい者、子育て等全国の見本となるような市を目指した、市政に取り組むよう努力実行していただきたい。またそれを希望します。
駅が無かった市に一気に三駅が出来、大変便利になりました。それに伴って魅力的な街になっているでしょうか?市外からのリピーターが増えるような素敵な町を望みます。景観等にも気を配っていただきたいと思います。
子育て世代にとっては住みよい町で魅力的だと思いますが、子育てが終了した後の10、20年後の生活を戸田市でイメージすることが難しい。色々な世代が住みよいと思えるまちづくりをお願いしたいです。
家にこもらず、外に出て歩きたくなる街、深呼吸したくなるような街にしていただけたら良いです。
良い戸田市になるよう、住民が愛着のある街になるようにしたいと思います。一市民で力になることが出来ればお手伝いしたいと思います。頑張りましょう。
安全なまちづくりをお願いします。
戸田市役所に行かないともらえない書類があったりするので、駅前支所でも扱ってほしい。
戸田市のために尽力している町会長などに付与するポイント制度の導入。ポイントをためて将来福祉サービスを受けることができるなど。

参考資料（調査票）

平成30年度戸田市市民意識調査 ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、戸田市では、市民の皆様のご意見やご要望をおうかがいし、一層充実した市政とするために定期的に市民意識調査を実施しています。

この意識調査は平成30年4月1日現在において、戸田市の住民基本台帳に登録されている16歳以上の市民の皆様の中から3,000人の方を無作為に選んでお願いしています。ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひこのアンケートにお答えくださいますよう、お願いいたします。

なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

平成30年8月

戸田市長 菅原 文仁

◆ご記入の前に◆

1. 回答のしかた

- ・封筒宛名のご本人がお答えください。
- ・質問は全部で42問です。回答時間の目安は1.5分程度です。
- ・回答方法は2つあります。どちらからお好きな方法でご回答ください。
- ・回答にあたりサポートが必要な方は、下記までご連絡ください。

①この調査票に直接記入して回答する

- ・各質問の説明に従って、回答欄にご記入ください。筆記用具の種類は問いません。
- ・回答が済みましたら、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに平成30年8月31日(金)までに投函してください。封筒や調査票にご住所・お名前を記入する必要はありません。

②パソコン・スマートフォンから回答する

- ・以下のURLまたはQRコードから回答ページへアクセスし、画面の説明に従って回答してください。平成30年8月31日(金)までに回答してください。

URL : https://sv.netr.jp/op_m/?key=YXGAQWYR

QRコード



2. お問い合わせ

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1
戸田市役所 経営企画課 市民意識調査担当
電話 048-441-1800 (内線413)
FAX 048-432-8521 E-mail kikaku@city.toda.saitama.jp

なお、この調査結果は戸田市ホームページ等で概要を公表する予定です。

この調査票の最終ページに、戸田市の未来を考える「若年層ミーティング」「協働会議」のお知らせがあります。ぜひご覧ください。

1. ご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

※あなたが認識しているご自分の性別を選んでください。

問2 あなたの年齢を教えてください。

満

歳

問3 あなたが住んでいる地区はどこですか。(○は1つ)

1. 喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目
2. 喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目
3. 上戸田1~5丁目、大字上戸田
4. 川岸3丁目、本町1~5丁目、南町、戸田公園
5. 大字新曽、新曽南1~4丁目、氷川町1~3丁目、大字下笹目
6. 笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1~8丁目
7. 美女木1~8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木

問4 あなたは戸田市に何年ぐらい住んでいますか。

(※1年未満は0年とお書きください。)

約

年

問5 あなたの住宅の種類を教えてください。(○は1つ)

1. 持ち家(戸建て)
2. 持ち家(マンションなど)
3. 借家(戸建て)
4. 借家(民間アパート・マンション)
5. 社宅・寮
6. UR・県営・市営住宅
7. その他()

問6 一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。

人

問7 あなたは、家族を介護した経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

※介護とは、日常生活の入浴や食事、着替え、移動などの際に何らかの手助けをすることをいいます。一時的に病気で寝ている人の介護は除きます。

1. 現在、65歳以上の家族の介護をしている
2. 現在、65歳未満の家族の介護をしている
3. 現在は介護をしていないが、過去に介護をしたことがある
4. 介護をしたことがない

問8 あなたは結婚していますか。届出の有無にかかわらずお答えください。

(○は1つ)

1. 未婚
2. 配偶者あり
3. 死別・離別

問 9 あなたには、お父さんは何人いますか。また、お父さんがいる場合は、一番上と一番下のお子さんの年齢を教えてください。

人	歳
①一番上のお子さんの年齢 (1人の場合には、こちらにご記入ください)	歳
②一番下のお子さんの年齢	歳

問 10 あなたのお仕事（雇用形態）を教えてください。（○は1つ）

1. フルタイム（常勤）の正社員被雇用者	2. 派遣・契約・嘱託社員
3. パートまたはアルバイト	4. 自営業主・個人事業主
5. 家族従業者	6. 会社経営・役員
7. 家事従事者	8. 学生
9. 年金生活	10. 無就業
11. その他（ ）	

問 11 あなたが通勤地もしくは通学地はどこですか。（○は1つ）

1. 戸田市内	2. 川口市	3. さいたま市
4. 蕨市	5. 県内その他の市町村	6. 東京都
7. 県外（東京都を除く）	8. 通勤・通学していない	

問 12 あなたが通勤や通学に利用している交通手段を教えてください。利用しているものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 徒歩のみ	2. 電車	3. 自家用車
4. バス	5. 自転車	6. オートバイ
7. 通勤・通学していない	8. その他（ ）	

問 13 戸田市に住んでいる友人や知人は何人くらいいますか。 約 人

問 14 （問 13 で 1 人以上と答えた方におたずねします。）その友人や知人とはどのような関係ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 学校以来の友人	2. 近所付き合いの知人
3. 会社など仕事の関係者	4. 町会・自治会での知り合い
5. NPOやボランティア関係者	6. 小・中・中学校など子どもを通じた知り合い
7. その他（ ）	

問 15 あなたは、全般的に、今の生活に満足していますか。（○は1つ）

1. 満足	2. まあ満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
-------	---------	---------	-------	----------

2. 定住意向についておたずねします

問 16 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

1. 生まれてからずっと戸田市	2. 進学
3. 就職・転勤	4. 結婚
5. 出産	6. 子どもの独立
7. 退職・廃業	8. 親や子と同居・近隣に住むため
9. 住宅の購入	10. 特になし
11. その他（ ）	

問 17 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。（○は1つ）

1. ここで育ったから	2. 比較的安価な住宅があったから
3. 親戚や友人がいたから	4. 住みやすそうだったから
5. たまたま住宅が見つかったから	6. 特になし
7. その他（ ）	

問 18 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。（○は1つ）

1. 住み続ける	2. たぶん住み続ける
3. たぶん移転する	4. 移転する
5. わからない	

3. まちのイメージについておたずねします

問 19 それぞれの項目に、まちのイメージをあらわす言葉が記されています。あなたは、戸田市にはどの言葉があてはまると思えますか。（項目ごとに○は1つ）

①. 新しい	どちらともいえない	伝統的な	②. 若者の	どちらともいえない	大人の
③. 成長する	どちらともいえない	成熟した	④. 都会的な	どちらともいえない	のどかな
⑤. のんびりした	どちらともいえない	せわしい	⑥. おしゃれな	どちらともいえない	野暮ったい
⑦. 活気ある	どちらともいえない	落ち着いた	⑧. 個性的な	どちらともいえない	平凡な
⑨. 便利な	どちらともいえない	不便な	⑩. 誇れる	どちらともいえない	誇れない

4. 健康づくりについておたずねします

問 20 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。**あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)**

1. 定期的ながん検診や健康診断の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ	6. 日頃から歩くこと
7. 体重や体脂肪などの把握	8. 睡眠による十分な休養
9. 自分に合ったストレス解消	10. 規則正しい生活
11. 適量飲酒や、休肝日の設置	12. たばこは吸わない、またはやめた
13. 特に何もしていない	14. その他 ()

問 21 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。**あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)**

1. 定期的ながん検診や健康診断の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ	6. 日頃から歩くこと
7. 体重や体脂肪などの把握	8. 睡眠による十分な休養
9. 自分に合ったストレス解消	10. 規則正しい生活
11. 休肝日の設置	12. 禁煙
13. 特にない	14. その他 ()

5. 子育てについておたずねします

問 22 あなたは、戸田市は子育てしやすいと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思うは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 23 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとにOは1つ)

※お父さんがいない方は、問 24 へお進みください。

※お父さんが大きい方は、過去の経験からお答えください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援	1	2	3	4	5

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(2) 保育園や幼稚園、学童など通常の預け先	1	2	3	4	5
(3) 一時保育や病児保育など臨時的な預け先	1	2	3	4	5
(4) 不安や悩みを聞いてもらえる相談の場	1	2	3	4	5
(5) サークルや子ども会など地域交流の機会	1	2	3	4	5
(6) 24時間診療など、いつでも受診できる医療体制	1	2	3	4	5
(7) 道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー	1	2	3	4	5
(8) 地域の人の声掛けや協力	1	2	3	4	5

6. 高齢化についておたずねします

問 24 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいと思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思うは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 25 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとにOは1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) お金や必要なものなどの支援・補助	1	2	3	4	5
(2) 働く機会	1	2	3	4	5
(3) 住宅に対する支援（賃料補助やリフォーム助成など）	1	2	3	4	5
(4) 道路や駅、公共施設のバリアフリー	1	2	3	4	5
(5) 困りごとや悩みごとなど相談の場	1	2	3	4	5
(6) 健康や体力維持のための場	1	2	3	4	5

項目	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(7) サークルなど、友人や仲間との交流の場	1	2	3	4	5
(8) 地域の人の声掛けや協力	1	2	3	4	5
(9) 趣味や生涯学習の場	1	2	3	4	5
(10) ボランティアや町会活動など、社会活動の場	1	2	3	4	5
(11) 安心できるかかりつけ医や病院の存在	1	2	3	4	5
(12) 在宅介護の支援	1	2	3	4	5
(13) 介護施設の充実（特別養護老人ホームやデイサービスなど）	1	2	3	4	5

7. 生活環境についておたずねします

問26 あなたは、住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。
(項目ごとに○は1つ)

区分	項目	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
保健・衛生	(1) ごみの回収	1	2	3	4	5	6
	(2) 雨水など水のはげぐあい	1	2	3	4	5	6
	(3) ハチ、蚊等の書虫対策	1	2	3	4	5	6
	(4) 医療機関への通院のしやすさ	1	2	3	4	5	6
	(5) 休日や夜間の急病のときの安心さ	1	2	3	4	5	6
	(6) ばい煙・排気ガス	1	2	3	4	5	6
	(7) 騒音・振動（工場・車等）	1	2	3	4	5	6
安全	(8) 子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	1	2	3	4	5	6
	(9) 高齢者の外出や散歩の安全性	1	2	3	4	5	6
	(10) 個人生活の秘密が守られること	1	2	3	4	5	6
	(11) 災害（火災・地震・台風等）からの安全性	1	2	3	4	5	6
	(12) 環境汚染からの安全性	1	2	3	4	5	6
	(13) 夜道の明るさ	1	2	3	4	5	6
	(14) 周りの道路の安全性	1	2	3	4	5	6

区分	項目	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
利便	(15) 日用品・食料品等の買い物の便利さ	1	2	3	4	5	6
	(16) 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5	6
	(17) 公園・広場等の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6
便	(18) 公民館・集会所等の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6
	(19) 郵便局・金融機関の便利さ	1	2	3	4	5	6
	(20) 周囲に悪臭がないこと	1	2	3	4	5	6
快適	(21) 日当たりや風通しの良さ	1	2	3	4	5	6
	(22) 緑などの自然環境	1	2	3	4	5	6
	(23) 川のきれいなさ	1	2	3	4	5	6
(24) 上記を総合して、どの程度満足していますか		1	2	3	4	5	6

問27 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに○は1つ)

区分	項目	理由									
		利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に開いてない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	利用していない		
施設名	(1) 文化会館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(2) スポーツセンター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(3) 郷土博物館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(4) 図書館(分室・配本所含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(5) 戸田公園駅前行政センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(6) 美笹支所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(7) 東部連絡所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(8) 上戸田地域交流センター(あいソバル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	(9) 新曽福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

理由 施設名	利用している						利用していない					
	利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に関してない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サービスに不満がある	他の類似した民間施設を利用している	他自治体の公営施設を利用している	利用する機会・必要がない		
(10) 東部福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(11) 西部福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(12) 笹目コミュニケーションセンター (コンパル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(13) 新曽南多世代交流館 (さくらババル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(14) ボランティア・市民活動支援センター (TOMATO)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(15) 心身障害者福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(16) 白田保養所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(17) 市民医療センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(18) 福祉保健センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(19) 児童センター (プリムローズ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(20) こどもの国	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(21) 少年自然の家	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(22) 教育センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(23) 学校施設の開放 (教室、運動場)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(24) サッカー場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(25) テニスコート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(26) 野球場 (ソフトボール場含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(27) 県営戸公園・戸田ポートコース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(28) 彩湖・道満グリーンパーク (スボーツ施設を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(29) 彩湖自然学習センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(30) 地域の児童公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

問 28 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思うは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 29 あなたは、普段 (平常時) はどのような手段で防災に関する情報を取得していますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. テレビ、ラジオ	2. 新聞
3. 戸田市ホームページ	4. インターネット
5. SNS (LINE、Facebook、Twitter、インスタグラム、TikTok、YouTube、TikTok、TikTok、TikTok)	6. 防災行政無線
7. 災害を「我が事」として考える本 (戸田市ハザードブック)	
8. 取得していない	9. その他 ()

問 30 あなたは、家庭でどのような消防対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 消火器 (家庭用) の設置又は交換	2. 住宅用火災警報器の設置又は交換
3. 消防訓練等への参加	4. 自宅外周部の整理 (防火対策)
5. カーテン・じゅうたん等防災物品の使用	6. 対策していない
7. その他 ()	

8. 地域コミュニティについておたねします

問 31 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

(活動内容ごとに○は1つずつ)

活動内容	参加頻度	参加頻度					
		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加しない
(1) 町会・自治会		1	2	3	4	5	6
(2) ボランティア団体		1	2	3	4	5	6
(3) 市民活動団体		1	2	3	4	5	6
(4) 趣味のサークルやクラブ		1	2	3	4	5	6
(5) 業界団体・同業者団体		1	2	3	4	5	6
(6) その他 ()		1	2	3	4	5	6

問 32 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(Oは1つ)

1. 近所付き合いに努めている
2. 最低限の近所付き合いをしている
3. 近所付き合いはできるだけしない
4. 近所付き合いをまったくしない
5. わからない

問 33 あなたは、近所付き合いは大切だと思いますか。(Oは1つ)

1. 大切である
2. まあ大切である
3. あまり大切ではない
4. 大切ではない
5. わからない

問 34 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。参加したものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)

1. まちづくりのための活動 (道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動など)
2. 地域の親睦のための活動 (地域住民による祭りや運動会など)
3. 自然を守るための活動 (緑を守る活動、リサイクル活動、ごみを減らす活動など)
4. 安全な生活のための活動 (防犯パトロール、防災活動、交通安全活動など)
5. スポーツ・文化・学術に関係した活動 (スポーツの指導、伝統文化の普及活動、知識や技術の提供など)
6. 高齢者を対象とした活動 (日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)
7. 子どもを対象とした活動 (子ども会の世話、子育て支援、いじめ電話相談など)
8. 障がい者を対象とした活動 (日常生活の手助け、就労支援など)
9. 外国人を対象とした活動 (通訳・翻訳、日本語教室、困りごと相談など)
10. 参加したことがない
11. その他 ()

9. 市政への参加についておたずねします

問 35 あなたは、市政への参加 (市の会議への参加やイベントの企画運営など) に興味がありますか。(Oは1つ)

1. 興味がある
2. まあ興味がある
3. あまり興味がない
4. 興味がない
5. わからない

問 36 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(Oはいくつでも)

1. 子育て支援・子どもの健全育成
2. 高齢者や障がい者の生活支援
3. 外国人の支援
4. 防災
5. 防犯・交通安全
6. 清掃・ごみ減量・リサイクル
7. まちの緑化
8. 文化・スポーツ・生涯学習
9. 地域の産業振興
10. 都市基盤整備
11. 地域の情報発信やイメージアップ
12. 地域コミュニティの活性化
13. その他 ()

10. 保養事業についておたずねします

公共施設の多くは老朽化が進み、今後、維持管理や運営・建替えに莫大な費用がかかるため、現状のまま維持し続けていくことが困難であることが明らかとなりました。このことから市では、戸田市公共施設総合管理計画及び戸田市公共施設再編プラン (平成29年3月策定) により、それぞれの施設が持つ役割を踏まえた上で、今後の施設のあり方をまとめました。

その中で白田保養所 (静岡県賀茂郡東伊豆町) は、老朽化に伴い、今後数億円規模の大改修が必要となる見込みであることから、施設の存続や廃止、民間施設の代替利用等を含め方向性について検討することになりました。

【白田保養所の概要 (平成28年度決算数値)】

- (1) 年間利用延べ人数 9,761人 (うち市内6,009人、市外3,752人)
- (2) 市民の利用率 約4.4% (28年度末人口 137,788人より算出)
- (3) 市の負担額 約1億1600万円 (利用者1人あたり約1万1900円)

問 37 白田保養所のあり方について、あなたの考えに近いものを選んでください。

(Oは1つ)

1. 白田保養所は存続した方が良い
2. 白田保養所は廃止した方が良い
3. どちらとも言えない
4. その他 ()

問 38 今後の保養所に係る事業について、あなたの考えに近いものを選んでください。

(Oは1つ)

1. 市が大改修を行い、現状のまま市が保養所を運営する
2. 市が大改修を行うが、保養所の運営費は利用者が相応の負担をするよう利用料金の見直しを行う
3. 保養所の代わりに市が契約した民間施設の利用料金の一部を助成又は優待利用できるようにする
4. 市が保養事業の運営を行う必要はない
5. その他 ()

11. 戸田市の取り組みについておたずねします

問 39 次に示す取り組みについて、あなたは、どの程度満足していますか。項目ごとに、「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。

(項目ごとに○は1つずつ)

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 子育て支援	1	2	3	4	5
(2) 高齢者への支援	1	2	3	4	5
(3) 障がい者への支援	1	2	3	4	5
(4) 医療体制の充実	1	2	3	4	5
(5) 健康づくりの支援	1	2	3	4	5
(6) 地域福祉の支援	1	2	3	4	5
(7) 子どもの教育環境の充実	1	2	3	4	5
(8) 豊かな心を育む青少年の育成	1	2	3	4	5
(9) スポーツ・レクリエーションに親しむ環境の整備	1	2	3	4	5
(10) 生涯学習の機会の提供	1	2	3	4	5
(11) 芸術文化活動への支援	1	2	3	4	5
(12) 公害などの環境汚染の防止	1	2	3	4	5
(13) ごみ減量とリサイクルの推進	1	2	3	4	5
(14) 健康的に生活できる生活環境の保全	1	2	3	4	5
(15) 地球温暖化対策	1	2	3	4	5
(16) 防犯対策	1	2	3	4	5
(17) 消防対策	1	2	3	4	5
(18) 防災対策	1	2	3	4	5
(19) 産業の振興	1	2	3	4	5
(20) 商業の活性化	1	2	3	4	5

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(21) 良好な労働環境の整備	1	2	3	4	5
(22) 計画的なまちの整備	1	2	3	4	5
(23) 幹線道路・生活道路の整備	1	2	3	4	5
(24) 快適な歩行空間の確保	1	2	3	4	5
(25) 美しい都市づくり	1	2	3	4	5
(26) 公園の整備・緑化の推進	1	2	3	4	5
(27) 水と触れ合う空間の整備	1	2	3	4	5
(28) 雨水対策	1	2	3	4	5
(29) 公共交通機関の利便性向上	1	2	3	4	5
(30) 下水道の整備	1	2	3	4	5
(31) 水道事業の運営	1	2	3	4	5
(32) 人権の尊重	1	2	3	4	5
(33) 平和意識の高揚	1	2	3	4	5
(34) 地域コミュニティ、町会・自治会活動の活性化	1	2	3	4	5
(35) ボランティア・市民活動の活性化	1	2	3	4	5
(36) 行政情報の提供	1	2	3	4	5
(37) 市民意見の行政への反映	1	2	3	4	5
(38) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
(39) 利便性・安全性の高い情報システムの整備	1	2	3	4	5
(40) 国内・国際交流の促進	1	2	3	4	5
(41) 在住外国人への支援	1	2	3	4	5
(42) 効率的な行政運営	1	2	3	4	5
(43) 安全な自転車走行空間の確保	1	2	3	4	5
(44) 住宅地や商業地、工業地の計画的でバランスのよい配置	1	2	3	4	5

戸田市市民意識調査報告書 平成 30 年度実施（第 12 回）

平成 31 年 3 月

発行：戸田市

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 1 丁目 18 番 1 号

電話 048 (441) 1800

ホームページ <http://www.city.toda.saitama.jp/>

編集：戸田市総務部経営企画課
